

令和 5 年度版

目黒区の教育

令和 4 年度事業報告書

目黒区教育委員会

は　じ　め　に

本書『目黒区の教育』は、令和4年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波を繰り返しつつも、徐々に日常生活を取り戻す動きが進んだ一年でした。コロナ禍で取り入れてきた「新しい生活様式」の中で、G I G Aスクール構想の推進や、オンラインと対面を組み合わせた生涯学習講座の実施など、工夫を凝らした学校教育、生涯学習に取り組みました。

そのような状況の下で、小・中学校においては、自然宿泊体験教室は引き続き日数を縮減して実施し、連合音楽会はマスク着用で中学校第2学年の合唱の発表を行ったほか、連合体育大会は競技数及び出場者数を一部縮小して3年ぶりに開催するなど、子どもたちの交流や活動の場は着実に戻ってまいりました。

また、教職員が子どもたちと向き合う時間を創出し、誇りとやりがいを持って勤務できる環境を確保するため、「目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム」を改定し、取組みを具体化し加速させました。

さらに、区立向原小学校等複合施設基本構想を策定し、建て替えに向けた取組みを進めるとともに、南部・西部地区の区立中学校統合による新設2校の統合新校整備方針を策定し、新校が目指す学校像等を示すなど、将来に向けた教育環境の整備も推進してまいりました。

令和5年5月、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されましたが、目黒区教育委員会としては、引き続き感染症対策に留意しつつ、次代を担う子どもたちが心豊かに、健やかに成長することができるよう、学校・家庭・地域が一体となって、本区の教育力を高める取組みを推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年8月

目黒区教育委員会
教育長　　関　根　義　孝

目 次

教育行財政

I	目黒区教育委員会教育目標	1
II	教育委員会	
1	教育委員会の組織	2
2	教育委員会の会議	6
3	令和4年度における 教育委員会の主な動き	14
4	広報・広聴活動	17
5	放射性物質への対応	20
III	教育費のあらまし	
1	令和4年度教育費決算額	21
2	保護者が負担する学校教育費	22
IV	めぐろ学校教育プラン	23
V	目黒区特別支援教育推進計画 (第四次)	26

学校教育

I	学校運営	
1	児童・生徒の就学状況	28
2	障害のある児童・生徒の就学	31
3	幼稚園・こども園	32
4	就学援助費・奨励費等給付状況	32
5	学校運営費の執行	34
6	学校評価	34
7	学校運営協議会	34
8	学校評議員	35
9	不審者情報などの発信	35
10	A E D (自動体外式除細動器) の設置	35
II	保健・給食	
1	学校保健	36
2	学校給食	40
3	健康教育の推進	43
III	校舎等の環境整備	
1	実施事業の内容	45
2	各事業の決算額	46
IV	教育指導の充実	
1	人権教育	47
2	道徳教育	47
3	国際理解教育	47
4	情報教育	49
5	特別支援教育	49
6	生活指導	50
7	安全指導	50
8	進路指導	51
9	学習指導員等の配置	51
10	主任会等における研修	52
11	教育開発校	53
12	教科用図書	53
13	自然宿泊体験教室等	54

14	連合行事	57
15	いじめ問題対策	58
V	めぐろ学校サポートセンターの事業	
1	教職員サポート	59
2	学習・相談サポート	61
3	その他のサポート機能	64
VI	地域との連携の推進	
1	地域教育懇談会の活動支援	66
2	放課後フリークラブ	67
3	青少年の健全育成	67
4	学校施設使用 (教室)	70

生涯学習

I	生涯学習の推進	
1	生涯学習実施推進計画	71
2	生涯学習推進協議会の運営	71
3	大学等教育機関との連携講座	73
II	社会教育	
1	社会教育委員	74
2	学習の場の提供	74
3	学習機会の提供—学級・講座—	75
4	団体育成・援助	83
5	学習相談等	86
III	図書館	
1	図書館の概要	87
2	図書館資料	88
3	個人利用	89
4	団体貸出	92
5	めぐろ電子図書館	92
6	図書館利用に障害のある方々 へのサービス	92
7	行事・催物	94
8	その他の事業	95
IV	めぐろシティカレッジ	
1	新しい学習機会の創設	97
2	運営	97
3	講座内容	97

歴史・文化

I	文化財の保護・保存	
1	文化財保護の充実	99
II	めぐろ歴史資料館	
1	事業概要	100
2	古民家	101

資 料

1	区立学校一覧	103
2	教育関係施設	105

I 目黒区教育委員会教育目標 (令和3年6月8日目黒区教育委員会決定)

目黒区教育委員会は、区民の一人ひとりが生涯にわたって学習ができ、伝統と文化への理解を深め、健康で充実した人生を送ることができるよう、「学び合い成長し合えるまち」の実現を図る。

特に、子どもたちの健やかな成長を願い

- 他人を思いやり、道徳心のある人間
- 自ら学び、考え、行動する、個性と創造力豊かな人間
- 自然を愛し、美しいものに感動する心をもつ人間

の育成に向けた教育を推進する。

目黒区教育委員会基本方針 (令和3年6月8日目黒区教育委員会決定)

目黒区教育委員会は、『教育目標』を達成するため、以下の基本方針及び施策の方向に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 人権を尊重する教育の推進】

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、基本的人権及び個人の尊厳を基調に、あらゆる教育の機会を通して、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすため、人権教育を推進する。

【基本方針2 豊かな生涯学習社会の実現を目指した学習活動の支援】

区民一人ひとりが、新たな知識や技能などを身につけそれぞれ自己実現を図ることは、より生きがいのある人生を送ることに資するものであり、生涯にわたり自由に学習の機会を選択し学ぶとともに、地域社会の形成に寄与できるよう、必要な学習活動を支援する。

【基本方針3 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進】

グローバル化や情報化の急速な進展とともに、価値観が多様化する社会に主体的に対応していくためには、一人ひとりが個人として自立し、また社会の一員としてその発展に寄与する態度を養うことが求められる。

そのため、「生きる力」すなわち、確かな学力の向上を図るとともに、一人ひとりの個性と創造力を伸ばし、問題解決する力、豊かな心、健やかな体をはぐくむ教育を推進する。

【基本方針4 教育への区民参加と地域ぐるみの教育の振興】

子どもたちが、生命を大切にし、一人ひとりが心豊かに健全に育つことを目指して、学校の自主性・自立性を確立したうえで、家庭・地域の願いや意向を反映した学校運営に努める。

家庭・地域が、教育におけるそれぞれの役割と責任を果たすことができるよう支援するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、地域全体の教育力を高める。

II 教育委員会

1 教育委員会の組織

(1) 教育委員会の職務

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に定めるところにより、学校その他の教育機関の設置、管理及び社会教育その他の教育事務を執行する地方教育行政機関で、地方公共団体の長から独立した執行機関です。

地教行法には、教育委員会の職務として次のものが定められています。

- ア 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
- イ 学校その他の教育機関の用に供する財産の管理に関すること。
- ウ 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- エ 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- オ 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- カ 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- キ 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- ク 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- ケ 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- コ 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- サ 学校給食に関すること。
- シ 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- ス 文化財の保護に関すること。
- セ ユネスコ活動に関すること。
- ソ 教育に関する法人に関すること。
- タ 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- チ 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- ツ ア～チのほか当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(2) 教育委員会の構成

目黒区教育委員会は、区長が区議会の同意を得て任命する教育長及び4人の委員で構成されています。

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有することが要求され、任期は3年です。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有することが要求され、任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

教育長職務代行者は、教育長に事故があるとき等のために指定されます。

また、委員の任命に当たっては、地域住民や保護者等の意向等を的確に把握し、地域の状況に応じた主体的で積極的な教育行政を展開し、委員の構成を多様なものとするため、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないよう配慮し、委員のうちに保護者である者が含まれるようにならなければならぬとされています。

令和5年3月31日現在の目黒区教育委員会の構成は下の表のとおりです。

職名	氏名	任期
教育長	関根 義孝(せきね よしたか)	令和4年10月1日から令和7年9月30日まで
教育長職務代行者	松村 真理子(まつむら まりこ)	令和元年12月9日から令和5年12月8日まで
委員	川嶋 春奈(かわしま はるな)	令和2年10月1日から令和6年9月30日まで
委員	片山 覚(かたやま さとる)	令和3年10月1日から令和7年9月30日まで
委員	若井田 正文(わかいただ まさぶみ)	令和4年12月1日から令和8年11月30日まで



関根教育長



松村教育長
職務代行者



川嶋委員



片山委員



若井田委員

(3) 付属機関等

目黒区教育委員会には付属機関及びこれに準ずる機関として、次の4つの機関が設置されています。

ア いじめ問題対策委員会 いじめ問題対策委員会は、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止等のための対策を実効的に行うために設置するものです。また、いじめによる重大事態が発生した場合の調査を行います。委員の人数は6人（令和5年3月31日現在）で、任期は2年です。

イ 社会教育委員 社会教育委員は、社会教育法に基づき設置するもので、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を職務としています。委員の定数は10人以内で、任期は2年です。

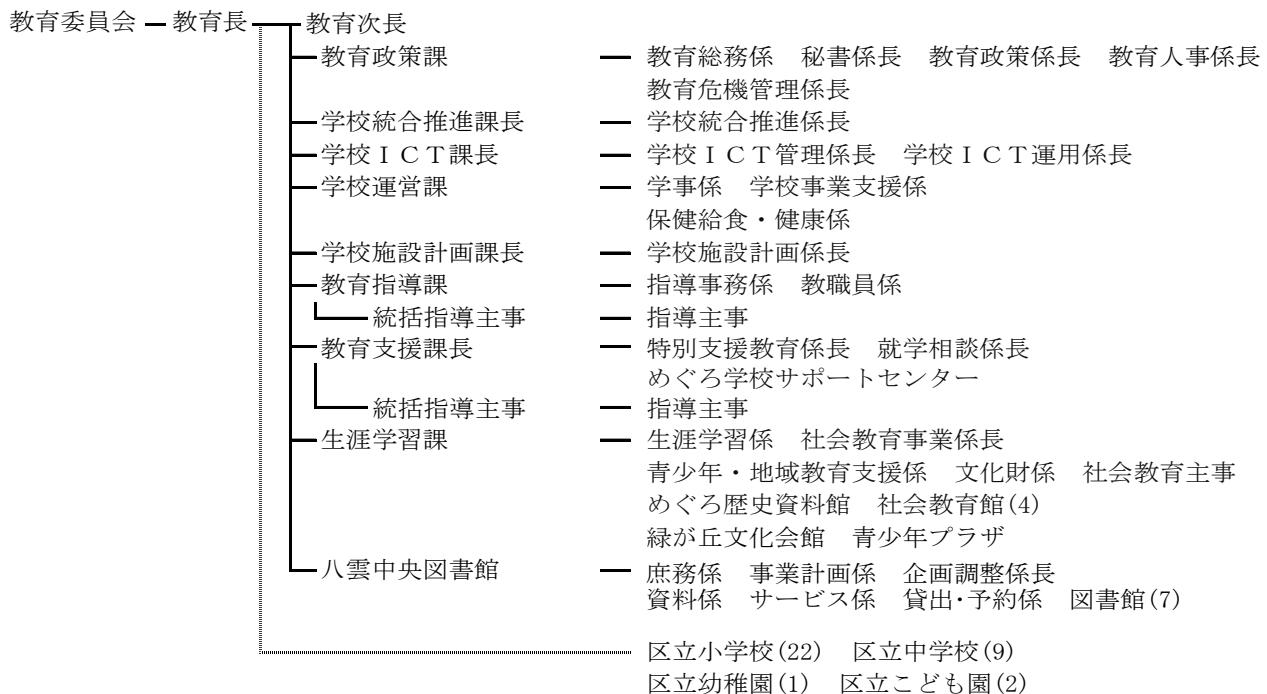
ウ 文化財保護審議会 文化財保護審議会は、文化財保護法に基づき設置するもので、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する事項を調査・審議し、これらの事項について教育委員会に建議する付属機関です。委員の人数は6人（令和5年3月31日現在）で、任期は2年です。

エ 青少年委員 青少年委員は、青少年教育の振興を図るために設置しているもので、青少年の余暇指導、青少年団体の育成、青少年指導者に対する援助等を行います。委員の人数は35人（令和5年3月31日現在）で、任期は2年です。

(4) 教育委員会事務局及び教育機関（施設）とその分掌事務(令和5年3月31日現在)

教育委員会の事務を処理するために、教育長の総括のもとに教育委員会事務局を設置しています。また、事務局のほかに区立学校、図書館等の教育機関（施設）を設置しています。

教育委員会の組織図



教育委員会の分掌事務

教育次長		
教育政策課	教育総務係	教育委員会の会議運営、法規、予算・決算・監査、契約、情報公開・個人情報保護、教育行政相談、区長部局との芸術文化・スポーツ行政に係る連絡調整
	秘書係長	教育長秘書、褒賞・表彰、寄付
	教育政策係長	教育行政の総合的な企画・調整・政策立案、組織・定数、広報
	教育人事係長	区費学校職員の人事、研修、労働安全・労働衛生
	教育危機管理係長	教育委員会における危機管理の統括・調整、学校事故
学校統合推進課長	学校統合推進係長	区立中学校の統合の推進
学校ICT課長	学校ICT管理係長	学校ICT環境の整備及び維持・管理
	学校ICT運用係長	学校ICT環境の整備計画等の企画・立案
学校運営課	学事係	区立学校の学級編制、区立学校の就学（転入学）、区立学校の通学区域、隣接学校希望入学制度、区立幼稚園・こども園、就学援助、就学奨励
	学校事業支援係	自然宿泊体験教室、学校独自宿泊事業、部活動支援、夏季水泳指導支援、校外施設維持管理（八ヶ岳林間学園・興津自然学園）
	保健給食・健康係	学校給食・こども園給食、学校保健・環境衛生、健康教育・食育の推進
学校施設計画課長	学校施設計画係長	学校教育施設の整備計画・管理保全
教育指導課	指導事務係	教科書採択、連合行事、外国語指導員の派遣、教育実習、補助的教員
	教職員係	都費・幼稚園教職員の人事、都費教職員の給与・福利厚生・健康管理、都費の補助的教員

統括指導主事	指導主事	区立学校及び区立幼稚園の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営
教育支援課長	特別支援教育係長	特別支援教育推進計画、特別支援教育の啓発、特別支援学級の運営予算管理、特別支援学級の増設
	就学相談係長	障害児の就学・転学相談、特別支援学級の編制・運営、特別支援教育支援員の配置
	めぐろ学校サポートセンター	施設管理、貸室管理、視聴覚ライブラリー、夏休み優秀作品展、教職員研修、学校教育サポート、学習支援教室(めぐろエミール)運営、教育相談(電話、来室)、スクールカウンセラー学校派遣、スクールソーシャルワーカー派遣
統括指導主事	指導主事	特別支援教育に係る区立学校の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営、各種サポート事業の企画立案、各種サポート事業への専門的な指導・助言
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の振興の総合的な計画・調整、生涯学習実施推進計画、社会教育の振興、社会教育委員、教育機関との連携講座事業、学校施設(教室)の使用、区職員派遣制度(区職員活用しま専科)、めぐろシティカレッジ
	社会教育事業係長	社会教育館及び緑が丘文化会館の管理運営、団体援助、連合団体支援、ユネスコ事業等
	青少年・地域教育支援係	青少年委員、青少年問題協議会、青少年健全育成、二十歳のつどい、こども110番の家、放課後フリークラブ(ランドセルひろば・子ども教室)、小・中P T A活動の支援、地域教育懇談会
	文化財係	文化財の保護・保存・活用・普及、文化財保護審議会
	社会教育主事	社会教育に係る専門的、技術的な助言指導
	めぐろ歴史資料館	目黒区の歴史・文化に関する資料の収集・整理・保管・調査研究、常設展示・企画展示、講演会・講座などの教育普及事業
	東山社会教育館	
	目黒区民センター社会教育館	
	中央町社会教育館	
	目黒本町社会教育館	
八雲中央図書館	庶務係	庶務、予算・決算、契約、統計、めぐろ区民キャンパスの施設の維持管理
	事業計画係	図書館事業の総合計画、広報、図書館情報システム、配本車の運行
	企画調整係長	図書館基本方針策定後の図書館将来像の検討、調査・回答・統計
	資料係	図書館資料の計画、選定・収集・整理・保存に関する調整、インターネット閲覧サービス、レファレンスサービス
	サービス係	障害者サービス、乳幼児・児童・Y Aサービス、団体貸出
	貸出・予約係	図書館資料の利用に関する企画調整、窓口業務の管理運営に関する調整、相互貸借
	大橋図書館	
	中目黒駅前図書館	
	目黒区民センター図書館	
	守屋図書館	図書館資料の整理・利用、相互貸借、レファレンス、施設の維持管理、その他館の運営
	目黒本町図書館	
	洗足図書館	
	緑が丘図書館	

2 教育委員会の会議

教育委員会定例会・臨時会

教育行政の基本的な方針の決定や諸問題の解決等の重要な案件を処理するために、原則毎週火曜日に教育委員会定例会を開催するとともに、特に緊急案件を処理するために、教育委員会臨時会を開催し、付議された事案を審議したほか、諸事項についての意見・情報の交換、業務報告を受け、教育行政の適正な運営に努めました。

(1) 定例会・臨時会の開催回数と議案付議件数

会議種別	開催回数	付議件数	議案付議内容別件数
定例会	42	47	規則関係 17 人事関係 4 諮問関係 0
臨時会	2	1	
計	44	48	

(2) 定例会・臨時会の審議・報告内容

会議名 開催日	議事	件 名
第1回 臨時会 4月1日	議案 19	幹部職員の任命について
第12回 定例会 4月5日	報告	令和4年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和3年度分）の実施について
	報告	令和4年度自然宿泊体験教室及び学校独自宿泊事業の実施について
	報告	令和3年度目黒区立中学校第3学年の評定状況の調査結果について
	報告	令和4・5年度青少年委員の委嘱について
第13回 定例会 4月12日	報告	令和4年度教育施策説明会（前期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施について
	報告	向原小学校建替えの進め方について（案）
	報告	令和4年度学校評議員の委嘱について
	報告	春季休業明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について
	報告	教育委員会名義の使用承認状況について
第14回 定例会 4月19日	協議	幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部改正について
	報告	令和4年度研究指定校等の状況について
	報告	区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第15回 定例会 4月26日	議案 20	幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則
	報告	令和3年度情報セキュリティ施策に関する取組結果及び令和4年度情報セキュリティ施策について
	報告	令和4年度児童生徒数・学級数について
	報告	目黒区立目黒本町社会教育館研修室の一部臨時休室について
	報告	区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第16回 定例会 5月10日	報告	令和4・5年度青少年委員の欠員補充に係る委嘱について
	報告	令和3年度目黒区めぐろ歴史資料館等の利用状況について
	報告	目黒区めぐろ歴史資料館の臨時休館について
	報告	区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

会議名 開催日	議事	件 名
第 17 回 定例会 5月 17 日	報告 報告 報告	令和 4 年度目黒区教職員等の配置状況について 国内交流事業（角田市）及び自然体験講座（気仙沼市）の中止について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 18 回 定例会 5月 24 日	報告 報告 報告 報告	令和 3 年度目黒区立学校卒業生の進路状況について 令和 3 年度目黒区立学校におけるいじめの状況について めぐろ区民キャンパスレストラン施設使用料等に係る延滞金の債権放棄について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 19 回 定例会 5月 31 日	議案 21 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 教育委員会事務局各課の主要課題について 令和 4 年度児童生徒数・学級数について 令和 3 年度目黒区立学校における不登校の状況について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 20 回 定例会 6月 7 日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和 5 年 1 月実施の「二十歳（はたち）のつどい」について（案） 令和 3 年度放課後フリークラブの実施結果について 令和 3（2021）年度ランランひろばの実施結果について 令和 4・5 年度青少年委員の欠員補充に係る委嘱について 目黒区生涯学習区職員派遣制度の再開について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 21 回 定例会 6月 14 日	報告 報告 報告 報告	令和 4 年第 2 回区議会定例会一般質問通告について 令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 1 号）について 令和 4 年度伝統と文化に関する教育の実施について 統合新校の教育課程等の検討について
第 22 回 定例会 6月 21 日	議案 22 報告	令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 1 号）（意見聴取） 教育委員会名義の使用承認状況について
第 23 回 定例会 6月 28 日	協議 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の特殊勤務手当に関する規則の一部改正について 令和 4 年第 2 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 令和 3 年度目黒区立学校における体罰等の実態把握調査の結果について 令和 4 年度目黒区立中学校における部活動の状況について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 24 回 定例会 7月 12 日	議案 23 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の特殊勤務手当に関する規則の一部を改正する規則 令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）について 令和 4 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 3 年度分）報告書（素案）について 教育委員会名義の使用承認状況について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

会議名 開催日	議事	件名
第 25 回 定例会 7月 26 日	報告 協議 協議 報告 報告 報告 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 令和 5 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択及び令和 5 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 5 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 令和 4 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 3 年度分）報告書（案）について 令和 5 年度放課後子ども総合プランの推進について（ランランひろばの新規開設） 社会教育館等における利用申請及び施設使用料の納付期限の取扱いについて 目黒区立図書館基本方針の改定の進め方について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 26 回 定例会 8月 2 日	議案 24 議案 25 協議 報告	令和 5 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択及び令和 5 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 5 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 令和 4 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 3 年度分）報告書（案）について 令和 4 年度目黒区学力調査実施結果の概要について
第 27 回 定例会 8月 9 日	議案 26 報告 報告 報告	令和 4 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 3 年度分）について 令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）の内示について 学校運営協議会等の設置に向けた検討について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 28 回 定例会 8月 23 日	議案 27 議案 28 議案 29 議案 30 議案 31 議案 32 議案 33 報告 報告	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の懲戒に関する条例等の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）（意見聴取） 令和 3 年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定について（意見聴取） 令和 4 年度教育施策説明会（前期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施結果について 教育職員の人事異動について
第 29 回 定例会 8月 30 日	議案 34 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則及び幼稚園教育職員の住居手当に関する規則の一部を改正する規則 令和 4 年第 3 回区議会定例会一般質問通告について 南部・西部地区の統合新校整備方針案の一部（位置、通学区域及び目指す学校像）決定（案）について（案） 令和 5 年度隣接中学校希望入学制度の実施について 令和 4 年度夏季休業中における教育活動等及び教員研修の実施状況について 夏季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について

会議名 開催日	議事	件名
第 30 回 定例会 9月 6 日	報告 報告 報告 報告	目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園について 令和 4 年度全国学力・学習状況調査結果について 目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業実施結果について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 31 回 定例会 9月 20 日	協議 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の期末手当に関する規則及び幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正について 令和 4 年第 3 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 令和 6 年度放課後子ども総合プラン実施に向けた取組について 教育委員会名義の使用承認状況について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について オミクロン株対応ワクチン接種の実施について
第 32 回 定例会 10月 4 日	報告 議案 35 議案 36 議案 37 報告 報告 報告 報告	訴訟事件の発生について 目黒区教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行等に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則及び幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 令和 5 年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について 目黒区立向原小学校等複合施設基本構想素案について（案） 向原小学校におけるプール整備の考え方について（案） 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 33 回 定例会 10月 11 日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和 4 年第 3 回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁（要旨）について 令和 4 年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について ランランひろばにおける冬季利用時間延長の試行実施について 国内交流事業（角田市小学生受入）の中止について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について 八雲中央図書館の臨時休館等及び目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場の臨時休業について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 34 回 定例会 10月 18 日	報告 報告	令和 4 年度教育施策説明会（後期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施について 目黒区立向原小学校等複合施設基本構想（案）について
第 35 回 定例会 11月 1 日	議案 38 報告 報告 報告 報告	目黒区個人情報の保護に関する法律施行条例（意見聴取） 区立学校における物価高騰対策について（案） 令和 4 年度前期目黒区立学校におけるいじめの状況について 令和 4 年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

会議名 開催日	議事	件名
第 36 回 定例会 11月 8 日	報告 報告 報告 報告	令和 4 年度目黒区・東城区・中浪区との三区間交流事業について 令和 4 年度前期目黒区立学校における不登校の状況について 教育委員会名義の使用承認状況について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 37 回 定例会 11月 15 日	報告 報告 報告	令和 4 年第 4 回区議会定例会一般質問通告について 目黒区立向原小学校等複合施設基本構想について（案） 目黒区立図書館基本方針改定素案（案）について
第 38 回 定例会 11月 22 日	議案 39 議案 40 議案 41 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 令和 5 年度当初予算に係る主な要求項目について 令和 5 年度隣接中学校希望入学制度申込結果（中間集計）について 令和 5 年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成・実施の留意事項（基本的な考え方）について（案） 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 39 回 定例会 11月 29 日	報告 報告 報告	目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム改定素案（案）について 令和 4 年度公立小中学校教員公募について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 2 回 臨時会 12 月 1 日		議席の決定について 教育長職務代行者の指名について
第 40 回 定例会 12 月 6 日	議案 42 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 令和 4 年第 4 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 南部・西部地区の統合新校整備方針案について（案） 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 41 回 定例会 12 月 13 日	報告 報告 報告 報告	令和 4 年度目黒区一般会計補正予算（第 5 号）について 青少年委員の任用回数の延長について 図書館情報システムの更新について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 42 回 定例会 12 月 20 日	議案 43 議案 44 報告 報告 報告	目黒区立幼稚園条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区立こども園条例の一部を改正する条例の立案請求について 令和 4 年度小・中学校卒業式祝辞について 令和 4 年度目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会の懇談会の実施結果について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第 43 回 定例会 12 月 27 日	報告 議案 45 報告 報告 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 目黒区立向原小学校等複合施設基本構想の策定について 令和 5 年度組織改正（第一次）及び職員数内内示について 令和 5 年度隣接中学校希望入学制度申込結果について 令和 4 年度小・中学校卒業式祝辞について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について

会議名 開催日	議事	件 名
第1回 定例会 1月10日	報告 報告 報告 報告	令和5年度目黒区一般会計当初予算原案について 令和4年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について 令和4年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について 令和5年1月実施の「二十歳のつどい」実施結果について
第2回 定例会 1月17日	報告 報告 報告 報告	令和4年度小・中学校卒業式祝辞について 冬季休業期間明けの児童・生徒の欠席状況について 目黒区青少年プラザ研修室一部の臨時休室について 教育委員会名義の使用承認状況について
第3回 定例会 1月24日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和5年度組織改正（第二次）及び職員数内示について 令和4年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について 令和5年度教育行政運営方針（素案）について（案） 令和5年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について 令和4年度小・中学校卒業式祝辞について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者の発生状況について
第4回 定例会 1月31日	議案1 議案2 議案3 議案4 議案5 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例（意見聴取） 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区立保育所条例等の一部を改正する条例（意見聴取） 令和4年度目黒区一般会計補正予算（第5号）（意見聴取） 令和5年度目黒区一般会計予算（意見聴取） 令和4年度小・中学校卒業式祝辞について 令和4年度目黒区立学校・園における学校・園評価アンケートの実施結果等について 令和5年度めぐろシティカレッジについて 令和5年度社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザの年間事業計画（案）について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者等の発生状況について
第5回 定例会 2月7日	議案6 報告 報告 報告	教育管理職の任命に関する内申について 令和5年第1回区議会定例会質問通告について 令和5年度教育行政運営方針（素案）について 区立学校等における新型コロナウイルス感染者等の発生について
第6回 定例会 2月14日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和5年度教育行政運営方針（案）について 目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム改定案について 令和4年度区主催教員等研修の実施状況及び令和5年度の方向性について 目黒区緑が丘文化会館別館研修室等の臨時休室について 教育委員会名義の使用承認状況について 区立学校等における感染者の発生状況について
第7回 定例会 2月21日	報告 報告 報告	めぐろ学校教育プランの進捗状況（令和4年度分）について 南部・西部地区の統合新校整備方針（案）について 令和5年度学校標準給食費について（案）

会議名 開催日	議事	件 名
	報告 報告 報告 報告	令和5年度区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等について 目黒区立図書館基本方針改定案（案）について 目黒区立社会教育館等の利用制限の一部解除について 区立学校等における感染者の発生状況について
第8回 定例会 3月7日	議案 7 報告 協議 協議 協議 報告 報告 報告 報告	目黒区公立幼稚園教育管理職の任命について 区立学校におけるいじめの発生について 目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施方針の一部改正について 第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針及び第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針について 幼稚園教育職員の定年引上げ等に伴う関係規則の一部改正について 令和5年第1回区議会定例会代表質問・一般質問の答弁（要旨）について 令和4年度教育施策説明会（後期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施結果について 令和5年度児童生徒数・学級数の推計について 区立学校等における感染者の発生状況について
第9回 定例会 3月14日	議案 8 議案 9 議案 10 議案 11 議案 12 議案 13 議案 14 議案 15 議案 16 議案 17 議案 18 報告	目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施方針の一部改正について 第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針の策定について 第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針の策定について 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の管理職手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の管理職員特別勤務手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 義務教育等教員特別手当に関する規則の一部を改正する規則 教職調整額に関する規則の一部を改正する規則 区立学校におけるいじめの発生について
第10回 定例会 3月28日	議案 19 議案 20 議案 21 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区教育委員会事務従事幹部職員の異動について 目黒区教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 目黒区個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則 令和5年第1回区議会定例会中の予算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁（要旨）について 令和5年度学校経営方針のプレゼンテーションについて（案） 学校運営協議会等設置に向けた検討状況について 目黒区立向原小学校等複合施設基本設計（素案）について（案） 目黒区立小中学校におけるプール施設整備の考え方について（案） 区立学校等の合理的配慮に関する法律相談の実施状況及び令和5年度実施予定について

会議名 開催日	議事	件 名
	報告	油面小学校わかたけ学級及び大鳥中学校 7 組（肢体不自由特別支援学級）送迎バスへの安全対策の実施について
	報告	校内別室指導支援員配置モデル校事業の実施について
	報告	令和 5 年度めぐろ歴史資料館の企画展等について
	報告	教育委員会名義の使用承認状況について

3 令和4年度における教育委員会の主な動き

(1) 英語教育の推進

小学校においては、文部科学省から全小学校が教育課程特例校に指定され（平成30年度～令和元年度）、改訂した「目黒区外国語教育モデルカリキュラム」に基づき、目黒区独自教材「Welcome to Meguro」も活用しながら、小学校第5・6学年における外国語教育を全国に先駆けて実施してきました。また、東京都が開設した東京版英語村「TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY)」を活用した日帰り体験型英語学習を全区立小学校第6学年を対象に実施しました。

中学校においては、令和元年度から中学校第2学年生徒が英語4技能検定試験（GTEC）を受検しています。また、大鳥中学校のイングリッシュ・キャンプ、「TGG (TOKYO GLOBAL GATEWAY)」を活用した日帰り体験型英語学習事業は新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施しました。

小・中学校全校にALTを配置し、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力を高める指導の充実を図っています。

(2) いじめ・不登校の防止に向けた取組

いじめ・不登校の防止に向けた取組を強化するとともに、令和4年度も引き続き、学級経営上の一助とするため、子どもたちの学校生活における満足度や意欲、学級集団の状態を把握できる「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を全小・中学校において実施しました。また、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を各中学校区で実施しました。

各学校では、「いじめに関する研修」を年3回実施しており、いじめ問題対策を総合的にまとめた「教員研修冊子『目黒区立学校・園 いじめ問題対策』（令和2年9月全教員に配付）」を活用しながら、各学校の課題に応じて研修内容の充実を図りました。

(3) プログラミング教育の推進

全小学校第5学年でプログラミングソフトを利用したプログラミング教育を実施しました。全小学校第6学年においても理科の学習でプログラミング教材を活用したプログラミング学習を実施しました。プログラミング教育のさらなる推進を図るため、「目黒区立小学校プログラミング教育モデルカリキュラム」を策定しました。

(4) 特別支援教育の推進

特別支援教育の視点をもつ教員を育成し、児童・生徒一人ひとりの課題に応じた指導を行うことができるよう、令和4年度は、通常の学級の教員を対象に、特別支援教育研修を年3講座実施するとともに、小・中学校・幼稚園・こども園の全教員を対象に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び「合理的配慮に関する考え方」について、eラーニングによる研修を実施しました。

横浜国立大学との協定に基づき、五本木小学校と目黒中央中学校において、自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実を図ることを目的とした研修を年3回実施しました。

合理的配慮の提供事例集を更新し、区立小・中学校・幼稚園・こども園の全教員に配付するとともに目黒区ホームページに掲載しました。

(5) 新型コロナウイルス感染症に係る教育活動への対応

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、各学校・園にて教育活動を継続してきました。

ア 感染症対策

感染状況等に応じつつ「目黒区立学校・園 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を

随時更新し、本マニュアルに基づいた感染防止対策と健やかな学びを保障することの両立を図ることができるよう、各学校・園の活動を支援しました。

また、昨年度に引き続いて手指消毒用アルコール等の感染症対策衛生用品を購入するなど、感染拡大のリスクを可能な限り低減させる学習環境を整備しました。

イ 行事等の中止や変更

小学校連合音楽会、小学校連合演劇鑑賞教室、理科講演会、夏季水泳指導、小学校第4学年自然宿泊体験教室を中止しました。

小学校第5・6学年及び中学校第1学年自然宿泊体験教室については、感染状況に応じた運用マニュアルの整備や事業の見直し、代替事業への変更を行いつつ、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで2泊3日に短縮し、全校で実施しました。

ウ 学習の保障

止むを得ず登校できない児童・生徒に対して、児童・生徒1人1台の学習用情報端末を用いて、学校と家庭をつないでオンライン朝の会やオンライン配信等を行い、学習が保障できるよう取り組みました。

エ 家庭への支援

新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変した保護者に対し、就学援助認定に係る所得基準及び支給対象期間について柔軟な運用を行いました。学級閉鎖等に伴い学校給食を中止した際に、発注取り消しができなかった食材費用を公費で負担し、家庭の経済的負担の軽減に取り組みました。

(6) 学校・園における働き方改革の推進

社会状況の変化に対応し、区立学校・園における働き方改革をさらに加速させるため、教員の長時間勤務の実態や、教職員アンケート結果を踏まえ、平成31年に策定した「目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム」を令和5年2月に改定しました。

教職員が心身の健康、誇りとやりがいを持って勤務し、子どもと向き合う時間が創出できるよう、引き続き、働き方改革に係る取組を進めていきます。

また、学校徴収金管理システムを、令和3年度に導入した全中学校と小学校2校に加え、令和4年度から小学校20校で導入しました。

(7) 学校施設の老朽化対策

学校施設更新計画に基づき、老朽化した学校施設の計画的な更新を進めています。令和4年度は向原小学校等複合施設の基本構想・基本設計、統合新校の基本構想・基本設計に係る設計事業者の選定などを実施しました。

(8) 安全で快適な施設整備

学校は、子どもたちが日常的に学び生活する場としての役割とともに、災害時の避難場所としての役割も担っており、安全で快適な施設整備に取り組んでいます。

令和4年度は、学校の生活環境改善を図るため、小学校4校、中学校1校でトイレ環境改善工事、小学校2校、中学校1校で校庭トイレ等の洋式化を実施しました。

(9) 南部・西部地区の統合新校整備方針の策定

令和3年12月に改定した統合方針「望ましい規模の区立中学校の実現を目指して」に基づき、第七中学校・第九中学校の統合及び第八中学校・第十一中学校の統合を進めるため、令和4年4月に設置した「第七中学校・第九中学校統合新校推進協議会」及び「第八中学校・第十一中学校統合新校推進協議会」(保護者、地域の方々等で構成)をはじめとして、区民の方々からのご意見を踏まえて、令和5年3月に統合新校の位置や目指す学校像などの基本的な事項等を定めた「第七中

学校・第九中学校の統合新校整備方針」及び「第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針」を策定しました。

(10) めぐろ歴史資料館企画展等の実施

目黒区が区制施行 90 周年を迎えるにあたり、区が誕生した昭和 7 年から現在に至るまでの歴史を当時の写真や資料で紹介する「目黒区区制施行 90 周年記念展－目黒 90 年の面影－」や、秋季特別展「目黒の名工－千代鶴是秀×小宮又兵衛×高山一之一」など、企画展示を 3 回実施しました。また、関連事業として展示説明会や講演会等を開催しました。

(11) 図書館基本方針の改定

平成 29 年 4 月にこれから区立図書館のあるべき姿・方向性を示すため、目黒区立図書館基本方針を策定しました。その後、令和 3 年 3 月に新たな目黒区基本構想、令和 4 年 3 月に新たな目黒区基本計画がそれぞれ策定されたことを踏まえ、令和 5 年 3 月に図書館基本方針の改定を行いました。

(12) 図書館情報システムの更新

令和 5 年 1 月に図書館情報システムの更新を行い、デジタル貸出券や閲覧席予約システムの導入、図書館ホームページのリニューアルを行いました。また、この更新に伴うめぐろ電子図書館（令和 3 年 7 月サービス開始）とのシステム連携により、図書館に登録している区民の方は、電子図書館のシステムへ個別に登録する必要なく利用が可能になり、また、電子書籍の予約メールを受信できるなど、利便性が向上しました。

4 広報・広聴活動

(1) 広報活動

教育行政を適正、かつ効果的に推進していくためには、行政の施策や計画等の情報を区民に正しく提供し、行政と区民の連携を図ることが重要です。令和4年度の主な広報活動は次のとおりです。

ア 教育施策説明会の実施

教育委員会は、教育課題を提起するとともに教育施策を積極的に展開するに当たり、区民のご理解とご協力を得られるよう、教育施策説明会を実施しています。

なお、令和3年度に引き続き令和4年度についても国や都の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、説明動画のオンデマンド配信を行いました。

	配信開始日・視聴回数	内 容
前期	5月15日から 788回 5月15日～6月30日集計分	①めぐろ学校教育プラン ②教育委員会の施策と予算 ③MEGURÔスマートスクール・アクションプラン ④本区の特色を生かした教育課程「小学校40分授業午前5時間制」の推進 ⑤小学校における教科担任制 ⑥体力向上に向けた取組の推進 ⑦いじめ防止の取組 ⑧不登校児童・生徒への取組 ⑨特別支援教育の推進 ⑩学校施設の計画的な更新 ⑪南部・西部地区の区立中学校の統合による新設中学校の開校に向けた取組 ⑫目黒区生涯学習実施推進計画
後期	11月21日から 428回 11月21日～12月28日集計分	①1人1台タブレット端末の活用状況 ②体験学習の充実～自然宿泊体験教室～ ③いじめの現状といじめ問題への対応 ④不登校児童・生徒への取組 ⑤特別支援教育の推進 ⑥学校施設の計画的な更新 ⑦地域ぐるみで子どもを守りはぐくむ～「こども110番の家」～ ⑧子どもの安全・安心の確保～通学路の安全対策～

イ 「目黒区の教育－令和3年度事業報告書－」の発行

教育関係者、施設等に配布しました。

ウ 「きょういく広報」の発行

発行部数 No.174 23,500部 No. 175 23,500部

区立小・中学校、幼稚園、こども園の保護者等をはじめ、保育園、教育施設窓口、区施設窓口等に配布し、町会・自治会に回覧しました。

なお、町会・自治会への回覧については、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していましたが、令和4年度から再開しました。

(発行開始：昭和47年4月)

発行月	内 容
No.174 (11月)	<ul style="list-style-type: none">・第76回 目黒区立中学校連合体育大会・角田市のご協力により、今年も稻を収穫することができました・令和4年度 全国学力・学習状況調査結果と目黒区学力調査結果をお知らせします・各学校の特色ある取組の紹介・統合新校整備方針案の一部（新校の位置、通学区域、目指す学校像）を決定しました・向原小学校建替えの基本構想の策定作業を進めています・校舎トイレの環境改善に取り組んでいます・寄付金のご案内・令和4年度めぐろ歴史資料館特別展「目黒の名工 千代鶴是秀×小宮又兵衛×高山一之」・ひとりで抱えず 相談してみませんか・教育施策に関する説明動画を配信します・教育長の就任について
No.175 (4月)	<ul style="list-style-type: none">・令和5年二十歳（はたち）のつどい・統合による新設中学校の開校準備を行います・向原小学校の建て替えのための基本設計を進めています・令和5年度文部科学省研究開発学校研究発表会・令和5年度教育委員会の予算・区立学校・園における働き方改革の推進にご理解・ご協力をお願いします・令和4年度目黒区教育委員会児童生徒表彰・令和4年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰・図書館ホームページにアクセスしよう！・「こども110番の家」にご協力ください！・教育委員を紹介します・教育施策に関する説明動画を配信します

エ ホームページの活用

区のホームページ上に教育委員会のページを設け、教育情報の積極的な公開に努めました。また、Eメールによる区民の意見の聴取についても取り組みました。

学校のホームページについては、平成21年度にCMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入し、専門の知識がなくても各校が一定レベルのホームページを公開できる体制となっています。そのため、各校とも学校だよりを掲載したり、写真入りで学校生活の様子を紹介したり、保護者や地域の方々に向け積極的に情報公開を行っています。

オ その他

東山社会教育館、目黒区民センター社会教育館、目黒本町社会教育館、中央町社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザでは、館主催の事業や社会教育の啓発、団体活動の紹介等のために、「館だより」等を発行しました。

めぐろ歴史資料館、生涯学習課文化財係では「めぐろ歴史資料館・文化財だより」を発行しました。

社会教育の催し等は、ポスター・ちらし、「めぐろ区報」等で、隨時お知らせするとともに、社会教育館・緑が丘文化会館、青少年プラザ、図書館では、ホームページにおいて事業等のお知らせを行いました。

(2) 情報公開

区が持っている各種の情報は、区民と区の共有財産です。この情報を区民が有効に活用できるように、区は「情報公開制度」を実施しています。

また、区が保有する個人情報を保護するために「個人情報保護制度」を実施しています。個人情報保護制度は、法改正により、令和5年4月1日から、区の条例に基づく制度から、国の個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に基づく制度に変更となりました。

ア 情報公開制度

区では、昭和60年1月1日に公文書公開条例を施行し、区民の公文書の公開を求める権利を保障し、公正で開かれた区政の推進、区民の区政への参加等を図ってきました。

その後、情報公開の対象を拡大し、個人情報の保護等に関する規定を整備するとともに、実施機関に対し情報の公開施策の充実を義務付けること等により情報公開の総合的な推進を図るため、公文書公開条例の全部を改正し、情報公開条例を定め、平成13年4月1日から情報公開制度を実施してきました。教育委員会もこの制度の実施機関になっており令和4年度の請求は13件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が5件、一部開示決定が7件、不開示が1件でした。

イ 個人情報保護制度

個人情報保護制度は、区が保有する個人情報を保護するために必要な事項を定めることにより、区民等が自分自身についての情報を知り、コントロールする権利を保障する制度です。教育委員会もこの制度の実施機関になっており、区立学校が保有する個人情報の保護制度も実施しています。令和4年度の請求は7件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が1件、一部開示が5件、不開示が1件でした。

5 放射性物質への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した福島第一原子力発電所の事故の影響による放射性物質への主な対応は次のとおりです。

(1) 学校・園給食食材の放射性物質検査

学校・園で使用される給食食材について、下記のとおり検査を実施しました。令和 4 年度の結果で食品衛生法に定める規格基準を超えるものはありませんでした。

食材種類	検査頻度	検査方法	検査機関
米	年 2 回		
飲用牛乳 ※油面小学校わかたけ学級用 ヨーグルトも含む。	年 2 回	ゲルマニウム検出器 による検査	外部検査機関
使用前の食材	各施設 2 回程度 延べ 66 件		
食育食材	年 14 件		

※給食食材の産地を、小・中学校は学校ホームページに、こども園は園内に掲示して公表しました。

(2) 小・中学校校庭等の空間放射線量測定及び低減措置

平成 23 年度から実施していた、目黒区における小・中学校校庭の空間放射線量測定及びプール水の放射性物質の測定は、基準値である $0.23 \mu \text{Sv/h}$ を大きく下回る測定値で推移していることなどから、令和 2 年度をもって終了しました。

III 教育費のあらまし

1 令和4年度教育費決算額

目黒区教育委員会が令和4年度に支出した区一般会計の決算額は、196億8,678万4千円です。教育費を前年度と比較した場合、6億8,108万円（3.3%）の減となっています。その主な要因として学校施設整備寄付金等積立金の減があげられます。

※各図表中の金額及び割合は四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

図1 教育費の区一般会計決算額に占める割合

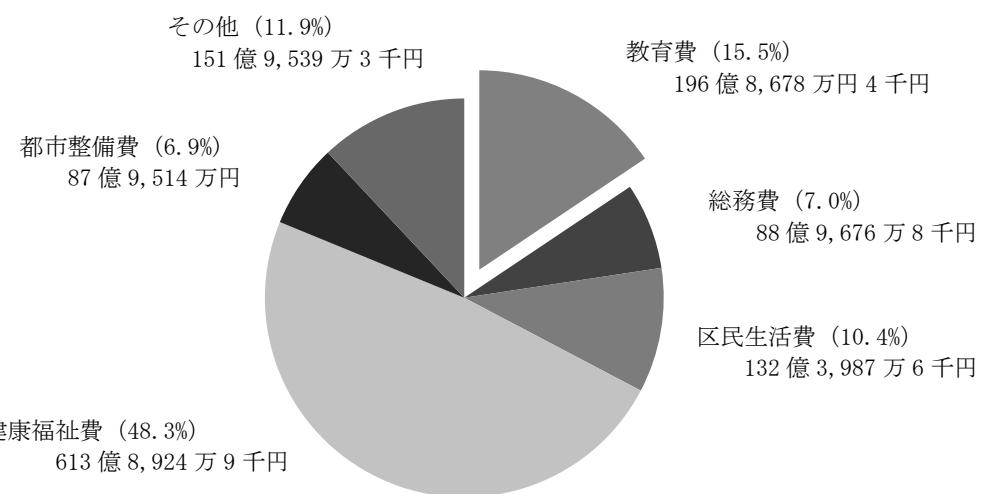


図2 教育費費目別割合

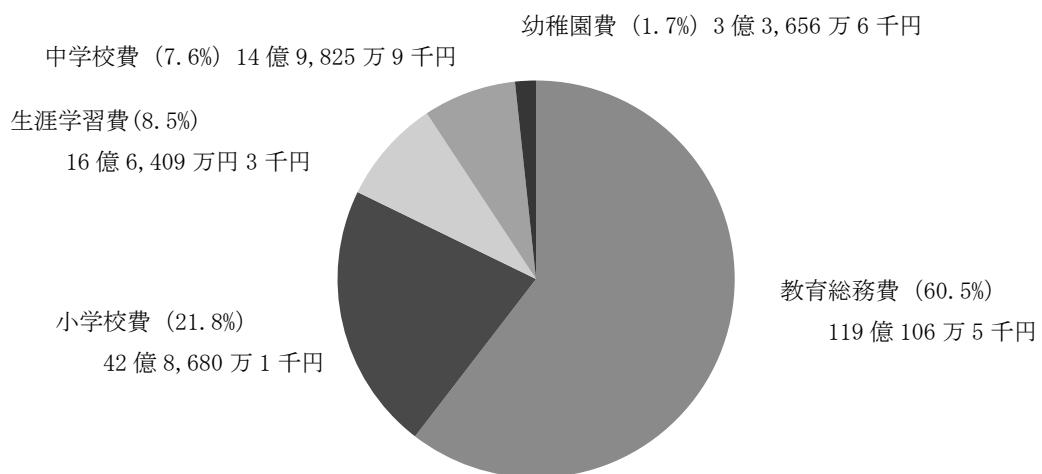


図3 区民一人当たりの教育費



2 保護者が負担する学校教育費

東京都教育委員会では、都内の公立学校において保護者が学校に納入する費用を把握するために、隔年で調査（令和3年度分までは毎年）を行っています。

令和3年度に、目黒区の保護者が負担した教育費（受益者負担）の額及び内訳は次のとおりです。

(1) 1人当たりの負担額

ア 小学校	68,358 円	児童数	10,231 人
イ 中学校	114,841 円	生徒数	2,787 人

(2) 負担額の内訳（1人当たり）

	学校給食費	教材費	学校行事	社会科見学・遠足等	校外宿泊	修学旅行	その他	1人当たりの負担額
小学校負担額（円）	51,378	10,682	434	2,143	968		2,753	68,358
	75.2%	15.6%	0.6%	3.1%	1.4%		4.0%	100.0%
中学校負担額（円）	63,723	15,825	253	2,207	5,399	21,032	6,402	114,841
	55.5%	13.8%	0.2%	1.9%	4.7%	18.3%	5.6%	100.0%

※1人当たりの負担額は区内小・中学校の合計額を項目ごとに全体の児童・生徒数で割った数です。

※「校外宿泊」は「自然宿泊体験教室」「部活動合宿」「独自宿泊事業」です。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施していない事業があります。

※項目ごとに四捨五入しているため、合計が計算結果と合わない場合があります。

IV めぐろ学校教育プラン

(平成15年2月25日策定、平成16年3月16日一部改定、平成18年2月7日一部改定、平成19年3月13日改定、平成20年3月25日一部改訂、平成22年3月16日改定、平成25年3月26日改定、平成29年3月14日改定、令和4年3月15日改定)

1 基本的考え方

変化の激しい21世紀においては、一人ひとりが個人として自立し、社会の一員として、それぞれの分野でたくましく生き抜いていく力を身に付けることが求められています。

そのための基礎となる力を培う学校教育では、児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくみ、知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を養うことが重要な役割です。

めぐろ学校教育プランでは、「目指す子ども像」を<21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども>とし、これを実現していくため「目指す学校像」として<魅力と活力にあふれ、信頼される学校>を掲げました。この2つの大きな目標を実現するため、7つの取組の方向と、32の推進施策、62の推進事業、121の実施策の推進により、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」づくりを基盤に、「21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども」をはぐくんでいきます。

2 位置付け

めぐろ学校教育プランは、目黒区教育委員会の教育目標・基本方針を学校教育において実現するための計画です。また、区の長期計画の補助計画として位置付けられており、「目黒区教育に関する大綱」や他の関連計画等との整合を図ります。

3 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5か年に実施する教育施策とし、国の制度改革や著しい状況の変化があった場合は、必要に応じて見直しを行います。

4 進め方

施策は、①単年度で実現を図るもの ②複数年度にわたるもの ③全校一斉に実施するもの ④各学校の教育計画に基づき選択して実施していくものなど様々です。毎年度、各学校の希望や実施状況等を判断し、予算編成等を通じて具体化を図っていきます。

また、本計画の実効性を高めるため、定期的に各施策の取組状況を検証し、必要に応じて施策の改善・見直しを行います。

5 取組の方向

「目指す子ども像」・「目指す学校像」という目標に向け、7つの取組の方向に基づき教育施策を推進します。

取組の方向① 確かな学力の向上

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、一人ひとりの児童・生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的变化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるようになります。

児童・生徒が個性と能力を伸ばし、社会を生き抜いていくための基盤として、児童・生徒一人ひとりの「確かな学力」を育成します。

推進施策

- ①-1 授業改善の推進
- ①-2 個に応じた学習指導の充実
- ①-3 I C Tを活用した教育の充実
- ①-4 外国語教育の充実
- ①-5 理科教育の充実
- ①-6 今日的課題に対応した教育の推進

取組の方向② 豊かな心の育成

豊かな心は、自他の違いを認め、他人を思いやることや自然を愛し、美しいものに感動する体験などから生まれます。人権教育・道徳教育や自然体験、国際交流や伝統・文化体験等、体験的な学習を充実させ、子どもたちの豊かな心を育成します。

推進施策

- ②-1 人権教育・道徳教育の推進
- ②-2 国際社会に対応する教育の推進
- ②-3 体験学習の充実
- ②-4 連合行事等の充実

取組の方向③ 健やかな体の育成

体力は、諸活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わる「生きる力」を支える重要な要素です。

子どもたちが生涯にわたって運動に親しむ態度や意欲・関心を高める取組を推進し、子どもたちの健やかな体の育成を図ります。また、子どもたちの健全な食生活の実践に向けて食育を推進します。

推進施策

- ③-1 体力向上に向けた取組の推進
- ③-2 健康教育の推進
- ③-3 食育の推進

取組の方向④ 新しい時代の教育を支える環境整備

確かな学力の定着や豊かな人間性の育成、健康の増進と体力の向上など、学校教育の様々な課題を解決していくために、校・園長のリーダーシップの下、全教職員が一体となって、新しい時代の学校教育を支える環境整備に組織的に取り組みます。

推進施策

- ④-1 いじめ防止等の対応の充実
- ④-2 不登校等への対応の充実
- ④-3 特別支援教育の推進
- ④-4 教室のＩＣＴ環境整備と校務の情報化の推進
- ④-5 学校図書館機能の充実と子ども読書活動の推進
- ④-6 就学前施設・小学校・中学校間の連携・交流の強化

取組の方向⑤ 魅力ある学校施設への更新

児童・生徒が快適かつ安全・安心に学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設を計画的に更新するとともに、既存施設についても利便性の向上や時代の変化への対応のための機能改善を進めていきます。充実した教育環境の整備を通じて、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を図ります。

推進施策

- ⑤-1 学校施設の計画的な更新
- ⑤-2 学習・生活環境の改善
- ⑤-3 中学校の適正規模の確保と適正配置の推進

取組の方向⑥ 学校内外の連携・分担による学校マネジメントの実現

学校を支える校内の人材と保護者、地域住民との連携・分担により、児童・生徒の健全な成長を図ることが大切です。学校における働き方改革を推進するとともに、学校と家庭や地域が連携することにより、子どもたちの実態に応じた教育活動を展開する取組を推進します。

推進施策

- ⑥-1 創意工夫を生かした学校づくりの促進
- ⑥-2 学校評価の活用による教育活動と学校運営の改善・充実
- ⑥-3 教員の資質・能力の向上
- ⑥-4 「チーム学校」の機能強化
- ⑥-5 働き方改革の推進
- ⑥-6 学校・家庭・地域全体で子どもたちの成長を支える体制の整備

取組の方向⑦ 子どもの安全・安心の確保

自然災害、犯罪や事故、虐待等から子どもたちを守るため、防災教育や家庭・地域と連携した子どもの安全・安心を確保する取組をより一層推進します。また、「新しい生活様式」における感染症対策や熱中症対策を講じます。

推進施策

- ⑦-1 安全教育の推進と安全体制の確保
- ⑦-2 家庭・地域の協力による安全対策
- ⑦-3 学校・園における児童虐待の早期発見・早期対応の推進
- ⑦-4 「新しい生活様式」等における予防策の推進

V 目黒区特別支援教育推進計画（第四次）

（令和2年3月策定）

1 計画の基本的考え方

目黒区においては、共生社会の実現に向けて全ての子どもが可能な限り共に学ぶことに配慮しつつ、自立と社会参加に向けて一人ひとりの教育的ニーズに応じた連続性のある多様な学びの場を充実していくインクルーシブ教育システムを構築することを基本的な考え方としています。これまで目黒区で取り組んできた特別支援教育の成果と課題、国や都の動向を踏まえ、次に示す3つの柱（取組の方向）を設定し、そのための方策を定め、具体的な取組を進めていきます。

取組の方向

- I 障害のある子もない子も共にいきいきと学ぶ環境の整備
- II 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- III 保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実

2 計画の期間

第四次の計画は令和2年度から令和6年度までの5年間としていますが、計画期間内に目黒区の他の計画や国や都の大きな制度改正等により特別支援教育をめぐる状況が著しく変化した場合は、必要に応じて見直しを行います。

3 計画での主な取組（推進施策）

計画を具体的に推進していくため、7つの推進施策と25の具体的な取組を掲げ、着実に取り組んでいきます。

【取組の方向I】障害のある子もない子も共にいきいきと学ぶ環境の整備

＜推進施策1＞学校・園における支援体制の充実

- (1) 学校・園における校内支援体制の充実
- (2) 学校・園における相談機能・アセスメント機能の充実
- (3) 学校・園における合理的配慮の提供促進

＜推進施策2＞教室環境の整備

- (1) 教室環境のユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 学校ICT環境の整備

＜推進施策3＞心のバリアフリーの推進

- (1) 教職員への理解啓発
- (2) 児童・生徒への理解啓発
- (3) 保護者・区民への理解啓発
- (4) 交流及び共同学習の充実
- (5) 特別支援学校に在籍する児童・生徒の副籍交流の充実

【取組の方向Ⅱ】一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

＜推進施策4＞専門性をもつ教員の育成

- (1) 特別支援教育の視点をもつ教員の育成
- (2) 効果的なOJTと校内研修体制の構築

＜推進施策5＞小・中学校における多様な学びの場での指導・支援の充実

- (1) 通常の学級における授業のユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 通常の学級における特別支援教育支援員の専門性の向上
- (3) 特別支援教室における指導・支援の充実
- (4) 特別支援学級における指導・支援の充実
- (5) 大学等との連携による自立活動の指導の充実

【取組の方向Ⅲ】保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実

＜推進施策6＞早期からの連携による支援体制の充実

- (1) 区立幼稚園・こども園への特別支援補助員等の効果的な配置
- (2) 公私立の幼稚園・こども園・保育所等との連携による支援の充実
- (3) 保護者への早期からの就学情報提供と就学相談の充実
- (4) 児童発達支援センター等との連携による支援の充実

＜推進施策7＞卒業後までを見通した連携による支援体制の充実

- (1) 保護者と教育委員会との連携による支援の充実
- (2) 各種協議会による関係機関等との連携の強化
- (3) 学校における医療的ケアの実施に係る医療機関等との連携の強化
- (4) 特別支援学校との連携による支援の充実

I 学校運営

1 児童・生徒の就学状況

学齢児童・生徒の小・中学校への就学は、学校教育法により義務教育とされていて、その事務は区の教育委員会が行っています。区立の小学校は22校、中学校は平成27年度に第三・第四中学校を統合して大鳥中学校とし、9校を設置しています。就学すべき学校は、通学区域に関する規則に従って、児童・生徒の住所により指定しています。なお、児童・生徒が健康上の理由や家庭の事情等で指定校以外の学校へ就学しようとする場合には、保護者からの申し出により、教育委員会が相当と認めるときには変更することもあります。

また、教育委員会では、平成15年4月に区立中学校へ入学する新一年生から「隣接中学校希望入学制度」を、平成17年4月に区立小学校へ入学する新一年生から「隣接小学校希望入学制度」を導入しました。なお、「隣接小学校希望入学制度」については、これまでの隣接学校希望入学制度の実施結果、児童・生徒数や学級数の将来推計及び平成29年度に実施したアンケート調査等を総合的に判断し、平成31年4月入学から当面の間「休止」することとしました。

小・中学校 児童・生徒数、教員数

(各年度5月1日現在)

年	小学校				中学校			
	児童数	指数	教員数	指数	生徒数	指数	教員数	指数
平成30	9,492	100.0	503	100.0	2,624	100.0	189	100.0
令和元	9,749	102.7	519	103.2	2,638	100.5	189	100.0
2	9,990	105.2	534	106.2	2,754	105.0	195	103.2
3	10,246	107.9	547	108.7	2,790	106.3	205	108.5
4	10,252	108.0	552	109.7	2,841	108.3	200	105.8

※児童数・生徒数は学級編制除外者を含む。

小学校 通常の学級 学校別・学年別、児童数、学級数

(令和4年5月1日現在)

小学校名	児童数							学級数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
八雲	65	65	74	52	61	66	383	2	2	3	2	2	2	13
菅刈	60	59	51	54	43	47	314	2	2	2	2	2	2	12
下目黒	103	78	89	85	64	67	486	3	3	3	3	2	2	16
碑	111	96	102	100	103	75	587	4	3	3	3	3	2	18
中目黒	92	91	125	71	81	110	570	3	3	4	2	3	3	18
油面	74	89	84	88	77	86	498	3	3	3	3	2	3	17
大岡山	109	127	125	120	123	109	713	4	4	4	3	4	3	22
鳥森	60	75	65	64	71	63	398	2	3	2	2	2	2	13
向原	54	46	50	47	43	44	284	2	2	2	2	2	2	12
五本木	57	69	58	63	64	68	379	2	2	2	2	2	2	12
鷹番	61	83	73	58	72	81	428	2	3	3	2	2	2	14
田道	65	81	56	78	63	56	399	2	3	2	2	2	2	13
月光原	54	66	55	64	51	64	354	2	2	2	2	2	2	12
駒場	61	76	62	69	57	85	410	2	3	2	2	2	3	14
緑ヶ丘	32	44	29	34	44	48	231	1	2	1	1	2	2	9
原町	53	69	48	43	42	45	300	2	2	2	2	2	2	12
不動	141	129	121	109	98	104	702	5	4	4	3	3	3	22
上目黒	50	45	52	43	52	51	293	2	2	2	2	2	2	12
東根	106	120	125	124	128	131	734	4	4	4	4	4	4	24
中根	67	66	62	49	71	71	386	2	2	2	2	2	2	12
宮前	53	56	47	55	47	55	313	2	2	2	2	2	2	12
東山	172	170	146	175	163	169	995	5	5	5	5	5	5	30
合計	1,700	1,800	1,699	1,645	1,618	1,695	10,157	58	61	59	53	54	54	339

※児童数は学級編制除外者を含む。

中学校 通常の学級 学校別・学年別、生徒数、学級数 (令和4年5月1日現在)

中学校名	生徒数				学級数			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
第一	60	36	48	144	2	1	2	5
第七	60	60	84	204	2	2	3	7
第八	55	77	86	218	2	2	3	7
第九	56	53	53	162	2	2	2	6
第十	138	131	137	406	4	4	4	12
第十一	67	67	68	202	2	2	2	6
東山	121	112	130	363	4	3	4	11
目黒中央	207	189	192	588	6	5	5	16
大鳥	162	168	177	507	5	5	5	15
合計	926	893	975	2,794	29	26	30	85

※生徒数は学級編制除外者を含む。

隣接中学校希望入学制度実施結果

(令和5年4月7日現在)

学校名	受入人数	入				出				差引	入学者数
		申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数	申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数		
第一中学校	35	13	4	3	6	33	10	20	3	3	70
第七中学校	35	10	4	1	5	71	15	32	24	△ 19	78
第八中学校	35	52	11	23	18	19	5	12	2	16	66
第九中学校	35	5	0	0	5	21	3	9	9	△ 4	52
第十中学校	35	22	3	8	11	20	3	11	6	5	140
第十一中学校	35	11	3	7	1	23	3	7	13	△ 12	47
東山中学校	35	40	10	23	7	27	11	9	7	0	110
目黒中央中学校	【注】	96	50	36	10	31	14	9	8	2	215
大鳥中学校	25	40	6	19	15	44	27	11	6	9	168
合計		289	91	120	78	289	91	120	78	0	946

(事業開始：平成15年4月)

【注】目黒中央中学校については、2月以降、学区内の入学状況等を踏まえて可能な範囲で受け入れを行うこととし、申込段階では概ね5~15人程度の受入人数としていました。

※目黒中央中学校は、国・都・私立中入学者による辞退者を考慮しても定員を超えることが予想されたため、抽選を実施しました。

※「辞退等」の人数には、「希望校の調整区域に居住している方」及び「令和5年度に兄又は姉が希望校に通学している方」を含みます。

* 対象者数 2,057人 <令和5年4月に1年生になる小学校6年生の令和4年10月28日現在の人数(国・私立小学校等への通学者を含む。)及び転入予定者で申請があった者の人数>

* 申込者数 289人 <申込率 14.05% (申込者数/対象者数) >

* 最終人数 78人 <申込率 3.79% (最終人数/対象者数) >

特別支援学級 学級別・学年別、児童・生徒数、学級数

(令和4年5月1日現在)

設置校名	障害種別	児童数						学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
八雲小(3くみ)	知的障害	5	3	5	4	5	3	25
菅刈小(あすなろ学級)	知的障害	3	4	4	4	6	7	28
碑小(4くみ)	知的障害	2	6	1	5	0	8	22
鷹番小(つくし学級)	知的障害	1	1	5	2	0	2	11
油面小(わかたけ学級)	肢体不自由	0	0	1	1	1	0	3
五本木小(4組)	自閉症・情緒障害	0	2	0	1	3	0	6
東根小 (きこえことばの教室)	難聴※	0	2	0	0	5	0	7
	言語障害※	6	3	6	8	5	0	28

設置校名	障害種別	生徒数				学級数
		1年	2年	3年	計	
第八中(E組)	知的障害	4	5	4	13	2
大鳥中(6組)	知的障害	7	5	6	18	3
大鳥中(7組わかつけ)	肢体不自由	0	1	1	2	1
目黒中央中(しいの木学級)	自閉症・情緒障害	4	6	4	14	2

小学校 拠点校特別支援教室別学年別利用児童数 (令和4年5月1日現在)

拠点校名	巡回する小学校	児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
中目黒小(すずかけ)	下目黒小、田道小	5	13	16	10	6	10	60
五本木小(ゆりのき)	鷹番小、上目黒小、烏森小	4	8	12	11	12	10	57
原町小(かしわのき)	碑小、向原小	1	11	8	10	7	12	49
不動小(ゆずりは)	油面小、月光原小	3	10	9	7	13	12	54
中根小(さくら)	大岡山小、緑ヶ丘小	1	3	12	9	10	9	44
宮前小(はなみずき)	八雲小、東根小	2	3	6	5	6	4	26
東山小(いちょう)	菅刈小、駒場小	9	7	13	14	20	18	81

○小学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある児童に対して巡回指導を行っています。

中学校 拠点校特別支援教室別学年別利用生徒数 (令和4年5月1日現在)

拠点校名	巡回する中学校	生徒数			
		1年	2年	3年	計
第七中(つばさ)	第一中、第八中、第九中、第十中、第十一中、東山中、目黒中央中、大鳥中	33	23	28	84

○中学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある生徒に対して巡回指導を行っています。

日本語国際学級

設置校名	児童数	学級数
東根小学校	22	2

2 障害のある児童・生徒の就学

(1) 障害のある児童・生徒の就学・転学相談

障害のある児童・生徒の就学・転学については、その障害の種別と程度に応じ、学校教育法の定めによる学校や学級に就学することができます。東京都では特別支援学校（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱）を、区では小・中学校に知的障害学級、肢体不自由学級、自閉症・情緒障害学級、特別支援教室を設置し、さらに、小学校には、難聴・言語障害通級指導学級を設置し、障害の状態等に応じた指導・支援を行っています。なお、小学校の自閉症・情緒障害学級（五本木小学校4組）は、令和3年度に設置しました。これらの学級への就学等については、教育委員会事務局で就学相談等を行い、校長及び専門医等で構成する就学支援委員会等を開き、保護者と相談のうえ、学校、学級を決めていきます。就学相談の日程等は、「めぐろ区報」等で毎年度お知らせしています。

就・転学等相談結果

	通常の学級	特別支援学級・特別支援教室	特別支援学校	就学猶予免除	その他	計
小学校	34 (8)	171 (128)	14 (3)	0	4 [2]	223 (141)
中学校	3 (1)	41 (16)	3 (0)	0	9 [3]	56 (20)
合 計	37 (9)	212 (144)	17 (3)	0	13 [5]	279 (161)

※（ ）内の人数は転学等の内数です。

「その他」は区外転出、私立学校への入学、就学相談取下げの人数です。そのうち、[]内は教育委員会の意見として就学・転学先の意見を具申した人数です。

(2) 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援

ア 定期巡回訪問・要請訪問

特別支援教育主任専門員（教育）と特別支援教育相談員（心理）が区立小・中学校を訪問し、通常の学級に在籍し、障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の実態を把握し、個に応じた学習方法や生活習慣が身に付くように学校に対して指導・助言を行っています。

定期巡回訪問は、前期・後期に各1回、区立小・中学校を巡回し、要請訪問は、学校・園からの要請に基づいて必要に応じて訪問しています。平成23年度からは区立幼稚園、こども園へも訪問を実施しています。

定期巡回訪問

校種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	6	16
小学校	44	1,324
中学校	18	276
計	68	1,616

要請訪問

校種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	0	0
小学校	84	263
中学校	24	64
計	108	327

イ 特別支援教育に関する相談

障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の教育上の課題等について、特別支援教育主任専門員（教育）、特別支援教育相談員（心理）が来庁・電話相談に応じています。

ウ 特別支援教育支援員の配置

小・中学校31校（全校）の通常の学級に在籍し、生活面及び学習面での指導に特別な配慮を要する児童・生徒831名に対し、224名の特別支援教育支援員を84,533時間配置し、支援の充実を図りました。特別支援教育支援員の支援方法等の向上を図るため、年2回の講義動画による研修を実施しました。

(3) 小学校就学前の幼児に関する相談

ア 就学相談員による就学前施設の訪問

就学相談員が、すくすくのびのび園を訪問して、小学校への就学を予定している特別な支援が必要な幼児と保護者に対する巡回相談を行いました（25名に対して、17回訪問）。

イ 小学校就学前ガイダンスの実施

区立幼稚園・こども園、私立幼稚園、区立保育園、私立保育園、認証保育所の教職員・保護者を対象とした、小学校就学前ガイダンスを行いました（45園の幼児96名に対して、延べ65回訪問）。

3 幼稚園・こども園

区立幼稚園は1園で2年保育を、区立こども園は2園で3年保育を行っています。入園は目黒区民であることを要件とし、11月頃に申し込みを受け付けます。募集の詳細については、「めぐろ区報」やホームページ、ポスター等でお知らせします。

なお、みどりがおか幼稚園は平成25年4月に、げっこうはら幼稚園は平成26年4月に、認定こども園に移行しました。

園児数・教員数（各年度5月1日現在）　園別・歳児別園児数　（令和4年5月1日現在）

	園児数	教員数
平成 26	246	17
27	247	16
28	245	15
29	243	15
30	244	17
令和 元	239	17
2	207	17
3	192	17
4	189	18

幼稚園名	4歳児	5歳児	計	クラス数
ひがしやま	20	25	45	2
こども園名				
げっこうはら	短時間	14	18	21
	中時間	1	2	5
	長時間	3	5	5
	計	18	25	31
みどりがおか				
	短時間	15	15	21
	中時間	2	2	3
	長時間	3	4	5
	計	20	21	29
合 計		38	46	60
		144		

※クラス数は、3歳・4歳・5歳とも各1クラス、合計6クラス

4 就学援助費・奨励費等給付状況

（1）就学援助費

就学援助費は、経済的な理由により就学することが困難な学齢児童・生徒のために設けられた制度で、法律に基づいて国の補助を受け、地方自治体が行っている事業です。この制度の対象は、生活保護法適用世帯及び児童福祉法適用世帯(要保護世帯)と、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額に対して1.2倍以下の世帯(準要保護世帯)で、保護者が教育委員会に申請し、該当世帯として認定されると、学用品費や学校給食費等の給付を受けることができます。

給付人数と1人当たり給付額

費目 内訳		学校 給食費	学用品 費	通学用品 費	入学 支度金費	校外 行事費	修学旅行 費	医療 費	校 外 宿泊費	卒業記念 アルバム費	体育実技 用具費	部活動 費
		準	準	準	準	準	生・準	生・準	生・児・準	生・児・準	準	生・児・準
小学校	受給者数 (人)	517	517	439	80	517	100	0	184	101		
	給付額 (円)	50,282	16,203	3,100	51,063	1,646	1,350	0	7,043	15,802		
	合計額 (千円)	25,996	8,377	1,361	4,085	851	135	0	1,296	1,596		
中学校	受給者数 (人)	313	313	222	96	313	116	0	96	126	14	238
	給付額 (円)	57,125	31,482	3,811	59,750	2,997	75,784	0	12,667	9,714	5,000	1,231
	合計額 (千円)	17,880	9,854	846	5,736	938	8,791	0	1,216	1,224	70	293

※表中「生」は生活保護法適用世帯、「児」は児童福祉法適用世帯、「準」は準要保護世帯

※校外宿泊費は「自然宿泊体験教室」、「部活動合宿」、「独自宿泊事業」、「特別支援学級校外宿泊」

受給者受給者数、受給率、給付総額、1人当たりの標準受給額

区分 年度		受給者数 (受給率)		給付総額 (千円)	1人当たりの標準受給額 ()内は平成30年度を100とした指数
		要保護 (%)	準要保護 (%)		
30	小学校	10 (0.11)	534 (5.63)	44,799	82,351 (100)
	中学校	24 (0.91)	317 (12.08)	46,466	136,264 (100)
元	小学校	7 (0.07)	513 (5.26)	46,950	90,288 (110)
	中学校	26 (0.99)	299 (11.33)	37,878	116,548 (86)
2	小学校	6 (0.06)	499 (4.99)	55,979	110,850 (135)
	中学校	20 (0.73)	309 (11.22)	38,373	116,635 (86)
3	小学校	7 (0.07)	538 (5.25)	44,396	81,461 (99)
	中学校	18 (0.65)	328 (11.76)	47,187	136,379 (100)
4	小学校	7 (0.07)	517 (5.04)	43,697	83,391 (101)
	中学校	9 (0.32)	313 (11.02)	46,848	145,491 (107)

※令和2年度までは決算ベース、令和3年度以降は受給者の入学年度ベースで算出

(2) 就学奨励費

就学奨励費は、特別支援教育の振興を図るために定められた制度です。この就学奨励事業の対象は、特別支援学級等児童・生徒の中で、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額の2.5倍未満の世帯です(通学費等は所得制限なし)。保護者が教育委員会に申請し、認定されると、通学費や学用品費、学校給食費等の給付を受けることができます。

給付状況

費目 内訳		学用品費 等	修学 旅行費	学校 給食費	通学費	校外行事 ・宿泊費	職場体験 交通費	体育実技 用具費	給付額 総額(千円)
小学校	受給者数 (人)	19	0	19	22	19			1,742
	給付額 (千円)	330	0	996	361	55			
中学校	受給者数 (人)	6	1	6	16	6	0	0	1,489
	給付額 (千円)	263	66	348	769	43	0	0	

※ 学用品費には通学用品費及び新入学児童・生徒学用品費が、通学費には通級交通費が含まれる。

5 学校運営費の執行

区立小・中学校の運営上必要とされる経費の大部分は、学校の児童・生徒数や学級数に応じて各学校に配付され、学校で直接、教材・教具の購入、修繕、印刷等の経費として執行されます。このほかに、全校に関わるもので一括処理した方がよいものや、年次計画を立てて計画的に整備するものについては、教育委員会事務局で執行しています。内容としては、児童・生徒の机、椅子等の教室の校具や光熱水費、電話料金等です。

6 学校評価

子ども・保護者・地域から信頼される学校を目指し、平成15年度から「保護者による学校評価」、平成16年度から「児童・生徒による学校評価」及び「地域の方による学校評価」、平成18年度からは、「教職員による学校評価」を実施しています。これらの保護者、児童・生徒、地域の方及び教職員による学校評価を「四者による学校評価アンケート」とし、自己評価のための資料に位置付け、学校評価の充実を図っています。また、平成20年度からは、各学校において「学校評価委員会」を設置し、学校の自己評価の妥当性や客観性を高めるとともに、次年度の教育課程の編成に生かしています。

令和2年度は「目黒区立学校 学校評価ガイドライン」と「目黒区立幼稚園・こども園 園評価ガイドライン」を作成・配付しました。学校評価アンケートのデジタル化について、令和3年度はオンラインでの試行実施として、校長の判断によりグーグルフォームを活用した学校がありました。課題として、保護者・地域向けのオンラインアンケートを実施するシステムの変更と取り扱い規定の整理等が挙がりました。解決策を確立するためには一定程度の時間を要することから、令和4年度は、一旦、全校・園、紙面での実施としました。

7 学校運営協議会

区では、平成20年度から平成23年度まで鷺番小学校、田道小学校を学校運営協議会のモデル実施校として2期4年間指定しました。

両校の活動内容について、平成24年度にそれまで学校運営協議会に関わった構成員、校長、教育委員会事務局による評価に加えて外部の有識者による第三者評価を行い、学校運営協議会の成果と課題を検証し、その結果を報告会や区のホームページで公表を行いましたが、この間、今後の方向性の検討を行っていたことから、新たな協議会の設置はしていません。

なお、令和4年度は常設のめぐろ学校教育プラン推進委員会の小委員会として小・中学校の校長及び幼稚園・こども園の園長を構成員に含めた検討会を設置し、学校運営協議会の設置に向けた検討を行いました。
(事業開始:平成20年度)

8 学校評議員

地域に開かれた学校づくりを推進し、学校及び校長への支援体制をつくるため、平成 13 年度から学校評議員制度が設けられました。学校評議員は、校長の求めに応じ、学校の教育目標、学校運営や教育活動に関すること、地域との連携の進め方などについて意見を述べ、校長はその意見を参考に学校運営を行い、地域に根ざした創意工夫ある学校づくりを進めています。

また、学校評議員は、学校評価における学校の自己評価の妥当性・客観性を高めるため、「目黒区小・中学校学校評価委員会」の構成員として、意見を述べる等の役割を担っています。

平成 14 年度には全ての小・中学校、幼稚園に学校評議員が置かれ、令和 4 年度は、小学校 103 名、中学校 43 名、幼稚園・こども園 15 名の学校評議員が教育委員会から委嘱されました。

9 不審者情報などの発信

学校生活や通学途中等における子どもの安全を守る一つの手段として、保護者連絡システムを活用して、不審者情報などの防犯情報や震災時における学校からの連絡事項などを、区立小・中学校、幼稚園・こども園の保護者等に配信しました。

配信状況（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）(単位：件)

	不審者情報	お知らせ	その他事件・事故	計
教育委員会からの配信	23	50	0	73

10 AED（自動体外式除細動器）の設置

学校では児童・生徒の活動のほか、学校開放で多くの区民がスポーツ活動などを行っています。こうした活動中、心停止（心室細動）などの緊急事態発生に対応するため、平成 20 年度に全区立小・中学校等へ AED を設置しました。

令和 4 年度は、前年度に引き続き、AED が有効に活用できるよう、教職員を対象に普通救命講習会を実施しました。

設置施設：小学校（22 校）、中学校（9 校）、ひがしやま幼稚園、めぐろ学校サポートセンター、興津自然学園、八ヶ岳林間学園

全ての AED に小児用電極パッド又は小児用キー、救急キット、蘇生用マウスピース、毛布を付属しています。

（事業開始：平成 20 年度）

II 保健・給食

1 学校保健

学校保健を推進し、児童・生徒の健康の保持増進を図ることは、心身ともに健康な国民の育成を期して行う教育の目的達成に大きな役割を果たし、あらゆる教育活動の基礎を培うものです。

近年、社会環境や生活様式の変化は、児童・生徒の健康にも多様な影響を与えています。肥満やアレルギー疾患、生活習慣病の若年齢化、心身症等の疾病が注目されていることは、その現れといえます。

目黒区では、児童・生徒の健康保持に努め、健康診断の実施とともに健康教育を推進することで、さらに積極的な健康づくりに取り組んでいます。

(1) 健康診断

児童・生徒の健康の保持・増進を図るためにには、健康状態を正しく把握して、適切な指導・管理を行うことが必要です。このため、小・中学校では定期的に健康診断を実施しています。

平成 28 年度から「四肢の状態」が健康診断の必須項目に加わったため、四肢の状態を検査する「運動器検診」を実施しています。

学校保健統計調査（令和 4 年度定期健康診断疾病異常集計表）

項目	区分	小学校							中学校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
在籍者数	男	936	945	890	872	900	946	5,489	530	482	550	1,562	
	女	775	870	825	788	734	771	4,763	414	435	441	1,290	
受診者数	男	933	934	878	858	888	931	5,422	515	458	524	1,497	
	女	771	861	820	779	725	759	4,715	400	412	418	1,230	
栄養状態	①栄養不良	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	②肥満傾向	男	2	5	7	15	8	15	52	0	0	0	
	女	7	4	6	3	1	6	27	0	1	2	3	
四肢	疾病・異常者数	男	11	8	7	8	16	17	67	7	5	5	17
	女	7	6	14	10	13	10	60	2	4	9	15	
	①脊柱側わん症・脊柱異常	男	10	5	5	4	14	14	52	6	4	3	13
	女	6	5	12	8	10	10	51	2	4	6	12	
	②胸郭異常	男	2	2	0	2	3	1	10	0	0	1	1
	女	0	0	2	2	1	0	5	0	0	1	1	
	③四肢異常	男	2	3	2	2	0	2	11	1	1	1	3
	女	1	1	1	0	2	0	5	0	0	4	4	
	①裸眼視力測定者（②～⑤の合計）	男	921	921	860	807	833	833	5,175	445	389	417	1,251
	女	765	840	791	730	649	664	4,439	333	316	290	939	
視力	②1.0 以上	男	675	598	542	445	410	368	3,038	194	144	142	480
	女	586	533	438	347	280	238	2,422	133	89	91	313	
	③1.0 未満 0.7 以上	男	129	151	94	121	95	114	704	64	65	69	198
	女	110	123	98	87	84	75	577	45	61	49	155	
	④0.7 未満 0.3 以上	男	93	111	135	134	159	169	801	96	89	89	274
	女	56	116	153	156	118	160	759	66	73	59	198	
	⑤0.3 未満	男	24	61	89	107	169	182	632	91	91	117	299
	女	13	68	102	140	167	191	681	89	93	91	273	
	⑥裸眼視力測定者のうち 眼鏡・コンタクトレンズ装用者	男	27	35	58	85	127	148	480	57	65	87	209
	女	24	41	72	101	128	193	559	64	70	76	210	
	⑦眼鏡・コンタクトレンズ装用 のため矯正視力のみ測定者	男	10	17	23	54	56	116	276	70	74	111	255
	女	7	26	30	52	80	98	293	74	92	125	291	

項目	区分	小学校							中学校				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
眼疾患	疾病・異常者数	男	120	131	120	112	148	87	718	63	44	67	174
		女	78	109	90	99	100	67	543	52	48	48	148
	① 感染性眼疾患	男	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② アレルギー性眼疾患	男	98	113	104	94	124	65	598	46	26	46	118
		女	64	87	65	84	86	48	434	32	28	34	94
	③ その他の眼疾患	男	25	23	20	22	29	25	144	18	18	23	59
		女	17	26	29	18	15	20	125	21	20	14	55
聴力	難聴	男	10	8	5	—	3	—	26	2	—	1	3
		女	10	12	6	—	4	—	32	4	—	0	4
耳鼻咽喉疾患	① 耳疾患	男	144	113	90	95	105	83	630	56	65	47	168
		女	118	119	85	78	69	66	535	44	35	27	106
	② 鼻・副鼻腔疾患	男	238	235	204	229	259	292	1,457	162	96	114	372
		女	118	161	131	150	166	182	908	81	86	89	256
	ア アレルギー性鼻疾患	男	195	189	173	204	228	274	1,263	139	82	103	324
		女	101	138	119	139	148	162	807	70	75	88	233
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	男	41	51	35	24	33	20	204	27	18	12	57
		女	19	27	16	15	19	23	119	12	11	2	25
	③ 口腔咽喉頭疾患	男	4	5	3	3	3	1	19	4	8	3	15
		女	1	3	1	6	2	0	13	8	6	2	16
皮膚疾患	① 感染性皮膚疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
		女	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2
	② アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎)	男	62	64	46	62	77	67	378	33	21	19	73
		女	47	58	49	42	43	58	297	17	17	13	47
	③ アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎以外)	男	6	3	3	3	4	1	20	1	0	0	1
		女	1	1	0	0	3	0	5	0	0	0	0
	④ その他の皮膚疾患	男	4	0	0	2	2	1	9	0	0	0	0
		女	0	4	0	0	1	0	5	0	0	0	0
結核	① 結核患者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 精密検査対象者	男	8	7	3	6	6	3	33	4	1	2	7
		女	11	7	5	6	4	4	37	0	0	2	2
心臓	① 心臓疾患	男	14	4	3	4	1	4	30	10	3	1	14
		女	18	4	5	3	2	6	38	9	1	0	10
	② 心電図異常	男	19	—	—	—	—	—	19	24	—	—	24
		女	21	—	—	—	—	—	21	16	—	—	16
検尿	① 尿蛋白検出	男	2	4	0	0	1	11	18	8	11	15	34
		女	1	0	2	4	12	16	35	5	3	3	11
	② 尿糖検出	男	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2
		女	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2
その他	① 気管支喘息	男	41	47	32	37	37	23	217	11	4	11	26
		女	28	31	36	27	25	15	162	11	6	10	27
	② 腎臓疾患	男	4	2	3	0	3	2	14	1	0	3	4
		女	5	1	2	0	1	7	16	1	1	2	4
	③ 言語障害	男	6	2	4	2	2	4	20	0	0	0	0
		女	0	2	0	3	1	1	7	0	0	0	0
	④ その他の疾病・異常	男	4	1	3	6	1	7	22	0	0	0	0
		女	1	6	2	4	0	2	15	0	2	2	4

項目	区分	小学校							中学校					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計		
歯科	① 歯科受診者数	男	922	935	879	856	887	925	5,404	518	452	522	1,492	
		女	766	865	817	781	719	760	4,708	405	400	404	1,209	
	② う歯・要観察歯	ア 处置完了者	男	98	130	174	201	180	123	906	56	51	64	171
			女	69	122	137	180	132	103	743	53	69	79	201
		イ 未処置歯のある者	男	65	94	114	79	66	48	466	34	21	37	92
			女	41	75	88	77	50	36	367	22	24	36	82
		ウ 要観察歯のある者	男	51	49	47	76	83	73	379	86	48	71	205
			女	36	66	49	63	77	65	356	80	66	80	226
	③ 歯肉の状態	エ 永久歯のう歯経験者	男	6	17	32	48	82	95	280	65	70	99	234
			女	11	22	40	59	88	85	305	56	88	110	254
	④ 歯列・咬合の異常	ア 歯周疾患	男	4	4	2	13	15	6	44	20	13	29	62
			女	1	3	4	4	4	10	26	7	17	12	36
	⑤ 頸関節の異常	イ 歯周疾患要観察者	男	37	72	85	95	108	106	503	77	78	64	219
			女	46	66	79	66	74	64	395	67	52	43	162
	⑥ 歯垢の状態	ア 未処置歯数(D)	男	21	40	43	28	30	27	189	37	15	18	70
			女	21	40	49	32	27	36	205	32	20	17	69
	⑦ その他の歯・口腔の疾病・異常	イ う歯による喪失歯数(M)	男	0	2	0	3	0	1	6	0	1	2	3
			女	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	2
	⑧ 永久歯の内容	ウ 処置歯数(F)	男	4	6	10	24	33	18	95	30	22	41	93
			女	5	7	8	10	12	18	60	15	26	18	59
		ア 未処置歯数(D)	男	4	2	2	5	4	1	18	2	0	1	3
			女	4	0	6	6	5	4	25	0	0	0	0
		イ う歯による喪失歯数(M)	男	—	—	—	—	—	31	31	40	—	—	40
			女	—	—	—	—	—	41	41	33	—	—	33
		ウ 処置歯数(F)	男	—	—	—	—	—	2	2	9	—	—	9
			女	—	—	—	—	—	2	2	4	—	—	4

(2)児童・生徒の体位

座高の計測は健康診断の必須項目ではなくなったため、平成28年度から廃止しました。

児童・生徒の平均体位の比較 (令和4年7月)

学校	学年	性別	身長(cm)			体重(kg)		
			区	都	国	区	都	国
小学校	1年	男	117.8	117.6	116.7	21.6	22.1	21.7
		女	116.5	116.3	115.8	21.1	21.3	21.2
小学校	2年	男	123.2	123.2	122.6	24.2	24.4	24.5
		女	122.3	122.4	121.8	23.7	24.1	23.9
小学校	3年	男	129.3	129.0	128.3	27.9	27.8	27.7
		女	128.1	128.1	127.6	26.7	27.0	27.0
小学校	4年	男	134.8	134.2	133.8	31.4	31.2	31.3
		女	134.5	134.3	134.1	30.1	30.1	30.6
小学校	5年	男	140.6	139.5	139.3	35.2	34.5	35.1
		女	141.4	140.7	140.9	34.6	34.6	35.0
小学校	6年	男	146.7	146.2	145.9	39.9	39.7	39.6
		女	148.1	147.5	147.3	39.6	39.5	39.8

学校	学年	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			区	都	国	区	都	国
中学校	1年	男	154.1	154.4	153.6	45.4	45.7	45.2
		女	152.6	152.9	152.1	43.6	44.3	44.4
	2年	男	161.3	161.3	160.6	50.5	50.3	50.0
		女	156.1	155.8	155.0	47.3	47.7	47.6
	3年	男	166.5	166.4	165.7	55.2	55.4	54.7
		女	157.4	156.9	156.5	49.7	49.7	50.0

※国・都の数値は、作成時点で令和4年度の数値が公表されなかったため、令和3年度の数値を記載しています。

(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校、幼稚園及びこども園の管理下で発生した災害（事故）について、「独立行政法人日本スポーツ振興センター」がその保護者に対して一定の基準に基づき医療費等の給付を行うことにより、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする共済制度が設けられています。本区では、全児童・生徒並びに幼児が加入し、加入に要する共済掛金は全額公費負担しています。

学校管理下における災害発生件数及び支給額

	幼稚園・こども園	小学校	中学校	合計
加入者数	189	10,232	2,835	13,256
発生件数	3	329	129	461
支給額(円)	23,756	3,355,690	2,027,363	5,406,809

災害発生の状況

区分	幼稚園・こども園		小学校		中学校	
	件数	%	件数	%	件数	%
災害発生状況	各教科等	-	117	35.5	66	51.2
	特別教育活動	-	38	11.6	2	1.5
	学校行事	-	25	7.6	14	10.9
	課外指導	-	1	0.3	32	24.8
	休憩時間	-	127	38.6	15	11.6
	通学中	-	21	6.4	0	0.0
	保育中	3	100.0	-	-	-
	通園中等	0	0.0	-	-	-
計		3	100.0	329	100.0	129
						100.0

けが等の種類

区分	幼稚園・こども園		小学校		中学校		
	件数	%	件数	%	件数	%	
けがの種類	骨折	0	0.0	90	27.4	45	34.9
	捻挫	0	0.0	69	21.0	19	14.7
	脱臼	0	0.0	4	1.2	5	3.9
	挫傷・打撲	0	0.0	106	32.2	35	27.1
	靭帯損傷・断裂	0	0.0	12	3.6	13	10.1
	挫創	1	33.3	17	5.2	3	2.3
	切創・刺創	2	66.7	7	2.1	0	0.0
	裂創	0	0.0	2	0.6	0	0.0
	擦過傷	0	0.0	4	1.2	0	0.0
	歯牙破折	0	0.0	1	0.3	0	0.0
疾病の種類	その他	0	0.0	1	0.3	0	0.0
	食中毒	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	0	0.0	16	4.9	9	7.0
計		3	100.0	329	100.0	129	100.0

(4) 学校環境衛生検査

学校環境衛生の基準に基づき、各小・中学校、幼稚園及びこども園において、下記の環境衛生検査を行っています。結果に基づき指導し良好な状態を保つようにしています。

- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園による日常検査
飲料水水質検査、水泳プールの水質検査等
- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園薬剤師による定期検査
水泳プールの水質等検査（使用期間中4回程度）、室内の照度・粉塵・二酸化炭素等の検査（年2回夏・冬）、ダニ又はダニアレルゲン検査（年1回夏）
- ・専門業者による定期検査
水泳プール水総トリハロメタン検査（平成14年度から年1回）、水泳プールろ過装置処理水濁度検査（平成15年度から年1回）、ホルムアルデヒド及びトルエンの室内空気環境検査（年1回）、飲料水水質検査（年1回秋）

2 学校給食

学校給食は、教育活動の一環として、児童・生徒の基本的な生活習慣の形成や、社会性を身に付けさせ、豊かな人間関係の育成を図ることをねらいとして実施しています。

平成17年6月には「食」について改めて意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めつつ、「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付けることによって、心身の健康を増進する健全な食生活を実践するため食育基本法が制定されました。

学校給食における「食」に関する指導がますます重要になる中、「学校（園）における食育指針」（令和2年3月改定）を基に、これまでの食育の取組状況を改めて確認しながら、食に関する指導や学校給食の食事内容の充実を図っていきます。

(1) 食事内容

食事内容については、次のような点に配慮して献立作成を行いました。

- ア 1人1回当たりの学校給食摂取基準は、「目黒区児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準」に基づき行う。
- イ 学校給食摂取基準を満たし、多様な食品を組み合わせた献立にするため、「目黒区学校給食の標準食品構成」に基づき行う。
- ウ 主食の配分は20日間を1サイクルとし、米飯15回、パン3回、麺2回とする。
- エ 学校における給食指導の目標や指導方法を踏まえた献立作成を行う。
- オ 旬の食材を取り入れ、季節感のある献立作成を行う。
- カ 食文化に対する関心や理解を深めることができるように、地場産物（都内産の農畜水産物など）を取り入れた献立、行事食、各地の郷土食等の献立を取り入れる。
- キ 手作りの味を大切にし、調理済食品や化学調味料を使用しない。
- ク 食材の安全を確保するため、不必要的食品添加物が添加された食品や鮮度、品質等の判別が困難な加工食品は使用しない。
- ケ 放射性物質への対応として、児童・生徒が安心して食べることができるよう、できる限り内部被ばくを軽減することを前提に食材を選定する。

学校給食摂取基準（児童・生徒1人1回当たり）

区分	小学校			中学校
	低学年(6~7歳)	中学年(8~9歳)	高学年(10~11歳)	
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の13~20%			
脂 質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の25~30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	1.6未満	2未満	2.4未満	2.5未満
カルシウム(mg)	330	350	380	450
鉄(mg)	2.3	2.9	3.5	4.4
ビタミンA(μgRAE)	180	200	220	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	3.8以上	4.7以上	5.6以上	6.6以上
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
亜鉛(mg)	2	2	2	3

※この摂取基準は、国が全国的な平均値を示したものを、区の基準として採用したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態等に十分配慮し、弾力的に運用した。

(2)学校給食の指導

給食指導については、「学校（園）における食育指針」に基づき、「楽しい食生活を通じて、子どもたち一人ひとりの健康な心と体を培い、豊かな人間性を養い、食を支える自然や社会に感謝する気持ちを育てる」ことを目標に、次のような内容を実施しました。

ア 栄養のバランスのとれた食事を通して、正しい食習慣を身に付けさせるとともに、生涯の健康づくりを培う観点から、他の関連する教科との連携を図りながら、望ましい食習慣や食生活について指導を行う。

イ 特別給食

子どもたちが伝統的な食文化に親しみ、それを継承することの大切さを理解するように日本の行事にちなんだ行事食や友好都市も含めた各地の郷土料理、国際理解を深めるための世界の料理などを取り入れる。

※ 目黒区では、特別給食に係る経費の一部を補助しています。

ウ 地場産物の活用

子どもたちが身近な地域の自然・食文化・産業等に関する理解を深め、食に関する感謝の気持ちを抱くことができるよう、地場産物を使用した献立を取り入れる。

エ 持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ教育

食品ロスの視点も含め、子どもたちに残さず食べることの大切さを指導するとともに、食品廃棄物の発生抑制や破損食器の再生利用など、循環型社会に対して理解を深める指導を行う。

(3)学校給食費

学校給食法では、学校給食に必要な施設・設備費や人件費等は学校設置者の負担とし、それ以外の経費は学校給食費として、保護者の負担としています。ただし、牛乳については、国による助成措置が行われました。

給食の平均実施回数は、小学校で198回、中学校で192回でした。

学校標準給食費

区分	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
1食単価	247円	267円	289円	333円

(4) 学校給食の安全

- 腸管出血性大腸菌O-157 やサルモネラ等の食中毒や事故を防止し、安全で衛生的な給食を実施するため、次のような対策を行いました。
- ア 調理手順や作業動線が複雑となる献立の組み合わせは避ける。
 - イ 調理は加熱を原則とし、中心温度計を用い75°C1分間以上（カキ、アサリなどの二枚貝は85～90°C90秒間以上）の加熱を確認する。
 - ウ 野菜については加熱処理を原則とする。トマトときゅうりは、洗浄、湯通し等を行い供食する。ただし、適切な温度管理のできる施設においては生食を可能とするが、流水で3回洗浄・消毒し、洗浄後は素手で取り扱わない。
 - エ 果物については生食を可能とするが、流水で3回洗浄・消毒し、洗浄後は素手では取り扱わない。
 - オ 和えものやサラダについては、適切な温度管理ができない場合は行わない。
 - カ 食材の納入時には、品質、鮮度、品温、異物の混入等について確認を行う。
 - キ 調理従事者に腸内細菌検査（腸管出血性大腸菌O-157を含む。）を年24回実施するとともに、「衛生管理チェックリスト日常点検票一」により日々の衛生管理の確認を行う。
 - ク 栄養教諭・栄養職員に、衛生管理に関する情報提供を行い、理解を深め、意識の向上を図る。

(5) 給食備品の整備

給食室の大型備品については、保守点検結果等に基づき、毎年、入替えを行っています。令和4年度は次の備品を整備しました。

備 品	小 学 校	中 学 校
回転釜	八雲小学校	目黒中央中学校
スチームコンベクションオーブン	下目黒小学校、油面小学校、駒場小学校	—
熱風消毒保管庫・殺菌庫	不動小学校	目黒中央中学校
冷蔵庫等	—	—
食器洗浄機	—	—
炊飯器	田道小学校、不動小学校	—

(6) 給食調理業務委託

学校給食調理業務の効率的運営を図るため、給食調理業務を委託しています。
委託内容は、調理業務とそれに付随する配缶、運搬、食器具の洗浄等の業務です。献立の作成及び食材料の購入は各学校の栄養教諭・栄養職員が行います。

3 健康教育の推進

児童・生徒一人ひとりの健康課題の改善、健康の保持増進、体力の向上を図るため、学校と教育委員会が連携して取組を進めています。また、めぐろ学校サポートセンターで行っていた健康教育推進事業を平成27年度からは学校運営課で行い、学校健康トレーナーを所属変更したことにより事業の連携を図っています。

健康課題のある児童への対応として、学校健康トレーナーの全小学校への派遣、参加を希望する児童を対象とした「めぐろ元気あっぷ教室」の開催、教室内でのトレーナ一面談、小児肥満専門医・小児科医による面談や栄養士による栄養相談を実施しました。また、幼稚園・こども園の年長クラス及び小・中学校の全児童・生徒への対応として、令和2年度から「めぐろ ここカラダシート」を配布しました。

さらに、令和元年度に改定した「学校（園）における食育指針」に基づき、食育を推進したほか、平成28年3月に発行した「食育実践事例集」を通して、家庭や地域、学校が連携した食育の推進に努めました。

(1)学校健康トレーナーの全小学校への派遣

学校健康トレーナー（6人）を区立全小学校へ定期的に派遣し、肥満や体力不足などの健康課題の改善に向けて運動支援や運動観察などの活動を行いました。また、教職員と連携して、相談・指導（運動プログラムや生活改善プログラムの提供等）を実施しました。

(2)健康相談・栄養相談

学校健康トレーナーが、児童の健康上の課題等について相談に応じるとともに、食育推進指導員（管理栄養士）が年4回、児童・生徒の食生活に係る課題等について、相談に応じています。

また、小児肥満専門医や小児科医との健康相談も年2回ずつ実施しました。

保護者との面談件数

面談	トレーナー	小児肥満専門医 小児科医	栄養士	計
件 数	350	12	8	370

(3)めぐろ元気あっぷ教室・夏季水中運動教室及びワクワク特別講座の開催

八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校、五本木小学校及び上目黒小学校体育館において、小学生を対象に楽しみながら運動し肥満解消や体力づくりを行う「めぐろ元気あっぷ教室」を前期・後期で延べ132回実施しました。また、夏季休業期間に五本木小学校プールで「夏季水中運動教室」を延べ4日間実施しました。

令和4年度からの新たな取り組みとして、親子参加型の「ワクワク特別講座」を中央体育館で12月17日（土）に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、従来の9コースから11コースへコースを増設し、1コース当たりの参加人数を減らして実施しました。

通常、めぐろ学校サポートセンターの体育館で実施していますが、新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり、使用が出来なくなったため、近隣の区内小学校の協力により会場を確保し教室を実施しました。

めぐろ元気あっぷ教室の実施状況（延べ人数）

会場・コース		参加者	
前期	中目黒小学校 五本木小学校 上目黒小学校	水曜 A	93 人
		水曜 B	104 人
		土曜午前 A	63 人
		土曜午前 B	132 人
		土曜午後 C	62 人
		土曜午後 D	59 人
	八雲小学校	水曜 A	112 人
		水曜 B	130 人

会場・コース			参加者
前期	碑小学校	土曜午前 A	101 人
		土曜午前 B	169 人
		土曜午前 C	70 人
夏季水中運動教室	五本木小学校プール	4日間 (8/1.2.4.5) 午前	144 人
ワクワク特別講座	中央体育館	12月17日 午後	205 人 (親子合わせて)
後期	中目黒小学校 五本木小学校 上目黒小学校	水曜 A	77 人
		水曜 B	92 人
		土曜午前 A	84 人
		土曜午前 B	121 人
		土曜午後 C	66 人
		土曜午後 D	73 人
	八雲小学校	水曜 A	121 人
		水曜 B	131 人
	碑小学校	土曜午前 A	143 人
		土曜午前 B	149 人
		土曜午前 C	60 人

III 校舎等の環境整備

児童・生徒が充実した学校生活を送り、教職員が効果的な教育活動を行うことのできる環境づくりを目指して、学校施設の整備を図っています。

また、児童・生徒の安全・安心を確保するため、各種点検や修繕を行っています。

区立小・中学校校舎保有面積構造別比較

(令和5年3月31日現在)

区分	鉄筋コンクリート造	鉄骨・ブロック	木造	計
小学校	112,942 m ² (98.21%)	1,932 m ² (1.68%)	131 m ² (0.11%)	115,005 m ²
中学校	48,954 m ² (98.30%)	811 m ² (1.63%)	34 m ² (0.07%)	49,799 m ²

※体育館の面積は含まない。

1 実施事業の内容

(1) 校舎等整備

ア 学校施設の計画的な更新

学校施設更新計画に基づき、学校施設の計画的な更新を進めています。令和4年度は、向原小学校の建て替えに向けて、地域ぐるみの学校づくりに取り組み、令和4年12月に「目黒区立向原小学校等複合施設基本構想」を策定しました。統合中学校2校の基本構想・基本設計業務にあたり公募型プロポーザル方式により受託候補者を選定しました。

イ 既存施設の機能改善

各学校の教育活動の状況などを考慮して、校舎等の整備を進めます。

令和4年度の取組実績

取組内容 (校数)	対象校		
トイレ環境改善工事 (5校)	菅刈小学校、 大岡山小学校、	中目黒小学校、 第十中学校	油面小学校、
校庭トイレ等の洋式化 (3校)	菅刈小学校、	第十中学校、	第十一中学校
特別教室等の普通教室化工事 (7校)	菅刈小学校、 不動小学校、	碑小学校、 東山小学校、	中目黒小学校、 八雲小学校 (特別支援学級)、 目黒中央中学校

(2) I C T 環境整備

区立小・中学校のICT環境には、教員・児童・生徒の教育用コンピューター及びタブレットと、教職員の校務用コンピューターがあり、計画的に整備及び維持管理を行っています。

令和4年度は令和5年度以降に区立小・中学校に整備する教育用ICT機器（指導者用PC、大型提示装置等）について、小・中学校長を構成員に含めた選定委員会を設置し、プロポーザル方式による事業者選定を行いました。

令和4年度末のICT環境は、教育用コンピューターのPC1,943台、タブレット端末14,770台、プロジェクター（電子黒板含む。）766台、実物投影機519台、校務用コンピューターのPC1,110台です。

(3) 小学校校舎等活用・整備

令和4年度は、小学校内学童整備のため、碑小学校学習室、五本木小学校ランチルームなどの改修を行いました。

(4) 校舎等施設管理

小・中学校からの要望や、各種点検の結果を踏まえ、校舎等の修繕を行い、施設を維持管理しています。

(5) 園舎等施設管理

幼児教育の充実を図るために、各種点検や園舎等の修繕を行い、施設を維持管理しています。

(6) 校外施設運営管理

八ヶ岳林間学園、興津自然学園の施設管理を行っています。

(7) 教職員住宅維持管理

清水池の教職員住宅の施設管理を行っています（事業開始：昭和49年4月）。

2 各事業の決算額（令和4年度）

単位：千円

事業名	幼稚園・こども園	小学校	中学校	校外施設	教職員住宅	計
校舎等整備		280,389	101,576			381,965
教育用コンピューター整備		547,933	239,660			787,593
校務用コンピューター整備		162,078	60,270			222,348
小学校校舎等活用・整備		25,664				25,664
校舎等施設管理		553,642	234,920			788,562
園舎等施設管理	12,298					12,298
八ヶ岳林間学園運営管理				114,063		114,063
興津自然学園運営管理				83,904		83,904
教職員住宅維持管理					875	875
合 計	12,298	1,569,706	636,426	197,967	875	2,417,272

IV 教育指導の充実

1 人権教育

あらゆる教育の機会を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすために、人権教育を推進しています。

平成 10 年度から人権教育の推進に関わる諸問題を検討し、総合的な施策の推進を図るため、人権教育推進委員会を常設しています。委員会では、人権教育推進委員会だよりや「目黒区人権教育の推進」の発行、また目黒区子ども条例の趣旨を踏まえて作成した「目黒区人権感覚チェックシート」を活用し、教職員の人権感覚の向上を図るための取組を行っています。令和 4 年度は、令和 3 年度に引き続き e ラーニングによる教職員悉皆研修を企画・実施しました。また、人権教育推進委員会だよりでは令和 4 年度は目黒区人権教育推進校である緑ヶ丘小学校、原町小学校、菅刈小学校、大鳥中学校の取組等を取り上げました。

各学校では、人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、子どもたちの発達段階に応じた組織的な人権教育に取り組んでいます。令和元年度から目黒区人権教育推進校を設置し、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、目黒区における人権教育の質的向上を一層図っています。

2 道徳教育

子どもたちの豊かな心をはぐくみ、道徳性を育成するため、学校教育全体を通して道徳教育を推進するとともに、道徳教育の要の時間としての「特別の教科 道徳」の充実を図っています。また、小学校は平成 30 年度から、中学校は令和元年度から「特別の教科 道徳」が完全実施となりました。道徳教育を充実させるため、目黒区では、全小・中学校で道徳授業地区公開講座を実施し、保護者・地域の方々とともに子どもの豊かな心をはぐくむためのそれぞれの役割等、意見交換を行っています。さらに、「特別の教科 道徳」の充実を図るため、全小・中学校で年間指導計画を作成するとともに、各校に道徳教育推進教師を置き道徳教育の推進を図っています。

副読本については、従来から活用してきた区独自の小学校中学年用道徳副読本「めぐろの心」を配付するとともに、平成 24 年度に小学校低・中・高学年、中学校用道徳教材として作成した「心の広場」を電子データにより配信し、活用を促しています。

3 国際理解教育

グローバル化に伴い、経済・文化・人的交流等のあらゆる面で国を超えて相互連結性が高まる中、区民一人ひとりが積極的に交流し、学び合うことにより国際的視野を広め、異なる文化・社会・価値観等に対する理解を深め、互いに尊重し合う関係を構築していくことがますます重要になっています。その課題を達成するために次の事業を実施しました。

(1) 区立小・中学校国際交流支援事業（平成 21 年度事業開始）

区立小・中学校国際交流支援事業は、区立小・中学校が外国の学校等と交流する場合における当該活動に要する経費を支援し、区立小・中学校における国際交流の促進に資するものです。令和 4 年度は実績がありませんでした。

(2) 外国語指導員（ALT）派遣（昭和 62 年度事業開始）

外国語指導員の中学校派遣を昭和 62 年 10 月より実施しています。

中学校では、英語科の授業を中心に外国語指導員を教員の助手として派遣し、英語教育の充実を図りました。令和 4 年度は年間を通しての派遣とし、1 クラス当たり平均 95.9 時間の授業を行いました。

小学校では、国際理解教育の一環として外国語指導員の派遣を平成 10 年 4 月から実施しています。令和 4 年度は中学校と同様、年間を通しての派遣とし、1~2 年生で 1 クラスあたり平均 12.3 時間、3

～4年生で平均30.9時間、5～6年生で平均41.7時間の授業をそれぞれ行いました。

※ALT (Assistant Language Teacher の略)

(3) イングリッシュ・キャンプの実施 (平成26年度事業開始)

平成27年4月に開校した統合新校の大鳥中学校では更なる魅力づくりにつなげるため、英語によるコミュニケーション能力の向上及び異文化の理解を図ることを目的に、イングリッシュ・キャンプ(Eキャンプ)を実施しています。6名の生徒に1人のネイティブスピーカーの外国語指導員がつき、生徒一人ひとりの英語を話す機会を十分にとりながら、泊り込みで野外活動やレクリエーションも交え、オールイングリッシュの様々な英語活動を行いました。これにより、生徒の英語を話そうとする意欲が高まり多くの生徒が成長を実感することができました。なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大鳥中学校において日帰りで実施しました。

【実施日】令和4年7月28日(木)から30日(土)

【場所】目黒区立大鳥中学校

【対象】大鳥中学校 生徒 48名

(4) 日帰り体験型英語学習の実施 (平成30年度事業開始)

目黒区立中学校生徒の希望者を対象に、東京都教育委員会が開設するTOKYO GLOBAL GATEWAYを利用して、普段の学習環境である教室とは異なる非日常の空間で、様々な体験型の学習をオールイングリッシュで行うことにより、英語によるコミュニケーション能力、英語・異文化理解に対する興味・関心の向上を図ることとしています。令和2年度より、目黒区立小学校第6学年全児童も対象としました。

【実施日】中学校：令和4年8月15日(月)～8月19日(金)

小学校：令和4年6月～令和5年3月にかけて、各校で調整し実施

【場所】TOKYO GLOBAL GATEWAY

【対象】中学校：第2学年の希望者

小学校：第6学年全児童

(5) 北京市東城区(旧崇文区)との書画賀状交換

目黒区と北京市崇文区(現東城区)とは、平成3年10月26日に友好関係促進のための協定書に調印、平成4年5月7日には各分野における交流を一層充実させていく努力をすることを確認し、友好協力事業の覚書を取り交わしました。

この一つとして、平成4年度から相互に児童・生徒の書画等の作品交換を行うことになり、平成4年度にはそれぞれの区で作品展を開催しました。その後は、隔年で相互に展示を行っています。また令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、東城区から目黒区への作品送付が遅れ、連合展覧会での作品展は実施できませんでした。そのため東城区から目黒区へ送付された80点の作品については、目黒区公式YouTube上でオンライン展覧会を行いました。

このほか、令和4年度は区立小学校315名程度の児童と東城区の小学校の児童との間での賀状の交換を行いました。

(6) ソウル特別市中浪区との賀状交換

目黒区とソウル特別市中浪区とは、平成25年度に友好増進及び交流協力に関する覚書を交わしました。令和4年度は目黒区立小学校と中浪区の小学校児童との間で315点程度の賀状の交換を行いました。

(7) ジョージア州チェロキー郡との絵画作品交流

ボランティア活動をしている米国ジョージア州チェロキー郡教育委員会の関係者が平成2年8月に目黒区を訪問したことをきっかけに、チェロキー郡教育委員会の提案に応じるかたちでチェロキー郡との絵画作品の交流を、平成3年度から実施しています。毎年30点程度の小中学生の絵画作品を交換

展示しており、目黒区での展示については、連合展覧会の場で行っています。

(8) 日本語教室

目黒区立学校に在籍する児童・生徒のうち、外国籍・帰国等の理由により日本語の理解が十分でない児童・生徒で、東根小学校等に常設する日本語国際学級等での指導を受けることができない児童・生徒を対象に、基礎的な日本語の習得と学校生活等への適応を図ることをねらいとして、平成6年度から、日本語教室を開設しています。

令和4年度は、中国、フィリピン、アメリカ、台湾、オーストラリア等、23の国・地域、64名の児童・生徒が在籍・通級しました。

なお、平成20年度から日本語指導に関して、早稲田大学大学院日本語教育研究科と協定を締結し、同大学院の支援のもと日本語教室での指導内容についても一層の充実を図っているところです。

4 情報教育

各学校において児童・生徒1人1台の学習用情報端末を「いつでも、どこでも、だれとでも」活用し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行うことで、「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を図り、基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成を目指しています。

また、情報教育の推進に必要な教員の更なる資質向上を図るため、全教員に対しては、教育指導課主催研修として、eラーニング全教職員悉皆チェック研修や、夏季休業期間中に「ICT活用推進研修(初級・中級・上級スキルアップ)」を実施しています。

また、ICT活用推進リーダーの代表等で構成する「ICT活用推進委員会」では、ICT機器を活用した指導内容や指導方法等について検討・協議し、各学校における学習用情報端末の活用の推進につなげました。

さらに、ICTを活用する授業を補助するため、4名のICT支援員(平成12年度から配置)が各学校を巡回し、情報モラルやICTを活用した授業に関する支援などを行っています。

5 特別支援教育

教育上特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が、社会の一員として自立し、充実した生活を送ることができるよう、一人ひとりの状況に応じた教育を行うために、知的障害、肢体不自由、自閉症・情緒障害、難聴・言語障害の特別支援学級を設置しているほか、全小・中学校に特別支援教室を設置しています(P29、30参照)。

特別支援学級関連の事業概要

事業名	内 容	実施日等
研修等	特別支援学級・教室運営、諸事業等についての協議等	研修等
	各事業の企画・立案・運営等についての協議・研修会等	年4回
	特別支援教育コーディネーターの研修・情報交換・協議 特別支援学級及び特別支援学校(地域交流事業)との連携等	年4回
	特別支援教育の視点を取り入れた授業、特別支援教育支援員との連携、保護者に寄り添った支援等	年15講座実施

事業名		内 容	実施日等
連 合 行 事	連合展覧会	特別支援学級の児童・生徒の作品を出展（目黒区美術館）	令和5年1月18日～2月2日
	特別支援学級連合運動会	区立知的障害・肢体不自由特別支援学級が、互いに連携し、授業等で身に付けた成果を発表し、相互の理解と交流を深める。	令和4年10月21日
	自然宿泊体験教室	小学校 知的障害特別支援学級4校合同で、八ヶ岳林間学園で実施	令和4年9月14日～9月16日
そ の 他	校外学習・宿泊訓練	遠足、社会科見学や宿泊訓練で、集団生活でのマナー等を学ぶ。	学校ごとに実施
	地域交流事業	特別支援学校との交流（副籍交流）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直接交流を一部中止

6 生活指導

小・中学校の密接な連携を図り、一貫した指導を進めるとともに、家庭、地域の協力を得て指導の万全を図るため、小・中合同生活指導主任会を年5回開催しています。教育指導課からの依頼や情報提供、関係諸機関の方々からの話を受け協議をしています。また、各中学校区別の分科会にて情報交換を行い、各学校の取組の共有を図っています。

7 安全指導

安全指導については、幼稚園・各こども園及び各小・中学校において年間計画に基づき、計画的に実施しました。

交通安全教室は、各学校の実情に応じ所轄警察署・関係者の協力の下に実施されています。また中学校では平成27年から毎年3校ずつ、プロのスタントマンが交通事故の再現を実演するスクエードストレート方式による自転車安全教室を行っています。

学校防災については、目黒区地域防災計画に基づき、教職員全員がとるべき行動とその手順についてまとめた学校・園防災マニュアルを策定しています。

さらに、各学校・園ではこの学校・園防災マニュアルを基に、子どもの数や地域の特性等に配慮した、各学校・園独自の防災マニュアルを作成しています。この独自防災マニュアルは、毎年度見直しを行いうように努めています。

また、令和4年度は防災検定を上目黒小学校（第5学年）、五本木小学校（第6学年）、目黒中央中学校（第2学年、特別支援学級）で実施しました。

防犯教育プログラムは、平成19年度から実施し、全小学校の第1学年を対象に連れ去り防止等を目的に、対応方法などを体験することにより、自分自身を守る力を身に付けさせています。また、犯罪被害防止や非行防止を目的に、全小・中学校で警察など関係諸機関の協力を得て、セーフティ教室を毎年実施しています。

8 進路指導

(1) 区立中学校卒業生進路状況（令和4年3月卒業）

(令和4年3月31日現在)

卒業者数	進路先決定者数	進路先未決定者数	進路先決定者内訳														
			進学者			定時制 通信制	特別支援学校	専修学校 各種学校等	就職	家事 従事	その他 (海外 転出等)						
			高等学校		私立												
			全日制														
男	488	481	7	163	8	265	39	2	4	0	0						
女	432	427	5	191	4	188	35	7	2	0	0						
計	920	908	12	354	12	453	74	9	6	0	0						
構成比	100.0	98.7	1.3	38.5	1.3	49.2	8.0	1.0	0.7	0	0						

※四捨五入の処理により、構成比は必ずしも100%にはならない。

(2) 最近3年間の推移

該当者数割合		令和元年度	令和2年度	令和3年度
全日制	国公立学校	45.0%	41.9%	39.8%
	私立学校	47.7%	48.0%	49.2%
定時制		5.7%	7.5%	8.0%
特別支援学級		0.7%	0.9%	1.0%
専修学校各種学校等		1.6%	1.1%	0.7%
就職・未決定者等		0.6%	0.5%	1.3%

9 学習指導員等の配置

東京都の加配教員による指導とは別に、教職免許等を所持する区独自の学習指導員や学習指導講師等を配置することにより、チーム・ティーチングや少人数授業の実施等を行い、学力の基礎・基本の確実な定着を図ってきました。

(1) 学習指導講師（平成16年度から配置）

区が独自に任用する非常勤職員（講師）です。各小学校と中学校に年間222日勤務します。

平成22年度全小学校配置。平成26年度から目黒中央中学校特別支援学級にしいの木学級学習指導講師、平成28年度から東山小学校に学習指導講師（短時間）を配置

(2) 学習指導員

チーム・ティーチング等により授業の支援に当たりました。

通常授業支援（平成14年度から配置） 令和4年度実績：小学校延べ 9,387時間
：中学校延べ 4,975時間

放課後学習支援（平成22年度から配置） 令和4年度実績：中学校延べ 1,321時間

土曜日補習教室（平成23年度から配置） 令和4年度実績：中学校延べ 332時間

(3) 小1学級支援員（平成19年度から配置）

小学校入学直後の児童が学校生活に早期に対応できるよう生活面・学習面での支援に当たりました。
令和4年度実績：延べ 9,348時間

(4) 観察実験支援員（平成27年度から配置）

理科の観察・実験の準備や片付け等の支援に当たりました。

令和4年度実績：小学校延べ 2,675時間
中学校延べ 543時間

(5) 外部人材活用事業

一芸に秀でた人や専門分野を研究している人に授業の講師や指導者として協力いただきました。

令和4年度実績：小学校延べ17校、中学校延べ8校、区立幼稚園・こども園延べ3園

10 主任会等における研修

教育者としての識見を高め、資質の向上を図るため、次のとおり、各主任会等において教員を対象として各種研修会を実施しました。

名 称	開催日	内 容	講 師 等
教務主任研修会	4月 26日から	教育課程の適正な管理 授業時数の報告	区指導主事
	6月 14日から	目黒区学力調査の結果及び授業改善プランの作成 目黒区立学校第3学年の評定状況の調査結果	
	9月 13日から	学校・園評価アンケートについて 妥当性・信頼性のある評価・評定	
	1月 31日	教育課程届について 授業時数の報告	
生活指導主任研修会	4月 12日	不登校支援 いじめ問題への対応 学校安全の充実	目黒警察署 碑文谷警察署 子ども家庭支援センター 世田谷少年センター 区指導主事
	7月 5日 (動画配信)	hyper-QU アンケートの分析と活用 いじめの状況 夏季休業日中の生活指導 不登校の状況 夏季休業日明けの状況調査	神奈川県立保健福祉大学 准教授 区指導主事
	10月 11日	いじめ問題への組織的な早期対応	区指導主事
	12月 6日	冬季休業日中の生活指導 冬季休業日明けの状況調査 生命等にかかる重大事態発生時の対応訓練について	区指導主事
	3月 7日	いじめの把握 不登校の対応 学年末・学年始めの生活指導 春季休業日明けの状況調査について	区指導主事
学校図書館担当者研修会	5月 6日	学校図書館支援員や学校図書館担当者の役割	八雲中央図書館員 区指導主事
	1月 27日	学校図書館支援員派遣等	区指導主事
普通救命講習会	5月 24・25・ 27・30日、6月 1~3・6・7日	応急処置の重要性、人工呼吸・胸骨圧迫・AED取扱い・異物除去・止血等	東京防災救急協会 指導員

1.1 教育開発校

様々な教育課題や学校・園が直面している課題の解決を図るため、幼稚園・こども園、小・中学校を教育開発校に指定し、授業改善や教育活動の開発に関する研究を支援しています。指定を受けた学校では、教育開発校として継続的に研究に取り組みました。また、区のほかに東京都教育委員会からの指定を受け研究委託校として研究を進めた学校もありました。

さらに、区の指定を受けなかった学校・園も、校内研究支援として区教育委員会の支援を受けながら、それぞれが設定した研究主題に基づき研究に取り組みました。

このうち、令和4年度に公開発表会を実施した学校は次のとおりです。それぞれの研究主題のもとに研究と実践に取り組み、成果をあげました。

(事業開始 平成13年度)

研究発表校

学校名	研究主題	研究教科等	研究の内容	予算	指定期間
碑 小学校	子どもの「考えたい！伝えたい！」を引き出す算数の授業づくり～学びに向かう力・思考力を高めるICTの効果的な活用～	算数科	学習用情報端末を「文房具」のように活用できる児童の育成を目指し、ICT機器の効果的な活用の在り方などについて研究開発を行う	450,000円	2年間 (2年目) 12/2 研究発表
鳥森 小学校	主体的に学び続ける子どもの育成～学びの質の向上につなげるICT活用のアプローチ～	社会科 理科 生活科	「個別最適な学び」と「協働的な学び」に関する研究開発をする	300,000円	2年間 (1年目)
中目黒 小学校	自律的な学びを育てる学校～午前5時間制の特色を生かした教育課程を通して～	各教科等	「個別最適な学び」と「協働的な学び」に関する研究開発をする	300,000円	2年間 (1年目)

1.2 教科用図書

(1) 目黒区立小学校採択教科書一覧

小学校	種目	発行者
	国語	光村図書
	国語(書写)	光村図書
	社会	教育出版
	社会(地図)	帝國書院
	算数	東京書籍
	理科	東京書籍
	生活	教育出版
	音楽	教育芸術社
	図画工作	日本文教出版
	家庭	開隆堂
	体育(保健)	東京書籍
	英語	東京書籍
	道徳	東京書籍

(令和2~5年度使用)

※小・中学校特別支援学級の教科用図書は多数のため省略

(2) 目黒区立中学校採択教科書一覧

中学校	種目	発行者
	国語	光村図書
	国語(書写)	光村図書
	社会(地理的分野)	帝國書院
	社会(歴史的分野)	帝國書院
	社会(公民的分野)	帝國書院
	社会(地図)	帝國書院
	数学	啓林館
	理科	啓林館
	音楽(一般)	教育芸術社
	音楽(器楽合奏)	教育芸術社
	美術	光村図書
	保健体育	Gakken
	技術・家庭(技術分野)	東京書籍
	技術・家庭(家庭分野)	開隆堂
	外国語(英語)	東京書籍
	道徳	東京書籍

(令和3~6年度使用)

13 自然宿泊体験教室等

教育課程の一環として、学校内における平素の指導では十分な効果をあげることができない内容について学習するため、小・中学校において自然宿泊体験教室を実施しています。従来の移動教室については平成22年度で事業が終了となり、平成23年度から自然宿泊体験教室へ完全移行しました。

(1) 自然宿泊体験教室

実施期間・経費等

期 間	小学校
	興津自然学園・君津県立施設
	5月16日（月）～10月21日（金）
日 数	1泊2日～2泊3日
学校数	19校 ※5年生2校、6年生17校
対 象	5～6年生
参加（児童）人数	1,503人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
現地インストラクター	学級数と同数を配置（全額公費負担）
参加者負担額	学園利用：2,950円/1泊（上限） 県立施設利用：6,800円（上限）

期 間	小学校
	八ヶ岳林間学園・車山高原民間施設
	5月18日（水）～10月26日（水）
日 数	2泊3日
学校数	23校 ※5年生19校、6年生3校、特別支援学級連合（1校とする）
対 象	5～6年生 (特別支援学級は5～6年生)
参加（児童）人数	1,636人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
現地インストラクター	学級数と同数を配置（全額公費負担）
参加者負担額	学園利用：5,900円（上限） 民間施設利用：14,200円（上限）

	中学校
	八ヶ岳林間学園・車山高原民間施設
期 間	6月15日（水）～7月13日（水）
日 数	2泊3日
学校数	8校
対 象	1年生(特別支援学級は1・2年生)
参加（生徒）人数	792人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数+2人配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	学園利用：7,350円（上限） 民間施設利用：15,700円（上限）

	小学校
	宮城県気仙沼大島
期 間	7月13日（水）～7月15日（金）
日 数	2泊3日
学校数	1校
対 象	5年生
参加（児童）人数	55人
交通機関	電車、バス(借上げ)（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	15,400円（上限）

	中学校
	宮城県気仙沼
期 間	6月22日（水）～6月24日（金）
日 数	2泊3日
学校数	1校
対 象	1年生
参加（生徒）人数	118人
交通機関	電車、バス(借上げ)（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数+2人配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	19,000円（上限）

	小学校
	石川県金沢市
期間	6月22日（水）～7月1日（金）
日数	2泊3日
学校数	2校
対象	6年生
参加（児童）人数	119人
交通機関	電車、バス（借上げ）（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	6,620円（上限）

北軽井沢移動教室は昭和47年～平成22年まで実施してきましたが、平成22年末、北軽井沢林間学園が廃止となりその役目を終えました。これに代わり、平成22年8月に興津自然学園が開園し、興津自然宿泊体験教室事業を開始しました。

中学校八ヶ岳移動教室は平成3年～平成22年まで実施してきましたが、平成22年度自然宿泊体験教室に移行しました。なお、従来は一部の中学校では第2学年で実施してきましたが、第1学年での実施に統一されました。

小学校4年生から6年生の間に少なくとも合計6泊以上の自然宿泊体験教室を実施していくますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、6年生の泊数を1泊縮減するとともに、4年生を中止としました。中止とした4年生は、日帰りの自然体験校外学習を代替事業とし、移動用のバス借上げ経費を区が負担しました。

東日本大震災の影響で、小学校3校においては、平成23年度以降、宮城県角田市から八ヶ岳林間学園に実施地を変更しました。また、小学校1校と中学校1校が宮城県気仙沼市、小学校2校が石川県金沢市において実施しています。

（2）中学校独自宿泊事業支援

夏季・冬季休業などの期間を利用して、特色ある教育活動の促進を図るため、学校独自の宿泊事業を支援しました。

	第十一中学校
	民間施設（新潟県南魚沼市）
期間	12月25日（日）～12月27日（火）
日数	2泊3日
参加（生徒）人数	51人（2年生希望者）
参加者負担額	26,040円
活動内容	個人のレベル（初心者、初級者、中級者、上級者）にあわせた、現地スキー指導員によるスキー教室
公費負担	①交通費（バス代）の一部 ②体験学習費の一部 ③宿泊費の一部

(3) 中学校部活動合宿支援

中学校の魅力づくりを推進するため、学校生活の一つの魅力でもある部活動を充実させるため、中学校が教育活動の一環として実施する部活動合宿の費用の一部を支援しています。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、事業実施校がありませんでした。

14 連合行事

学校における平素の指導の一層の充実を図り、日頃の成果の発表や他校との交流の場とするため、連合して各種行事を実施しています。

行事名	実施日・会場	対象	内容等
連合体育大会 (中学校)	令和4年9月29日(木) 駒沢オリンピック記念公園総合運動場陸上競技場	全員	午前のみの実施 競技数及び出場者数を削減
連合音楽会 (小・中学校)	(小学校) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (中学校) 令和4年10月27日(木) めぐろパーシモンホール	小学校 5年生 中学校 2年生	マスクを着用した合唱
連合展覧会 (幼稚園・こども園、 小・中学校、特別支援学級)	令和5年1月18日(水) ～2月2日(木) 目黒区美術館	全員	日常の図画工作及び美術等の学習における作品の展示
連合運動会 (特別支援学級)	令和4年10月21日(金) 目黒区中央体育館	全員(小・中学校)	日常の体育・健康の成果を各種演技及び競技で発表

15 いじめ問題対策

いじめの防止等を推進するため、目黒区いじめ防止対策推進条例第12条、第13条の規定に基づき、第三者を含めた組織を設置しました。

(1) いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に関係する機関の連携を図るために区が設置する機関です。いじめの状況の報告や情報交換等を2回行いました。

目黒区いじめ問題対策連絡協議会委員

(令和5年3月31日現在)

区分	氏名	推薦母体等	区分	氏名	推薦母体等
区職員 (2名)	◆谷合 祐之	教育次長		長岡 弘志	目黒区青少年委員会
	◇田中 健二	子育て支援部長		高橋 晶子	目黒区民生児童委員協議会
学校 (3名)	龍花 千鶴	区立小学校長会	関係機関 (3名)	登坂 真人	目黒地区人権擁護委員会
	永久保 佳孝	区立中学校長会		遠山 智隆	目黒警察署 生活安全課長
	田村 嘉浩	東京都私立中・高等学校協会		柴田 佳幸	碑文谷警察署 生活安全課長
関係団体 (5名)	飛彈 拓治	区立小学校 PTA連合会	◆会長 ◇副会長	園尾 まゆみ	品川児童相談所長
	飯田 学	区立中学校 PTA連合会			

※任期は、令和3年7月18日から令和5年7月17日まで

(2) いじめ問題対策委員会

いじめの防止等の対策を実効的に行うために教育委員会が設置する機関です。重大事態発生時の対応訓練や具体的ないじめ事案についての協議を3回行いました。

目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員

(令和5年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
学識経験者	◆米津 光治	文教大学教育学部教授
法律に関して専門的知識を有する者	鹿野 真美	弁護士
心理に関して専門的知識を有する者	山崎 洋史	仙台白百合女子大学心理福祉学科教授
福祉等に関して専門的知識を有する者	◇片倉 昭子	社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事
	齋藤 由美子	目黒区民生児童委員協議会主任児童委員
	辰巳 ヒロミ	目黒区社会福祉協議会会长

※任期は、令和3年7月18日から令和5年7月17日まで

◆委員長

◇副委員長

V めぐろ学校サポートセンターの事業

目黒区めぐろ学校サポートセンターは、めぐろ学校教育プランが掲げる「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を目指し、平成20年度に旧守屋教育会館の業務を拡充し設置されました。めぐろ学校サポートセンターは、「教職員サポート」「学習・相談サポート」の2つの基本的サポート機能をもち、教職員の研修や子どもたちの教育に関する支援を行っています。

1 教職員サポート（教職員の支援及び育成に関する事業）

教職員の研修

職層研修12回、必修研修28回、課題別研修31回、特別支援教育等研修16回、その他1回計88回の研修を実施し、延べ12,832名の参加がありました。

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
職層研修	校・園長研修	小・中学校長、幼稚園・こども園長	・「令和の日本型学校教育」の姿として求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」について	1	32
	副校・園長研修	小・中学校副校長、幼稚園・こども園副園長	・学校における働き方改革	1	32
	新補・転補校・園長研修	新補・転補小・中学校長及び幼稚園・こども園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	4
	新補・転補副校・園長研修	新補・転補小・中学校副校長及び幼稚園・こども園副園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	7
	主幹教諭研修	小・中学校主幹教諭	・学校におけるミドルリーダーの在り方	1	51
	主幹教諭任用時研修	令和4年度新規主幹教諭及び3年度までの未修了者	・主幹教諭の職及び主幹教諭に望むこと ・服務事故防止、危機管理等	2	22
	主任教諭任用時研修	令和4年度新規主任教諭及び3年度までの未修了者	・主任教諭の役割と人材育成	1	23
	学校マネジメント講座	本人の希望及び管理職推薦者	・特色ある学校づくり等 ・教育委員会の組織と役割等 ・服務事故防止、危機管理等 ・教育委員会施策等	4	29
必修研修	初任者研修	初任者研修対象者 (新規採用教員、期限付き任用教員) 〔幼稚園・こども園教諭は、区における研修の一部を受講〕	・教師としての心構え、目黒区の教育施策、人権を尊重した教育の推進、服務の厳正 ・新規採用者に向けて、接遇・マナー、保護者対応等 ・授業力向上に向けて(全5回) ・事故の未然防止 ・児童・生徒理解について ・1年間のまとめ	10	389
	初任者集中研修等	令和4年度新規採用教員及び3年度期限付き任用教員	・夏季集中研修 ・巡回訪問 ・課題別研修	4	165

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
必修研修	2年次研修	初任者研修を修了した2年目教員	・実践的な指導力の向上 ・授業研究の実際	3	103
	3年次研修	2年次研修を修了した3年目の教員	・実践的な指導力の向上 ・授業観察 ・授業力向上に向けて	3	120
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	・授業力の分析と課題設定、学習評価の改善等 ・生活指導、学級経営 ・教育法規等 ・服務等 ・人権教育等 ・授業研究の実際（全3回）等	8	183
課題別研修	人権教育研修	こども園・幼・小・中教諭・主幹等人権教育担当者及び希望者・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	・偏見や差別への取り組み ・人権教育における実際の指導	4	852
		全教職員	・人権教育に関する確認（eラーニングによる研修）		
	小学校就学前教育研修	幼稚園・こども園及び小学校教員、私立幼稚園及び公・私立保育園希望者	・円滑な接続を図った幼児教育の指導	1	73
	実務担当者研修	各種担当教員	・各種担当教員としての実務能力の伸長（毒物・劇物管理研修、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議担当者研修） ・ICT活用推進研修（初・中・上級、プログラミング）（集合型114人、eラーニング1,070人） ・研究開発学校の日 授業力向上研修 ・理科指導者研修 ・コオーディネーショントレーニング実技研修会（集合型116人、eラーニング24人）	16	2,332
	eラーニング全教職員悉皆チェック研修		・今日的な教育課題に対する理解・対応力の向上		
特別支援教育等研修	特別支援教育研修		・学級経営のユニバーサルデザイン ・教科指導におけるユニバーサルデザイン ・通常の学級における授業のユニバーサルデザイン		
	特別支援学級・特別支援教室研修		・児童・生徒の自己肯定感を高める教材・教具の工夫 ・自立活動の指導を振り返って ・年長・学童期の初回面談について ・ADHD・自閉症の特性及び発達段階を踏ました自立活動の指導 ・障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援のあり方	5	83

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
	教育相談初級研修	2・3年次の全教員（2年間で受講）及び希望者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育相談の心得 ・グループアプローチの実際 ・虐待・ネグレクトへの対応 ・ソーシャルスキルトレーニングの実際 ・認知行動療法の実際 ・不登校の未然防止と早期解決に向けて ・性の多様性の理解と対応 	7	243
	特別支援教育に関する今日的な教育課題への対応	全教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法の理解 	1	695
その他	着任研修	令和4年度から新たに目黒区に着任した教職員、産・育休代替教員、学習指導講師	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区の特色ある教育活動について等 	1	149

2 学習・相談サポート（学習支援教室の運営及び教育相談に関する事業）

（1）学習支援教室

ア 学習支援教室「めぐろエミール」の運営

不登校の中学生を対象に適応指導教室として「めぐろエミール」を平成7年6月に開設しました。現在は居場所機能の充実を図るとともに、長期欠席の児童・生徒を対象とした学習支援教室として、一人ひとりの状態に応じた学習支援を行い、集団生活への適応を図り学校復帰を目指しています。

開室場所	めぐろ学校サポートセンター 3階
開室日	週5日（月曜日～金曜日）
開室時間	午前9時～午後3時 水曜日は午前12時まで
通級児童・生徒数	107名
指導体制	11名
活動内容	相談活動（生活相談、学習相談、進路相談等） 学習活動（各教科の学習支援） 体験活動（レクリエーション、調理実習、校外学習等）

イ メンタルフレンド事業

平成10年9月から実施している事業で、長期欠席児童・生徒の自宅・学校へ「メンタルフレンド」を派遣し、話し相手や相談相手になり、一緒に遊ぶ等のふれあいを通して自分自身を見つめさせ、人や社会との関わり方を身に付けさせることを目的としています。

大学と連携した新たなメンタルフレンド事業を平成24年度から試行で実施し、平成25年度からメンタルフレンドが学習支援教室「めぐろエミール」や学校、長期欠席児童・生徒の自宅で活動しています。

登録者数 15人

（2）教育相談

児童・生徒及び幼児の心身の健全な発達を図るため、発達障害、学業上の問題、進路等、不登校、性格・

行動上の問題、学校・教師・学校生活、友人関係、精神・身体・健康、家庭生活・子育て・しつけ等、教育上の諸問題について保護者・児童・生徒の相談に応じました。また、各学校・園での教育相談活動を支援するため研修会を開催する等、多様化する相談業務に対応できるよう努めました。

ア 教育相談員構成

教育相談員（心理相談専門員）13名

イ 来室教育相談

毎週月曜～土曜日（午前10時～午後5時） 開室日数292日

ウ 電話教育相談

毎週月曜～金曜日（午前10時～午後5時） 受付日数240日

夏の電話相談（8/22～8/24） 相談件数 0件

来室相談者数

性別 対象者	男	女	計	%
幼児	3	3	6	1.1
小学生	241	118	359	66.1
中学生	62	78	140	25.8
高校生	18	20	38	7.0
その他	0	0	0	0
合 計	324	219	543	100.0

来室相談主訴（男女別）

性別 内容	男	女	計	%
発達障害	4	1	5	0.9
学業上の問題	73	33	106	19.5
進路等	12	1	13	2.4
不登校	52	76	128	23.6
性格・行動上の問題	156	83	239	44.0
学校・教師・学校生活	11	4	15	2.8
友人関係	5	3	8	1.5
精神・身体・健康	1	6	7	1.3
家庭生活・子育て・しつけ	10	12	22	4.0
その他	0	0	0	0
合 計	324	219	543	100.0

来室相談状況（延べ人数）

来室者 性別	幼児	小学生	中学生	高校生 その他	教師 その他	保護者	電話での 対応	延べ人数
男	2	898	230	65	0	189		
女	27	406	280	119	5	1,891		
計	29	1,304	510	184	5	2,080	190	4,302

電話教育相談人数

相談者	人数	%
父親	12	13.8
母親	71	81.6
本人	1	1.1
その他	3	3.5
計	87	100.0

電話教育相談 内容別人数

性別 内容	男	女	不明	計	%
発達障害	4	0	0	4	4.6
学業上の問題	2	1	0	3	3.4
進路等	4	0	0	4	4.6
不登校	12	18	0	30	34.5
性格・行動上の問題	10	5	0	15	17.3
学校・教師・学校生活	14	1	1	16	18.4
友人関係	2	2	0	4	4.6
精神・身体・健康	1	0	0	1	1.1
家庭生活・子育て・しつけ	4	4	0	8	9.2
その他	0	1	1	2	2.3
合 計	53	32	2	87	100.0

(3) 不登校の状況

目黒区立小・中学校における令和4年度の不登校児童・生徒（※注）数は、小学生152人、中学生199人、合計351人です。

（注）不登校児童・生徒：文部科学省の調査において、年度中に30日以上欠席した児童・生徒で、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルス感染症回避」による者を除く。）をいう。

(4) スクールカウンセラー

小中学校、幼稚園・こども園の教育相談の充実を図るために、小学校には延べ区32人（22校）、都23人（22校）、中学校には都11人（9校）、区16人（9校）のスクールカウンセラーを派遣しています。幼稚園・こども園には区3人（3園）のスクールカウンセラーを派遣しています。

ア 目的

学校における児童・生徒に関わるいじめや不登校及び集団不適応等の問題の解決、並びに発達障害等の支援を行っています。また、児童・生徒や保護者、教職員への相談活動を行っています。

イ 内容

- （ア）児童・生徒等の行動観察とカウンセリングや行動観察に基づく保護者・教員へのカウンセリング及びコンサルテーションを行っています。
- （イ）いじめや不登校、集団不適応及び発達障害に関する事例研究等や校内研修会での助言等、支援を行っています。
- （ウ）小中学校には週2～4回、幼稚園・こども園には月3回の割合で定期的に派遣しています。

ウ 令和4年度スクールカウンセラーの延相談回数

小学校		中学校		幼稚園・こども園	
児童	4,878	生徒	3,315	園児	11
保護者	3,308	保護者	1,258	保護者	165
教員	8,648	教員	4,464	教員	145
その他	260	その他	226	その他	12
計	17,094	計	9,263	計	333
行動観察	13,045	行動観察	2,746	行動観察	483

エ その他

区と都のスクールカウンセラーの連絡会を年3回実施し、スクールカウンセラ一同士が情報交換や情報共有をして、連携していくようにしました。コロナの感染予防のために全員が一齊に集まることをせず、グループごとに情報交換させました。

(5) スクールソーシャルワーカー

児童・生徒の様々な問題に対応するため、福祉の専門家として令和4年度4名のスクールソーシャルワーカーを、めぐろ学校サポートセンターに配置しています。

ア 目的

不登校や虐待、非行等を問題解決するために、学校や家庭、関係機関等と連携し直接的・間接的に児童・生徒とその保護者等と関わり支援しています。

イ 内容

- （ア）学校や関係機関等と連携し児童・生徒が置かれた環境への働きかけ（保護者、教職員等に対する

支援・情報提供など)を行っています。

(イ)年に2回学校訪問を行っています。

ウ 令和4年度スクールソーシャルワーカーの対応回数

訪問・連携等の延べ回数(関係所管別)

学校	家庭	教育委員会関係	関係機関	その他	合計
707	795	261	42	152	1,957

※関係機関とは、子ども家庭支援センター及び児童相談所です。

3 その他のサポート機能

(1) 夏休み優秀作品展

平成22年度までめぐろ学校サポートセンターを会場に「夏休み理科作品展」として作品を展示していましたが、平成23年度から「夏休み優秀作品展」として区のホームページ上で作品を紹介しています。

夏休み優秀作品展

期間	令和4年10月20日(木)～1年間
出品数	小学校344点 中学校50点 計394点

(2) 教育資料の整備・活用

ア 教科書センター

使用する小・中学校の教科書を法定展示として、令和4年6月10日から6月25日までめぐろ学校サポートセンター2階の教科書センターにて展示しました。なお、目黒区立学校で使用している教科書は常時展示しています。

イ 図書資料室

教育に関する調査・研究収録、専門図書、教育に関する出版刊行物を常時展示し、学校教職員及び教育委員会関係者の閲覧に供しました。

ウ 教材貸出

音楽授業で活用するため和楽器(琴)を各学校に貸し出しました。

小学校14校、中学校6校(延べ184面)

(3) 視聴覚ライブラリー

学校教育における学習指導の補助教材として、また、社会教育活動の学習資料として、「視聴覚教材」は活用されています。

視聴覚機材利用状況

区分 施設	機材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	アンプ	プロジェクター	実物投影機	他	
幼稚園・こども園・ 小・中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会各課	0	0	16	0	26	26	0	0	68
他(区各課)	0	0	0	0	1	0	0	0	1
保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分 施設	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	アンプ	プロジェクター	実物投影機	他	
児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学童保育クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立幼稚園・小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	16	0	27	26	0	0	69

教材利用状況

区分 施設	教 材			計
	16ミリ教材	VTR教材	他	
幼稚園・こども園・小・中学校	0	0	0	0
教育委員会	0	0	0	0
他(区各課)	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0
児童館	0	12	0	12
学童保育クラブ	0	0	0	0
私立幼稚園・小学校	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0
合 計	0	12	0	12

(4) めぐろ学校サポートセンター施設の利用提供

児童・生徒の利用、教職員の研修・研究及び調査、学校教育事業、その他教育委員会の教育の充実・振興を図るため、研修室、理科室・音楽室を設置して、その利用に供しました。

*運動場・体育館はワクチン接種会場のため利用中止

研修室等利用実績

	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	音楽室	理科室	計
回数	194	127	122	118	36	62	659
人数	4,447	1,144	1,098	642	423	684	8,438

体育館・運動場利用実績

	体育館	運動場	計
回数	0	0	0
人数	0	0	0

VI 地域との連携の推進

子どもたちの健全で調和のとれた成長のためには、家庭、学校、地域社会が連携し、地域社会全体で子育てを担っていく必要があります。このため、地域教育の一層の推進が大きな課題になっています。

具体的には、青少年問題協議会の開催、地域教育懇談会や青少年委員の活動支援、住区青少年部の活動との連携に取り組みました。

1 地域教育懇談会の活動支援

「開かれた学校」を推進し、地域社会に教育ネットワークをつくるための一つの仕組みとして、また、子どもたちの健全育成全般を話し合う地域の場として、中学校区ごとに「地域教育懇談会」が組織されています。

地域教育懇談会は、学校、PTA、教育関係諸機関、青少年育成団体等から選出された方々が中心となり、子どもの教育について、共に考え話し合い連携・協力していく場、学校と地域が意思疎通を図る場、参加団体相互の連絡・調整等の場となっています。区では、運営経費の援助を行うとともに、各地域教育懇談会活動のより一層の充実に向けた支援を行いました。

地域教育懇談会の主な活動状況

中学校区	地域教育懇談会名	主な活動等
第一	地域教育懇談会（菅刈小・駒場小・一中）	ふれあいコンサートの実施、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を参観
第七	地域教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を参観、会議の実施
第八	地域教育懇談会	春のミニコンサートの実施、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議参観後に意見交換を実施
第九	第九中・向原小・原町小学校地域教育懇談会	いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議参観後に意見交換を実施
第十	第十中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動の実施、地域夏休み行事カレンダーの作成・配布、幹事会など
第十一	子どもの健全育成を考える会	「子どもの健全育成を考える会の役割と課題について」などの会議を実施
東山	鳥森・東山子育て教育懇談会	メールおよび電話にて小委員会を実施
目黒中央	目黒中央中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動の実施、不登校に関するセミナーの実施
大鳥	ほっと ² 四住志	大鳥つなフェスタ実行委員会による「大鳥つなフェスタ」の準備・開催

地域教育懇談会代表者会実施状況

日時	主な内容
第1回 6月21日（火） 書面開催	令和3年度目黒区立学校におけるいじめ及び不登校の状況について等
第2回 2月1日（水） 総合庁舎特別会議室	令和4年度「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果」について等

（事業開始：平成10年4月）

2 放課後フリークラブ

放課後の学校施設等を利用して、子どもたちが遊びや様々な体験をしていく機会を提供します。校庭を使用し子どもの安心安全な居場所を提供する「ランドセルひろば」、地域団体に委託し地域の教育力で様々な体験教室を実施する「子ども教室」の2事業を実施しました。

事業名	実施校（校区）
ランドセルひろば（9校）	碑小学校、油面小学校、大岡山小学校、五本木小学校、鷹番小学校、田道小学校、緑ヶ丘小学校、上目黒小学校、東山小学校
子ども教室（17小学校区）	菅刈小学校区・下目黒小学校区・碑小学校区・中目黒小学校区・油面小学校区・向原小学校区・鷹番小学校区・田道小学校区・月光原小学校区・駒場小学校区・緑ヶ丘小学校区・原町小学校区・不動小学校区・上目黒小学校区・東根小学校区・中根小学校区・宮前小学校区

（事業開始：平成20年4月）

※ランドセルひろば実施校を除く区立小学校では、放課後子ども総合プラン一体型事業である「ランランひろば」を実施しました。

3 青少年の健全育成

明日を担う青少年が健やかに育つために、家庭、学校、地域社会や関係機関が連携し、健全育成、事故・非行防止、社会参加活動等を推進しました。また、青少年問題協議会、住区青少年部連絡会の開催及び青少年健全育成のための情報提供や青少年委員による活動等を行いました。

（1）青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策を総合的に審議、連絡、調整する機関です。青少年育成基本方針の策定、青少年に関する協議等を行いました。

青少年問題協議会

開催日・場所	内 容
6月1日（水） 総合庁舎特別会議室	「第72回目黒区社会を明るくする運動」等
10月7日（金） 総合庁舎特別会議室	「令和4年度子供・若者育成支援推進強調月間」、「令和4年度青少年の非行・被害防止全国強調月間実施概要について」等
2月1日（水） 総合庁舎特別会議室	「令和5年度目黒区青少年育成基本方針について」等

目黒区青少年問題協議会委員

(令和5年3月31日現在)

選出区分	氏名	推薦母体等	選出区分	氏名	推薦母体等
区職員等 (6名)	◆青木 英二 ◇荒牧 広志 関根 義孝 上田 広美 田中 健二 谷合 祐之	区長 副区長 教育長 区民生活部長 子育て支援部長 教育次長	学識経験者(17名)	柏葉 清志 田井 俊行 川口 歩 北川 博康 天野 聰士 西澤 照代 依田 悅子 松澤 俊明 田中 道久 加藤 知子 山本 弘美 長谷川 裕 三柴 伸生 小倉 恵子 飯村 研一 豊田 恒子 大塚 純子	区立小学校長会 区立中学校長会 区立小学校PTA連合会 区立中学校PTA連合会 目黒体育協会 目黒区婦人団体連合会 目黒区商店街連合会 目黒区産業連合会 東京私立中学高等学校協会 目黒区民生児童委員協議会 目黒区保護司会 目黒区住区青少年部連絡会 目黒防犯協会 目黒区青少年委員会 目黒区少年団体連絡協議会 碑文谷防犯協会 目黒母の会
区議会議員(2名)	西村 ちほ 石川 恒子	生活福祉委員会 委員長 文教・子ども委員会委員長			
関係行政 庁職員 (4名)	伊藤 秀輝 林 哲也 園尾 まゆみ 河野 夕紀	目黒警察署長 碑文谷警察署長 品川児童相談所長 東京保護観察所 目黒担当観察官			

◆会長 ◇副会長 (事業開始:昭和29年6月)

(2)住区青少年部連絡会

青少年育成基本方針に基づき、住区青少年部代表者相互の連絡調整、緊密化を図るために設けられています。地域の青少年健全育成活動についての情報交換等を行いました。

開催日・場所	内 容
6月28日(火) 青少年プラザ	第1回青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等
10月25日(火) 青少年プラザ	第2回青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等
2月28日(火) 青少年プラザ	第3回青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等

(事業開始:平成元年10月)

(3)健全育成関連事業

青少年の健全育成に関する事業として、次の事業を実施しました。

実施日	場 所	内 容	参加人数
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	気仙沼市	中学生の自然体験	—
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	角田市内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として小学生を派遣	—
11月19日(土)	青少年プラザ	青少年健全育成事業「『体験から育まれる力』～若者は自ら未来を拓く力を持っている」	9
1月9日(月・祝)	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」 お祝いのことば、二十歳のことば等	970
1月22日(日)	中目黒住区センター	青少年社会貢献表彰 被表彰者1団体及び個人20人	47
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	目黒区内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として角田市の小学生を受け入れ	—

(4) 青少年委員

青少年委員は、住区住民会議を推薦団体とし、35人を委嘱しています。

区内の学校、PTA、住区住民会議、町会自治会、青少年団体等との連携を図りながら、青少年の健全育成に活躍しています。

目黒区青少年委員

(令和5年3月31日現在)

推薦住区	氏名		推薦住区	氏名	
駒場	亀ヶ谷 尚也	一	鷺番	三田 春彦	二見 あかね
菅刈	土方 武	松川 卓	月光原	和田 俊介	井上 佳代子
東山	狩俣 照代	諸我 忠明	向原	一	一
烏森	峰尾 聖志	一見 貴重	碑	安藤 啓一	太田 雅文
中目黒	濱田 一幸	平野 幸恵	原町	小倉 恵子	一
田道	宗方 洋子	川原 崇史	大岡山東	小藤田 将也	一
下目黒	日下 友之	大嶺 真吾	大岡山西	入江 正	一
不動	佐野 美由紀	天野 聰士	中根	櫻井 志津	一
上目黒	一	一	自由が丘	島添 奈緒子	中村 孝人
油面	田面 伸明	館野 ゆかり	八雲	中元 進弘	村上 浩子
五本木	月足 元子	後藤 友子	東根	長岡 弘志	金井 有希子

青少年委員活動状況

実施日	会場	活動内容
6月26日（日）	神奈川県横浜市旭区、磯子区	視察研修 (よこはま動物園ズーラシア、はまぎんこども宇宙科学館)
11月3日（木）	上目黒小学校	「子ども会交流会」協力
11月19日（土）	めぐろパーシモンホール	「目黒区青少年委員会 70周年記念 地域育成者フォーラム2022」開催
1月9日（月）	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」協力

(事業開始：昭和40年4月)

(5) 「こども110番の家」事業の推進

子どもたちが犯罪や事故などによる身の危険を感じたときに緊急避難できる場として、「こども110番の家」事業を推進しています。目黒区生活安全対策協議会の提唱により、区・教育委員会や警察署がPTA、住区住民会議、防犯協会などとともに、在宅機会の多い家庭や商店などの協力を得て、地域ぐるみで子どもの安全を守るために取り組んでいます。

教育委員会では、事業の普及・啓発、ステッカーの作成・配布や、協力家庭等の万一の事故に備えた見舞金制度の整備等を行っています。また、区有施設や私立幼稚園に「こども110番の家」の参加を呼びかけました。

協力家庭等 1,794軒 (令和5年3月31日現在)

(事業開始：平成12年7月)

4 学校施設使用(教室)

目黒区立学校施設使用条例に基づき、学校教育に支障がない場合における社会教育その他公共の目的のための教室使用について、次のとおり使用を承認しました。

(1) 小学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)	学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他					区又は 官公署	その他	
八 雲	0	40	1	39	0	田 道	0	73	38	35	0
菅 刈	0	19	0	19	0	月光原	0	53	51	2	0
下目黒	0	52	0	52	0	駒 場	0	8	2	6	0
碑	0	3	0	3	0	緑ヶ丘	1	10	0	10	900
中目黒	0	15	1	14	0	原 町	0	28	26	2	0
油 面	1	14	1	13	1,000	不 動	0	0	0	0	0
大岡山	0	0	0	0	0	上目黒	0	1	0	1	0
鳥 森	0	4	0	4	0	東 根	0	55	0	55	0
向 原	0	67	48	19	0	中 根	0	1	1	0	0
五本木	0	34	3	31	0	宮 前	0	2	0	2	0
鷹 番	0	0	0	0	0	東 山	0	1	0	1	0
						計	2	480	172	308	1,900

(2) 中学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他	
第一	0	0	0	0	0
第七	0	1	1	0	0
第八	0	0	0	0	0
第九	0	0	0	0	0
第十	0	0	0	0	0
第十一	0	0	0	0	0
東 山	0	0	0	0	0
目黒中央	0	0	0	0	0
大 鳥	0	0	0	0	0
計	0	1	1	0	0

(事業開始：昭和 39 年度)

I 生涯学習の推進

1 生涯学習実施推進計画

(平成5年6月策定、平成10年5月改定、平成15年3月改定、平成20年3月改定、平成27年3月改定、令和4年3月改定)

○計画の目的

目黒区におけるこれまでの生涯学習施策の実施状況や課題、区民の生涯学習に関する意識などに留意しつつ、区民一人ひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現に向けて、関連施策をさらに計画的かつ重点的に推進していくことを目的としています。

○計画期間 令和4年度から令和8年度まで

○施策の方向

生涯学習を推進するため、4つの施策の方向を掲げ、それぞれの方向に合わせて施策を示しています。

施策の方向1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実

- 〈施策〉
- ① 学びの情報の提供
 - ② 身近な地域情報の提供

施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実

- 〈施策〉
- ① 時代の変化に対応するための学習機会の提供
 - ② 自己実現のための学習機会の提供
 - ③ 課題解決のための学習機会の提供
 - ④ 誰一人として取り残さないための学習機会の提供
 - ⑤ 交流機会の提供

施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実

- 〈施策〉
- ① 学習の場の提供
 - ② 自主活動の支援

施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築

- 〈施策〉
- ① 地域人材の育成支援
 - ② 学びに関わるボランティアの育成支援

○重点プロジェクト

生涯学習実施推進計画に掲げる施策をより一層効果的に進めるため、重要事項を「重点プロジェクト」として設定し、進捗管理を行うことにより、効果的な実施に努めていきます。

ア 時代の変化に対応した主体的な学びの推進（重点事業6事業）

イ 地域に学び地域に生かす学び合いの好循環の環境の整備（重点事業5事業）

2 生涯学習推進協議会の運営

生涯学習の推進について検討を行うとともに、生涯学習実施推進計画の改定に向け、施策に広く区民の意見を反映させていくことを目的として「目黒区生涯学習推進協議会」の運営を行っています。第14期委員の任期は、令和4年6月1日～令和6年5月31日です。

生涯学習推進協議会

開催日・場所	内 容
7月1日（金） 中目黒住区センター	目黒区生涯学習実施推進計画（平成27年度～令和3年度）における事業調査結果について 他
10月28日（金） 青少年プラザ	目黒区生涯学習実施推進計画（令和4年度～令和8年度）における重点事業に関する事業調査票（案）について 他

第14期目黒区生涯学習推進協議会委員

(令和5年3月31日現在)

選出区分	氏名	選出該当団体・現職等	備考
区議会議員 (2)	石川 恭子	文教・子ども委員会委員長	
	いその 弘三	文教・子ども委員会副委員長	
学識経験者 (2)	藤井 穂高	筑波大学人間系教授	会長
	倉持 伸江	東京学芸大学教育学部准教授	副会長
社会教育関係団体 (2)	都並 美加子	目黒区社会教育団体連絡会	
	石塚 修次	NPO目黒体育協会	
社会教育関係団体を除く区内関係団体 (6)	坂本 悟	目黒区住区住民会議連絡協議会	
	田口 三千代	目黒区消費者グループ連絡会	
	松尾 佐知子	目黒女性団体連絡会	
	木村 茂子	目黒区老人クラブ連合会	
	財津 千秋	目黒区障害者団体懇話会	
	岡野 幸代	(公社) 東京青年会議所目黒区委員会	
区内教育機関 (5)	上小牧 真裕	私立幼稚園協会	
	丸山 智子	区立小学校長会	
	鴻野 祐子	区立中学校長会	
	田中 道久	東京私立中学高等学校協会第七支部	
	内山 孝子	区内大学機関 (東京医療保健大学)	
区民 (3)	坪井 義和	公募委員	
	大平 由美子	公募委員	
	土倉 大尚	公募委員	

3 大学等教育機関との連携講座

教育機関の専門的な知識・技術の集積を活用し、地域住民に学習の機会を提供するために区内及び近隣地域の教育機関との連携講座を平成 21 年度から実施しています。

令和 4 年度は東京工業大学、東京医療保健大学、放送大学、筑波大学附属駒場中学校・高等学校、東京音楽大学、東京大学と連携講座を実施しました。

実施校	開催日時	講座名	講師（敬称略）	参加者数
東京工業大学	11月19日（土） 13:30～15:00	液晶が演出する昆虫の美しい翅（はね）の色	東京工業大学名誉教授 渡辺 順次	25
東京医療保健大学	12月10日（土） 14:00～15:00	児童・思春期の子どものメンタルヘルス～「子どもと向き合う」ということを共に考える～（オンライン・対面）	東京医療保健大学東が丘看護学部講師 中村 裕美	36
放送大学	12月10日（土） 14:00～16:00	北条義時を継ぐものー鎌倉武士の兄弟関係ー（オンライン・モニターア会場）	放送大学教授 近藤 成一	58
筑波大学附属駒場中・高等学校	2月23日（木・祝） 14:00～16:00	筆ペンでなぞる『枕草子』	筑波大学附属駒場中・高等学校国語科教諭 杉村 千亜希	34
東京音楽大学	3月3日（金） 18:30～20:30	3つのリセットワークで疲れにくいカラダ～だれでも知つておきたい「カラダ」のこと	東京音楽大学非常勤講師 長井 芽乃	76
東京大学	3月25日（土） 10:00～12:00	東大駒場地区キャンパスツアーと駒場博物館案内	東京大学駒場博物館助教 折茂 克哉	19

II 社会教育

社会教育行政の役割は、区民の様々な学習活動の振興を図るために条件整備をすることです。具体的には、

- ①社会教育団体に対する活動の場の提供
- ②各種学級講座の開設等による区民に対する学習機会の提供
- ③指導者派遣や相談等による社会教育団体への援助
- ④文化活動の推進及び文化財の保護

と大きく4つの役割があります。

1 社会教育委員

社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を行うために社会教育法に基づき設置するものですが、第15期委員の任期（平成26年6月25日から平成28年6月24日まで）満了後は、委員の委嘱をしていません（令和5年3月31日現在）。

2 学習の場の提供

区が提供している社会教育の学習の場には、社会教育館（東山・目黒区民センター・中央町・目黒本町）と緑が丘文化会館及び青少年プラザがあります。

また、集会施設予約システムの整備を行い、平成19年3月1日申込受付開始分から、インターネットを利用した施設予約システムを導入しています。

曜日別利用状況

(単位：件)

施設 曜日	東山 社会教育館	目黒区民センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年 プラザ	計
平日	2,205	1,698	1,753	1,895	3,750	1,297	12,598
土日	1,043	1,111	998	974	1,945	1,354	7,425
祝日	79	105	71	85	162	53	555
計	3,327	2,914	2,822	2,954	5,857	2,704	20,578

※月曜日は休館、青少年プラザのみ月曜日及び第2木曜日休館

利用団体別利用状況

(単位：件)

施設 区分	登録団体	区行政利用	他の登録団体	一般利用	合計
東山社会教育館	2,200	411	131	585	3,327
目黒区民センター社会教育館	2,121	119	176	498	2,914
中央町社会教育館	1,820	294	340	368	2,822
目黒本町社会教育館	2,263	320	137	234	2,954
緑が丘文化会館	3,621	838	10	1388	5,857
青少年プラザ	610	667	853	574	2,704
合計	12,635	2,649	1,647	3,647	20,578

部屋別利用状況

部屋	東山社会教育館			目黒区民センター社会教育館			中央町社会教育館		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	730	79.5	1	695	75.7	1	695	75.7
調理室	1	208	22.6	1	125	13.6	1	206	22.4
和室	1	337	36.7	1	349	38.0	1	548	59.7
美術室	—	—	—	1	361	39.3	—	—	—
音楽室	1	565	61.5	—	—	—	1	57	37.3
研修室	3	1,487	54.0	3	1,384	50.3	5	1,316	43.0
計	7	3,327	51.8	7	2,914	45.3	9	2,822	47.3
部屋	目黒本町社会教育館			緑が丘文化会館			青少年プラザ		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	652	71.0	2	1,356	74.5	2	1,289	73.9
調理室	1	244	26.6	1	307	35.6	1	140	16
和室	1	424	46.2	2	814	44.6	4	495	26.4
美術室	—	—	—	1	308	33.7	1	344	39.4
音楽室	—	—	—	1	668	73.3	1	62	29.5
研修室	4	1,634	54.9	6	2,404	48.4	2	374	27.8
計	7	2,954	51.6	13	5,857	51.8	11	2,704	35.5

3 学習機会の提供 一学級・講座一

区民の多様な学習要求に応えるとともに、学習志向を高め、物事を科学的・合理的に考える力を養い、地域社会の文化活動を促進するため、各種の講座を開催しました。

(1) 委託による講座等

家庭教育講座を各小・中学校のPTAに運営を委託して実施しました。また、国際化する社会の中で、国際理解を深め、ユネスコ活動の啓発を図るために、語学教室・日本語講座等を目黒ユネスコ協会に委託して実施しました。青少年事業・国際交流ひろば等の一部事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を縮小して実施しました。

小学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師（敬称略）	参加者
菅刈小学校	1	12月10（土） 10：00～12：00 (オンライン)	B	気楽に、気軽に、おうち性教育	思春期保健相談士 Siblings 合同会社 中谷 奈央子	38
田道小学校	1	10月1日（土） 10：00～12：00 (オンライン)	B	家庭で伝えるいのちと性のおはなし～こころとからだを守るために～	一般社団法人 Design of your Life 代表 大葉 ナナコ	38
鳥森小学校	1	9月11日（日） 10：00～12：00 (鳥森小学校)	B	子どもへの性の伝え方	麻の実助産所代表 助産師 土屋 麻由美	57
鷹番小学校	1	10月28日（金） 10：00～12：00 (オンライン)	B	家庭での性教育のメリット、子どもへの伝え方、子どもによくある悩みなど	性教育講師 Siblings 合同会社 中谷 奈央子	27
中目黒小学校	1	11月25日（金） 11：30～13：30 (中目黒小・ライブ配信)	C	令和版「親だからできること」	花まる学習会代表 高濱 正伸	102

実施校	回数	実施日・時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
五本木小学校	1	11月8日(火) 10:00~12:00 (五本木小・アーカイブ動画配信)	A	激動の時代に生きる子どもたちに今何が必要か? ~ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育~	教育評論家 親野 智可等	61
上目黒小学校	1	10月1日(土) 10:00~12:00 (オンライン)	B	おこづかいから始めるチーム戦略	社団法人ライフキャリアパートナーRAIL代表 亀谷 さおり	42
油面小学校	1	10月28日(金) 10:00~12:00 (オンライン)	A	子どもの自立と子どもの絆を育む育て方~自分で考え行動出来る子に育てるには~	子育てが楽しくなるママカフェ代表 木村 宣貴	128
碑小学校	1	11月15日(火) 10:00~12:00 (オンライン)	B	こどもに伝えたい・性教育講座~親として知っておきたい! こどもを守る性のお話~	看護師、保健師 Siblings 合同会社 宮本 裕美子	55
月光原小学校	1	11月12日(土) 9:30~11:30 (オンライン)	B	お家でできる性教育 ~大切な命のつながり~	埼玉医科大学地域医学推進センター助教 高橋 幸子	72
向原小学校	1	10月22日(土) 14:00~16:00 (向原小学校)	C	地球を守ろう! みんなが知れば必ず変わる 気候変動と自己肯定感の話	「地球を守ろう」代表 谷口 たかひさ	54
原町小学校	1	10月22日(土) 14:00~16:00 (原町小学校)	C	激動の時代に生きる子どもたちに今何が必要か? ~ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育~	教育評論家 親野 智可等	49
東根小学校	2	10月12日(水) 9:50~12:00 (東根小学校・オンライン)	B	性教育について	助産師(株)Rine 大貫 詩織	81
		1月20日(金) 10:00~12:00 (オンライン)	C	叱らなくても子どもは伸びる~ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育	教育評論家 親野 智可等	30
緑ヶ丘小学校	1	7月12日(火) 10:00~12:00 (緑ヶ丘小学校)	B	我が家でできる暑さ対策 ~子どもの熱中症予防について	法政大学文学部地理学科准教授 山口 隆子	28
中根小学校	1	11月26日(土) 13:00~15:00 (オンライン)	B	子育て世代が知りたい「がん講座」~子どもを守る家族の健康~	昭和大学臨床ゲノム研究所所長 中村 清吾 他	31
宮前小学校	1	9月15日(木) 10:00~12:00 (オンライン)	C	激動の時代に生きる子どもたちに今何が必要か? ~ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育~	教育評論家 親野 智可等	32
計16校	17					925

※A 子どもの成長発達の理解
C 現代の家庭と保護者

B 子どもをめぐる家庭教育の課題

D 地域社会と子どもの成長発達 (事業開始: 昭和41年度)

中学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
第一中学校	1	7月9日(土) 10:00~12:00 (第一中学校)	B	赤プルさんと学ぼう! 家庭でできる防災術	芸人(太田プロダクション) 赤プル	32
東山中学校	1	10月15日(土) 13:00~15:00 (東山中学校)	B	思春期の子どもとの接し方	文教学院大学講師 飛鳥井 郁枝	22
第十中学校	1	10月3日(月) 13:00~15:00 (第十中学校)	A	思春期の子どもの心のコーチング	NPO 法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子	45
計3校	3					99

※A 思春期の心の発達 B 中学生がいる家庭や保護者のあり方 C 中学生と地域社会
(事業開始:昭和45年度)

ユネスコ活動

事業名		日時・会場・回数	講師（敬称略）	参加者数	延べ参加者	
国際文化交流講座	語学教室	初級中国語講座	9月7日(水)～12月21日(水) 10:00～12:00 男女平等共同参画センター (全15回)	東京都立大学中国語非常勤講師 黄 愛華	20	266
		ボランティアのための日本語教育研修講座	9月2日(金)～12月16日(金) 10:00～12:00 青少年プラザ他 (全15回)	にほんごの会企業組合 関 恵美子 他	20	257
	文化講座	世界遺産はこうしてはじまった	7月23日(土) 14:00～16:30 緑が丘文化会館	元NHK世界遺産プロジェクト事務局長 須磨 章	27	
		江戸川乱歩の生涯～孫から見た想い出を交えて「フリーターから大乱歩へ」	9月18日(日) 10:00～12:00 中目黒GT プラザホール	NPO法人としまユネスコ協会代表理事 平井 憲太郎	49	
	美術教室	日本のODA（政府開発援助）とJICAの役割（体験からの報告）	1月28日(土) 14:00～16:00 緑が丘文化会館	JICA（国際協力機構）OB 伊藤 嘉一	51	
		古代技法で作るガラス工芸	2月3日(金)～3月11日(土) 14:00～16:00 緑が丘文化会館 (全5回)	ガラス工芸作家 吉水 直樹	20	92
講座	日本語	在日外国人対象日本語講座 「初めて習う日本語」	9月6日(火)～12月6日(火) 10:00～12:00 中央町社会教育館 (全26回)	NPO法人 目黒ユネスコ協会 日本語教育担当会員	13	160
ひろば	国際交流	ふろしき再発見 “包む文化を見直そう”	10月29日(土) 14:00～16:00 緑が丘文化会館	京都和文化研究所 むす美 山田 悅子	35	
理数教室	ロボットプログラミング教室	10月9日(日) 14:00～16:00 中央町社会教育館	東京地下鉄株式会社 企業価値創造部	26		
		2月26日(日) 14:00～16:00 緑が丘文化会館	プログラボ目黒 岡 祐輔	20		
育成事業	青少年	ユネスコ青少年フェスタ	2月11日(土) 11:00～16:00(収録) YouTube めぐろユネスコチャンネル上で後日オンライン配信	活動報告・楽器演奏等 (新型感染症対応のためオンライン配信のみ実施)		
計				281	983	

(事業開始：教養講座…昭和37年度、昭和57年度～国際文化交流講座
日本語講座・国際交流ひろば…昭和63年度、理数教室…平成22年度)

(2)社会教育館等での講座等

社会教育館等では、地域の特性を生かしつつ、各種の講座等を開催しました。

また、社会教育館等をより利用しやすく、親しまれる施設とするために、相互に考え方交流し合う場として利用者懇談会及び館まつりを実施しました。

東山社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月15日～ 6月22日 9:30～ 11:30	水	2	笑顔で子育て井戸端会議	昭和女子大学大学院 心理学専攻特任教授 藤崎 春代	15	17	16	26	86.7
7月7日～ 8月4日 9:45～ 11:45	木	5	地域サークル講座 「木版画をやってみよう！」	木版画家・日本版画 協会会員 木下 泰嘉	15	44	15	71	94.7
9月28日～ 10月19日 14:00～ 16:00	水	3	もっと知ろう！スマホの便利な使い方	NPO法人竹箒の会 副理事長 橋詰 信子	20	49	20	53	88.3
2月18日～ 3月4日 14:00～ 16:00	土	3	街づくりにおける ユニバーサルデザインを学ぶ	中央大学研究開発機構 教授 秋山 哲男 他	20	19	19	35	68.6
計					70	129	70	185	

目黒区民センター社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月18日～ 6月19日 14:00～ 16:00	土日	2	すきま時間でリラクセーション	公認心理師 大平 由紀子	25	51	30	46	88.5
10月16日 ～11月27日 13:30～ 15:30	日	4	地域サークル講座 「みんなで考える 防災」	(一社) 日本防災共育 協会代表理事 村山 京子 他	15	10	10	23	62.2
12月7日～ 12月21日 14:00～ 16:00	水	3	和算を楽しむ	和算研究所理事長 佐藤 健一	20	34	24	58	95.1
3月11日～ 3月12日 14:00～ 16:00	土日	2	テレワークをめぐる現状と課題	青山学院大学法学部 教授 細川 良	20	11	11	16	72.7
計					80	106	75	143	

中央町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
10月22日 ～12月17日 13:30～ 15:30	土	5	地域サークル講座 「パッチワークで クリスマスグッズ を作ろう」	(公財) 日本手芸普及 協会 小野田 京子	15	30	13	50	76.9
11月13日 ～12月11日 13:30～ 15:30	日	5	大人の電子工作入 門	科学おもちゃクリエ ーター 西田 和明	12	26	12	53	88.3
令和5年 2月4日～2 月18日 10:00～ 12:00	土	3	家族で学ぼう イン ターネットとの付 き合い方	日本女子大学名誉教授 吉澤 一弥 他	10 組	7	7	19	100.0
計					37	63	32	122	

目黒本町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月30日～ 9月15日 10:00～ 12:00	木	6	地域サークル講座 「アートで ワクワ ク ドキドキしよ う」	臨床美術士 田邊 礼子 他	15	23	21	101	80.2
10月7日～ 10月21日 13:30～ 15:30	金	3	エンディングデザ インー自分らしく 生きるための死生 観づくりー	エンディングデザイン 研究所代表 井上 治代	25	38	36	76	70.4
11月3日 11月23日 9:30～12:30	水 ・ 木	2	みんな素敵なお色 さんー子どもの特 性を理解し、ちが いを強みに生かそ うー	明星大学教育学部教育 学科教授 星山 麻木	20	23	21	38	90.5
令和5年 1月21日～ 2月18日 13:30～ 15:30	土	5	セルフマネジメン トーライフデザイ ン力を身につける ー	一般社団法人全国銀 行協会パブリック・ リレーション部金融 リテラシー推進室参 事役 三澤 正明 他	20	22	19	73	78.5
計					80	106	97	288	

緑が丘文化会館

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月12日～ 6月19日 10:00～ 12:00	日	2	「北欧の教育から学ぶ」	津田塾大学教授 渡邊 あや 他	20	56	47	66	70.2
8月17日～ 8月21日 13:30～ 15:30	水～ 日	5	地域サークル講座 「音楽と体で物語を作つてみよう！」	俳優・演技講師 小山 萌子 他	20	7	7	34	97.1
11月1日～ 11月15日 13:30～ 15:30	火	3	「朗読」からはじめよう！～初心者のためのボランティア養成講座	朗読赤十字奉仕団 団長 阿部 義高 他	20	48	45	110	81.5
2月17日～ 3月10日 18:45～ 20:45	金	4	性別を理由にあきらめることがない社会へ—SDGs NO.5「ジェンダー平等を実現しよう」について考える	一般社団法人社会応援ネットワーク 高比良 美穂 他	30	17	16	36	85.7
計					90	128	115	246	

青少年プラザ

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師 (敬称略)	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
5月22日～ 3月12日 10:00～12:30	日	18	ステップアップ講座 ～生活学習～	生活学習講師 久保田 隆志 他	40	20	19	281	85.4
5月29日～ 3月19日 14:00～16:00	日	25	クリエイターズ プロジェクト めぐろ	合同会社 Active Learners 共同代表 米元 洋次 他	20	24	20	326	76.2
6月11日～ 9月10日 13:30～15:30	土	6	児童理科クラブ (前期)	気象予報士会パスカル・気象予報士 佐藤 元 他	18	119	18	89	82.4
10月15日 ～2月18日 10:00～12:00	土	6	児童理科クラブ (後期)		18	72	18	74	68.5
6月18日～ 2月4日 10:00～12:00	土	12	実験クラブ	元中学校教諭 伊藤 純子 他	18	43	18	144	66.7
10月30日 10:30～12:00 14:00～15:30	日	各 1	理数教育体験学習事業「実験で学ぶ『地震』のこと」	お茶の水女子大学サイエンスコミュニケーション団体おちゃっこ Lab. 木下 舞香 他	各 20	69	38	37	97.4

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
11月5日 10:00～ 15:00	土	2	スケートボードの魅力と今後どうなっていくのか？	フォトジャーナリスト、日本スケートボード協会公認カメラマン 吉田 佳央 他	20	20	17	32	80.0
11月19日 10:00～ 12:00	土	1	青少年健全育成事業 『体験から育まれる力』～若者は自ら未来を拓く力を持っている	NPO法人 Curiosity 理事 佐藤 雅大	20	12	9	9	92.0
12月3日～ 12月4日 13:30～ 15:30	土 日	2	だれもが生きやすいまちづくり～私たちにできること：障害者編～	元特別支援学級教員 山下 洋児 他	20	19	18	30	83.3
3月11日～ 3月18日 13:00～ 15:30	土	2	アンガーマネジメント 自分の『怒り』とどう付き合うか？	一般社団法人アンガーマネジメントジャパン 代表理事 臨床心理士 佐藤 恵子	25	82	21	37	77.1
計					239	480	196	1,059	

利用者懇談会・館まつり等

会場	利用者懇談会	館まつり	その他
	開催日・参加団体数等		開催日・参加人数等
東山社会教育館	3月4日(土) 9団体(9人)	※11月5日(土)・11月6日(日) 19団体	
目黒区民センター 社会教育館	2月25日(土) 12団体(12人)		
中央町社会教育館	3月19日(日) 17団体(18人)	3月4日(土)・5日(日) 15団体	
目黒本町社会教育館	2月25日(土) 21団体(20人)	11月12日(土)・13日(日) 21団体	あじみクラブ 5月21日(土)～3月18日(土)(第3土曜日、計10回) 延べ103人
緑が丘文化会館	3月19日(日) 20団体(20人)	※3月12日(日) 14団体	陶芸団体懇談会 ※11月30日(水) 5団体(7人)
青少年プラザ	2月18日(土) 10団体(12人)	1月28日(土)・1月29日(日) 9団体	

※新型コロナウイルス感染症対策をして再開

4 団体育成・援助

団体活動の充実・発展に資することを目的として、団体の行う各種研修会や大会・つどい等に指導者・講師の派遣等により援助しました。

社会教育関係団体の登録数は次のとおりです。

社会教育関係団体登録数

(令和5年3月31日現在)

施設区分	東山社会教育館	目黒区民センター社会教育館	中央町社会教育館	目黒本町社会教育館	緑が丘文化会館	青少年プラザ	計
青少年団体A	0	0	1	0	0	2	3
青少年団体B	37	17	23	41	37	40	195
成人団体	91	116	156	157	155	38	713
計	128	133	180	198	192	80	911

(事業開始：昭和36年度)

※青少年団体Aは会員全員が18歳以下で構成されている団体、青少年団体Bは会員の半数以上が30歳以下で構成されている団体、成人団体は青少年団体A及び青少年団体Bに該当しない団体

(1) 団体育成

ア 団体育成(青少年)

区内で全般的な組織をもつ青少年団体(ボーイスカウト目黒区協議会・目黒区子ども会連合会等)が主催する交流事業のほか青少年健全育成団体による自然体験活動を援助していますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、青少年健全育成団体自然体験活動支援事業は中止しました。

事業名	実施日・会場	内容	参加者数
青少年健全育成団体自然体験活動支援事業	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年健全育成団体を支援するため、夏季に自然体験活動を行う5団体に貸切バスを提供する予定であった。	-
目黒区ボーイスカウトフェスティバル(山手地区ラリー)	11月3日(木・祝) 五本木小学校	五本木小学校周辺のポイントを巡り、野外活動に必要な簡単な技にチャレンジ。スマートフォンとQRコードを活用し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を避ける方法によって実施した。	225
子ども会交流会	11月3日(木・祝) 上目黒小学校	子ども会会員と地域の青少年を対象に、青少年相互の親睦を図るため、ダンスチーム、ゲームチームをつくり密にならないように交代制で実施した。	305
計			530

イ 団体育成（成人）

成人団体(目黒区女性学習グループ連絡会・目黒区婦人団体連合会)が主催する次の事業に対し指導者派遣等の方法により援助しました。

事業名		実施日・会場	内 容	参加者数
女性学習 グループ 連絡会	合同 研修会	11月12日（土）～2月4日（土） 緑が丘文化会館他（4回）	平和と人権	91
婦人団体 連合会	教養大学	9月7日（水）～11月2日（水） 緑が丘文化会館（9回）	文学コース 古典文学（「源氏物語」は如何なる恋物語か、その九つの話）	431
		9月17日（土）～9月25日（日） 緑が丘文化会館（4回）	社会学コース 原点から問う、歴史、人間、経済、政治	77
計				599

(事業開始：昭和43年度)

ウ 申請社会教育学級

継続的学習を行う自主的グループに、団体活動の発展を図ることを目的として、指導者等の派遣を行いました。

未 結 成 後 5 年	社会 教育 関 係 団 体	団 体	団体数	当 初 会 員 数 合 計	延 べ 会 員 参 加 者 数 合 計	延 べ 公 募 参 加 者 数 合 計	延 べ 参 加 者 数 合 計
			新規				
社会 教育 関 係 団 体	青少年団体A (会員全員が18歳以下で構成)	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
	青少年団体B (会員の半数以上が30歳以下で構成)	5 (3)	49	772	30	95	
	成人団体	0 (0)	0	0	0	0	0
	その他の団体	5 (3)	49	772	30	95	
課 題 学 習	小 計	5 (3)	49	772	30	95	
	家庭教育について学習する団体	0 (0)	0	0	0	0	0
	人権尊重について学習する団体	0 (0)	0	0	0	0	0
	小 計	0 (0)	0	0	0	0	0
総 計			5 (3)	49	772	30	95

※「公募参加者数」は中途参加者・見学者数をいう。()内は、新規団体数で内数

(事業開始：昭和63年度)

エ 生涯学習区職員派遣制度(区職員活用しま専科)

区の施策に関する、身近な問題から専門的な内容までの講座を用意して、区職員が区民の皆さんのもとに出向き、区の取組について話をしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を休止していましたが、令和4年6月より再開しました。

実施回数 2回 参加人数 25人

(2) 指導者育成

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。

ア 青少年団体

目黒区子ども会連合会が主催する青少年団体の育成者、指導者、実技指導者の研修事業に対し、指導者派遣の方法により援助しました。

青少年団体研修

事業名	実施日・会場	内容	講師	参加者数
子ども会班長・ジュニアリーダー研修会	5月15日(日)～2月19日(日) 延べ7回 鷺番住区センター 他	小学校4年生から高校3年生を対象に、子ども会活動の企画・指導技術・実際活動を習得した。	指導者 中元 文菜 他	延べ86
子ども会育成者指導者研修会	3月1日(水) 中央町社会教育館	子ども会活動で実践できる工作風船と麻紐で作るランプシェード作り	指導者 半場 俊	10
子ども会班長ジュニアリーダー宿泊研修会	3月25日(土) 名栗げんきプラザ(埼玉県飯能市)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日帰りで実施した。雨天のため、バスレクレーションとしてクイズや手遊びを行った。体験学習で檜の箸づくりを行いSDGsについて学んだ。		17
計				113

イ 成人団体

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。

小学校PTA連合会・中学校PTA連合会等に対し、会場提供等により支援しました。

	事業名	日時・場所	内容	講師・助言者	参加者
小学校 PTA	全体研修会	5月7日(土) めぐろ学校サポートセンター	科学的研究の成果を使っていじめの起こらない空間をつくる～いじめ撲滅BE A HEROプロジェクトの取り組み～	いじめ撲滅BE A HEROプロジェクト特任研究員 新保 友映	60
	部会別 ブロック 研修会 5ブロック	7月2日(土) ブロック内各小学校	第1ブロック 「アフター／ウィズコロナ時代のPTA運営について」	区立小学校長 区立小学校PTA会長他	150
		7月9日(土) ブロック内各小学校	第2ブロック 「コロナ禍のPTA活動」		
		6月13日(月)～6月24日(金) ブロック内各小学校	第3ブロック 「コロナ禍におけるPTA活動」		
		6月6日(月)、8月8日(月) ブロック内各小学校	第4ブロック 「コロナ禍のPTA活動」		
		7月24日(日) ブロック内各小学校	第5ブロック 「広報、ICT等のスキルを要する役割の実状」		
	代表者研修会	9月10日(土) 目黒区総合庁舎レス	「子どもが主役 おとなも主役」	PTA会長代表 大岡山小学校 村田 一久 校長代表 鷺番小学校 板木 孝悦	44
	部会別合同研修会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

	事業名	日時・場所	内容	講師・助言者	参加者
中学校PTA	役員運営者研修会	9月書面開催	「気持ちをひとつにPTA」		
	代表者研修会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
社会教育団体連絡会	リーダー後継育成者研修	5月28日(土)～6月4日(土) 緑が丘文化会館(2回)	メンタルヘルスケアとは	東京都健康長寿医療センター研究所 鈴木 宏幸	45
	めぐろの教育を考えるつどい	2月25日(土) 緑が丘文化会館	あつまろう！つながろう！ 国境を越えて「地域における多文化共生」の実現に向けて	国士館大学文学部教授 鈴木 江理子	32
計 10 事業					331

5 学習相談等

各社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザ、生涯学習課において、社会教育主事や社会教育指導員が学習に関する区民からの相談に応じています。

令和4年度は、来庁、電話、メールなどの方法で、『団体に入りたい』、『講師を紹介してほしい』、『団体の会員を増やしたい』、『団体を作りたい』などの相談がありました。

III 図書館

1 図書館の概要

区立図書館の基本は、全ての区民に開かれた施設、区民の自由な学習の場・憩いの場として、地域における生涯学習を推進し、多様化・高度化する学習に必要な資料・情報を的確に提供していくことがあります。また、少子高齢社会の中で、グローバル化や高度情報化の進展、インクルーシブ社会の形成に向けた取組など、直面する様々な課題や多様化する区民ニーズに適切に対応することが求められています。

区では、平成14年9月に開館した八雲中央図書館を中心館として図書館情報システムにより全8館の資料を有機的・効率的に統合し、区内全ての地域に図書館サービスを効果的に提供するための全域サービス網を構築しています。

また、平成29年4月に、区立図書館のあるべき姿・方向性を示す目黒区立図書館基本方針を策定し、令和5年3月には、新たな目黒区基本構想及び基本計画に合わせ、基本方針を改定しました。

図書館施設の概要

図書館名	設立年月	所在地	位置付け	面積
八雲中央	平成 14 年 9 月	八雲 1-1-1	中央館	3,020 m ²
大橋	昭和 45 年 4 月 (平成 25 年 2 月移転)	大橋 1-5-1	分館	1,168 m ²
中目黒駅前	昭和 52 年 5 月 (平成 14 年 5 月移転)	上目黒 2-1-3	分館	383 m ²
目黒区民センター	昭和 49 年 8 月 (平成 5 年 4 月改修)	目黒 2-4-36	分館	1,339 m ²
守屋	昭和 27 年 4 月 (平成 3 年 2 月改築)	五本木 2-20-15	分館	1,282 m ²
目黒本町	昭和 56 年 12 月	目黒本町 2-1-20	分館	1,005 m ²
洗足	昭和 63 年 7 月	洗足 2-8-26	分館	517 m ²
緑が丘	昭和 49 年 6 月 (平成 6 年 4 月改修)	緑が丘 2-14-23	分館	893 m ²
計				9,607 m ²

図書館の貸出・閲覧サービス

個人貸出	<ul style="list-style-type: none"> 対象者…どちらにお住まいの方でも借りることができます。 登録手続き…申込書に記入のうえ、本人確認書類を提示していただきます。 貸出券…登録をした方に全館共通の貸出券を交付します。 資料の貸出…貸出点数は一人当たり 20 点以内、貸出期間は 2 週間です。 郵送貸出…図書・雑誌をご自宅に郵送します（送料自己負担）。
その他の貸出・閲覧サービス	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出…登録団体に対し、1回に 300 点、3か月間まで貸出可能です。 障害者サービス…図書館利用に障害がある方に自宅への配本・郵送サービスを行うほか、大活字本・声の図書等を各図書館で提供します。 複写サービス…所蔵資料を 1 人 1 か所につき 1 枚複写できます。 レファレンスサービス…読書支援（資料検索等）、調査支援（資料や情報検索等）、利用支援（利用案内や検索方法の案内等） 相互協力サービス…区民の方を対象に、他区市町村立・都立・国立国会図書館の本を借用し、提供します。 おはなし会…絵本やかみしばいの読み聞かせをします。 図書館ホームページや利用者用検索機（さんまくん）を利用した蔵書検索、予約、利用状況の確認など。 インターネットパソコンの設置（八雲中央・大橋・中目黒駅前図書館） データベース、国立国会図書館のデジタル化資料閲覧及び複写（八雲中央図書館） 国立国会図書館提供の歴史的音源の視聴（八雲中央・大橋図書館） めぐろ電子図書館…区民の方を対象に電子書籍を貸出します。貸出点数は一人当たり 2 点以内、貸出期間は 2 週間です。 閲覧席予約システム（八雲中央・大橋・目黒区民センター・守屋・緑が丘図書館）

開館時間

(令和5年3月31日現在)

館		八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター 守屋・目黒本町 洗足・緑が丘
時 開 間 館	月曜 (第一月曜を除く。)	9:00~21:00	9:00~19:00	休館日	
	火曜から土曜	9:00~21:00	9:00~19:00	10:00~21:45	9:00~19:00
	日曜・休日	9:00~17:00		10:00~18:00	9:00~17:00
休館日	毎週月曜日(八雲中央図書館・大橋図書館は毎月第一月曜日)、年末年始、蔵書点検期間				

利用概要の推移

年度	館数	人口	蔵書数	登録者数	貸出者数	貸出点数	予約点数	蔵書率	登録率	貸出密度	実質貸出密度
25	8	267,884	1,152,782	134,679	1,287,109	4,351,449	1,215,716	4.30	50.3	16.24	32.31
26	8	270,525	1,160,471	127,729	1,267,279	4,268,056	1,223,423	4.29	47.2	15.78	33.41
27	8	272,478	1,167,758	134,188	1,310,406	4,391,555	1,254,508	4.29	49.2	16.12	32.73
28	8	275,278	1,171,916	125,085	1,279,918	4,294,870	1,232,995	4.26	45.4	15.6	34.34
29	8	277,803	1,184,598	126,467	1,223,080	4,133,416	1,192,583	4.26	45.5	14.88	32.68
30	8	280,241	1,195,070	119,484	1,192,668	4,082,730	1,202,001	4.26	42.6	14.57	34.17
元	8	282,628	1,198,776	116,045	1,167,479	3,983,610	1,240,707	4.24	41.1	14.09	34.33
2	8	281,093	1,188,196	110,137	908,824	3,146,014	1,153,966	4.23	39.2	11.19	28.56
3	8	278,415	1,176,304	105,441	1,087,741	3,808,251	1,361,371	4.23	37.9	13.68	36.12
4	8	279,251	1,181,851	103,588	1,071,538	3,779,355	1,206,712	4.23	37.1	13.53	36.48

※・人 口=翌年度4月1日現在目黒区住民基本台帳人口

(住民基本台帳法の改正により外国人住民を含む。)

- 登録者数=区外在住者含む。また、一定期間未利用の登録者データを削除している。
- 蔵書率=蔵書数／人口 (区民一人当たりの蔵書数)
- 登録率=登録者数／人口 (%) 登録者数は区外在住者を含む。
(最新年度の目黒区民の登録率は、3個人貸出(2)登録に記載)
- 貸出密度=貸出点数／人口 (区民一人当たりの貸出点数)
- 実質貸出密度=貸出点数／登録者数 (登録者一人当たりの貸出点数)

2 図書館資料

図書館資料には、図書・雑誌・新聞のほか、CD・障害者サービス用資料などがあり、図書は約118万点を所蔵しています。図書館資料は全館共有の資料として、利用者が指定した図書館で受け取ることができます。

この仕組みを支えるため、①図書館情報システムによる資料情報の一元的管理（目黒区立図書館資料総合目録）②利用者用検索機と図書館ホームページを活用した資料検索と予約サービス③全館への速やかな資料の運搬（配本車の運行）の3点を整備しています。

令和4年度の購入資料数は、図書（一般・児童・外国語）45,905点、雑誌636誌、新聞46紙、障害者・高齢者向け資料391点となっています。

利用者のライフスタイルの多様化やDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展等により情報への要望も多様化しているため、資料の構成もこれに応じた整備が求められています。

また、区立図書館では平成29年12月から図書館資料の充実のために、指定寄付金（ふるさと納税）を活用して資料購入を行っています。令和4年度は、360万円を超えるご寄付をいただき、子どもの読書支援と子育て世代の応援に関する本として2,831冊を購入しました（購入金額合計3,646,054円）。

令和2年度より図書除菌機を全館に設置するほか、新型コロナウイルス感染症対策を行いました。

資料所蔵状況

(令和5年3月31日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
図書	408,239	120,356	57,280	110,317	148,786	101,943	71,883	163,047	1,181,851
内訳	一般	346,925	90,029	45,566	82,080	111,908	71,643	48,755	89,841
	児童	53,854	26,773	9,265	24,215	25,751	26,222	20,095	70,366
	コミック	3,059	2,064	1,573	1,686	2,037	2,629	1,824	1,224
	外国語	4,401	1,490	876	2,336	9,090	1,449	1,209	1,616
雑誌	291	95	66	143	107	118	95	110	1,025 (733)
新聞等	89	18	14	39	20	20	17	30	247 (109)
CD	3,275	2,379	2,214	18,273	3,284	2,007	1,957	2,830	36,219
おもちゃ	75	12	12	113	13	217	64	11	517

※雑誌、新聞等の合計数は、各館で重複所蔵しているものを含む。全館でのタイトル数は雑誌733誌、新聞109紙

(1) 図書

図書の受入点数は52,923点、除籍点数は47,376点、令和5年3月31日現在の蔵書は全館あわせて1,181,851点で、前年に比べて5,547点(0.5%)の増加となりました。

蔵書の内訳は、一般書が全体の75.0%、児童書が21.7%を占めており、一般書の内訳では文学が33.2%を占めています。一般書と児童書の構成比、文学の割合は前年度とほぼ同様となっています。

(2) 逐次刊行物（雑誌・新聞等）

逐次刊行物のうち、雑誌は全館で1,025部(733誌)を揃えています。新聞等は全館で247部(109紙)となっています。

(3) 聴覚資料（CD）

CDは洗足図書館で昭和63年度から貸出を開始して以来、全館で貸出サービスを実施しています。

平成16年6月からCDの新規購入を取り止め、寄贈で対応することとしました。令和5年3月31日現在の所蔵数は36,219組です。

(4) おもちゃ

区立図書館では、昭和62年度よりおもちゃを所蔵し貸出をしています。令和5年3月31日現在の所蔵数は517点となっています。

3 個人利用

(1) 利用状況

臨時休館した令和2年度と比べ、令和3年度は全体的に利用が増加しておりましたが、令和4年度では前年度よりやや減少している項目があります。

前年度比で来館者数109.2%、貸出者数98.5%、貸出点数99.2%となっています。

新型コロナウイルス感染症発生以前である令和元年度と令和4年度を比較すると、貸出者数91.8%、貸出点数94.9%となっていて、貸出の利用状況は戻りつつあります。しかし、来館者数は83.6%（来館者数集計機器が故障していた区民センター図書館は除き比較）となっており、新型コロナウイルス感染症対策の1つとして閲覧席数を減らした影響や、来館頻度の減少が考えられます。

貸出点数のうち、図書・雑誌が96.9%を占めており、CDは3.0%となっています。また、児童資料の割合は33.2%です。

個人利用の概要

(令和5年3月31日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
開館日数	341	342	303	303	303	303	303	303	2,501
来館者数	408,347	299,037	198,901	105,826	159,475	137,633	94,185	199,677	1,603,081
登録者数	29,970	15,168	13,122	12,001	9,235	8,878	6,080	9,134	103,588
貸出者数	212,141	161,366	161,649	105,006	120,409	111,464	78,174	121,329	1,071,538
同(1日平均)	622	472	533	347	397	368	258	400	3,397
貸出点数	805,424	593,674	478,819	378,938	408,953	419,671	282,767	411,109	3,779,355
内訳	図書雑誌	790,464	581,258	455,566	359,972	397,431	407,263	273,771	396,540
	聴覚資料	14,796	12,267	23,220	18,730	11,449	9,319	8,775	14,548
	その他	164	149	33	236	73	3,089	221	21
同(1日平均)	2,362	1,736	1,580	1,251	1,350	1,385	933	1,357	11,954
予約点数	209,609	174,882	198,789	125,727	133,799	129,436	95,823	138,647	1,206,712

* 目黒区民センター図書館の来館者数は機器故障により令和4年7月26日以降の数

(2) 利用登録

令和4年度末の登録者数は103,588人で、そのうち区内登録者は64,824人であり、区内の人口に対する登録率(区内登録者／区人口)は23.2%となっています。地区別の登録率では、八雲中央図書館と緑が丘図書館のある西部地区で26.1%、大橋図書館のある北部地区で25.7%と他の地区に比べ高くなっています。

住区別の登録率では、大橋図書館に近い東山住区が34.4%、八雲中央図書館に近い八雲住区が29.8%、東根住区が28.3%と他の住区よりも高い登録率を示しています。

住区別登録者数

(令和5年3月31日現在)

区分	登録者数	人口	登録率	区分	登録者数	人口	登録率	
北部	駒場	2,517	11,173	22.5%	南部	月光原	2,715	12,503
	菅刈	2,505	11,896	21.1%		向原	1,694	10,395
	東山	4,638	13,491	34.4%		碑	2,040	8,716
	鳥森	2,274	9,874	23.0%		原町	2,785	11,098
	計	11,934	46,434	25.7%		大岡山東	1,680	7,298
東部	中目黒	3,872	16,569	23.4%		計	10,914	50,010
	田道	2,657	13,017	20.4%	西部	大岡山西	2,487	11,043
	下目黒	3,011	15,359	19.6%		中根	3,006	12,541
	不動	2,860	13,163	21.7%		自由が丘	3,773	15,201
	計	12,400	58,108	21.3%		八雲	3,875	12,988
中央	上目黒	2,711	12,717	21.3%		東根	5,091	17,992
	油面	2,705	13,382	20.2%		計	18,232	69,765
	五本木	2,752	11,759	23.4%		区内登録者	64,824	279,251
	鷺番	3,176	17,076	18.6%		区外登録者	38,764	-
	計	11,344	54,934	20.7%		合計	103,588	-

※人口=翌年度4月1日現在目黒区住民基本台帳人口

(3) 予約・相互協力

ア 予約状況

予約点数は、前年度比 88.6%、令和元年度との比較は 97.3% となっています。あらかじめ予約してから来館し、滞在時間を短くする状況から、通常の利用に戻っている傾向があります。

また、全貸出点数に対する予約による貸出点数の割合は 31.9% です。

図書館別・提供方法別件数

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
予約点数	209,609	174,882	198,789	125,727	133,799	129,436	95,823	138,647	1,206,712
提供点数	209,587	174,837	198,725	125,698	133,790	129,404	95,798	138,636	1,206,475
うち CD 等	5,447	5,016	14,721	14,721	3,975	2,972	4,445	7,129	58,426
返却待ち	207,179	173,094	196,264	124,472	132,387	127,988	94,906	137,289	1,193,579
借用	1,203	861	1,149	508	652	649	418	502	5,942
購入	1,205	882	1,312	718	751	767	474	845	6,954
未提供等	22	45	64	29	9	32	25	11	237

※比率：返却待ち 98.9%、借用 0.5%、購入 0.6%

イ 図書館相互協力

目黒区民の方を対象に相互貸借サービスにより資料を提供しています。他自治体の図書館との相互協力により、多様な資料要求に応えています。

他公立図書館への貸出実績は、前年度比 81.1% と減少しました。また、他公立図書館からの借受実績は、前年度比 90% と減少しました。

資料貸出・借受の状況

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
貸出実績	14,571	0	0	0	0	20	0	0	14,591
借受実績	1,203	861	1,149	508	652	649	418	502	5,942
内訳	都立図書館	116	40	50	21	28	21	12	58
	国会図書館	1	1	0	0	1	0	0	3
	他公立図書館	1,086	820	1,099	487	623	628	406	444
									5,593

(4) 閲覧席予約システム

令和 5 年 1 月 10 日から 5 館で閲覧席予約システムの運用を開始しました。1 回あたりの利用時間を区切ることで譲り合っていただき、より多くの方が閲覧席を利用できるようにしました。

令和 5 年 1 月 10 日から 3 月 31 日までの累計利用回数

館	八雲中央	大橋	区民センター	守屋	緑が丘	全館計
利用回数	8,975	6,736	1,230	324	2,497	19,762
対象席数	52	25	18	6	10	111

※対象席数には、八雲中央図書館のインターネット閲覧 3 席とデータベース閲覧 1 席、大橋図書館のインターネット閲覧 1 席を含む

4 団体貸出

地域の登録団体に対して読書活動の推進及び調べ学習の支援を目的として団体貸出を行っています。令和4年度は登録団体に対して合計で42,409点の貸出を行いました。

そのうち、学校及び児童館・学童保育クラブ等に対しては、定期貸出（1年間貸出）として22,450点、調べ学習向けのテーマ別貸出（1か月間貸出）として3,508点の貸出を行いました。

登録団体内訳

（令和5年3月31日現在）

区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数
地域文庫	6	公共施設	47	幼稚園・保育園	70	企業	3
福祉施設・団体	14	民間施設	11	学校（調べ学習）	215	学校（定期団体貸出）	363
その他	46	計	775				

団体貸出の推移

（令和5年3月31日現在）

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
登録団体	456	494	1,021	917	1,045	1,045	962	931	762	775
貸出点数	41,933	35,568	36,239	42,116	38,615	44,506	43,716	43,006	37,103	42,409

※平成27年度から学校（定期団体貸出）の区分について1学級につき1団体として登録を計上

5 めぐろ電子図書館

令和3年7月から非来館型サービスとして、「めぐろ電子図書館」を開設し、電子書籍の貸出・閲覧サービスを開始しました。ご自宅のパソコンや、スマートフォンなどからインターネット経由で電子書籍の貸出・閲覧ができます。文字の拡大や音声読み上げなど電子書籍の特徴を活かせる資料を計画的に購入し、電子図書館に特集リストを掲載することにより、利用の促進を図っています。

令和4年度は図書館情報システムと電子図書館の連携を行い、電子図書館の利用対象者が図書館に利用者登録している目黒区在住の方となったため、登録者数が前年度に比べ、10倍以上と大幅に増加しました。また、電子図書館資料の充実を図るとともに、資料の長期保存や資料相談等の充実を目的として、地域資料10点（内訳：地図8点、図書2点）のデジタル化を行い、電子図書館上で公開しました。

電子図書館利用の推移

年度	登録者数	貸出数	予約数	コンテンツ数
3	6,249	11,193	5,867	9,775
4	64,826	10,133	3,142	11,728

※令和3年度の登録者数は、図書館情報システムと電子図書館が非連携だったため、電子図書館に別途利用登録をした数

6 図書館利用に障害のある方々へのサービス

身体の障害や高齢又は身体の障害はなくとも文章を読むことが困難など、通常の図書館利用が困難な方々を対象に、障害の内容に応じた資料の提供（録音・点字図書、布の絵本、大活字図書など）や、対面朗読サービス、来館困難者に対する配本・郵送サービスを昭和57年より障害者サービスを実施しています。

録音資料や点字資料の作成・対面朗読は、障害者サービス協力員の協力をいただき行っています。録音資料については、障害者サービス協力団体と協働事業の協定を結び作成しています。

対面朗読及び点字プリンタの利用は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで行っています。（対面朗読は八雲中央図書館・目黒本町図書館のみ実施）

(1) 資料

所蔵状況

(令和5年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌				マルチメディア デイジー図書	点字 図書 点字 雑誌	さわる 絵本 布の 遊具	
	テープ・CD		デイジー					
	目黒区作成	購入・ 寄贈	目黒区 作成	購入・ 寄贈	目黒区 作成	購入・寄贈		
所蔵数	1,105 タイトル	411 タイトル	614 タイトル	203 タイトル	0 タイトル	222 タイトル	270 タイトル	211 点
(受入数)	(0) タイトル	(0) タイトル	(22) タイトル	(9) タイトル	(0) タイトル	(49) タイトル	(17) タイトル	(0) 点
計	1,516 タイトル		817 タイトル		222 タイトル		270 タイトル	211 点

※録音図書=著作権法の規定により、一般の図書等の活字資料を読むことができない方に限定して利用する目的で作成された録音資料

(2) 登録

登録者の状況

(令和5年3月31日現在)

区分	登録者数	障害別内訳		
		視覚障害	肢体不自由	その他
個人	140 人	54 人	52 人	34 人
団体	30 団体	—	—	—

※視覚障害と肢体不自由など障害重複 6 人

(3) 利用

ア 資料貸出

(令和5年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌		マルチメディア デイジー図書	点字図書 点字雑誌	さわる絵本 布の遊具
	テープ・CD	デイジー			
貸出点数	77 タイトル	2,767 タイトル	28 タイトル	15 タイトル	61 点

イ 区外図書館、機関との相互貸借

(令和5年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌		点字図書 点字雑誌
	テープ・CD	デイジー	
貸出	18 タイトル	295 タイトル	12 タイトル
ダウンロード* ¹	—	10,163 回	—
借用* ²	64 タイトル	2,661 タイトル	7 タイトル

*1 サピエ及び国立国会図書館でのダウンロードで目黒区立図書館作成デイジーが区外図書館、機関に利用された回数

*2 借用はサピエ及び国立国会図書館からのダウンロードを含む

*マルチメディアデイジーの区外図書館、機関との相互貸借の実績なし

ウ 個別サービス

(令和5年3月31日現在)

区分	配本	郵送貸出	対面朗読	音訳	点訳	拡大写本
利用数	延 303 回 1,758 タイトル	2,277 タイトル	延 104 回 208 時間	320 時間	0 枚	0 枚

7 行事・催物

(1) 利用者懇談会の開催

区民・利用者の声を図書館の事業運営に反映するため、利用者懇談会を毎年度開催しています。第二回の利用者懇談会は、目黒区立図書館 70 周年、八雲中央図書館開館 20 周年の記念事業として開催しました。

	日 時	テマ	開催場所	参加者数
第一回	令和 4 年 6 月 18 日 (土) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	講演「図書館はまちのたからもの」と懇談	中目黒 G T プラザ ホール	13 人
第二回	令和 4 年 10 月 11 日 (火) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分	講演「目黒区立図書館のむかし・いま・みらい」とパネルディスカッション・懇談	めぐろパーシモン ホール小ホール	28 人
第三回	令和 5 年 1 月 21 日 (土) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分	目黒区立図書館基本方針の改定について	中目黒 G T プラザ ホール	17 人

(2) 図書館行事の開催

ア おはなし会

各館では児童・乳幼児に対する絵本の読み聞かせを中心におはなし会を実施しています。読書活動が子どもの健やかな成長に不可欠なものであることから、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成 13 年 12 月に公布・施行)に基づき策定した「目黒区子ども読書活動推進のための方針」(平成 16 年 2 月策定、平成 21 年 3 月に改定)により、全ての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、読書のための環境の整備を推進しています。令和 4 年度は、おはなし会を全館で順次再開し、計 145 回開催し、延べ 704 人の参加がありました。

イ 学校訪問

各館で開催するおはなし会とは別に、児童サービス担当者が小学校などに出張して行う出張おはなし会や図書館に関する講習会等を行っていますが、令和 4 年度は各学校からの依頼がなかったため、未開催でした。

ウ 図書館訪問

区内の小学校及び中学校等の児童や生徒がクラスごとや学年ごとに近くの図書館を訪問し、見学、調べ学習等を行っています。令和 4 年度は、1 クラスを複数班に分け、見学時間を短く設定するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取ったうえで、一部の館で 16 回受入れました。

エ 職場体験

区内中学校及び区内在住の中・高等学校の生徒が地域での仕事を体験する職場体験を受け入れています。令和 4 年度は合計で 64 人の生徒を受入れました。

オ 乳幼児サービス

平成 27 年度から目黒区保健所・碑文谷保健センターの育児学級 (10・11 カ月児) の中で、親子で楽しむ絵本のリーフレット・アドバイス集・バッグのセットを配布するとともに、「はじめての本とのふれあいタイム」として絵本の読み聞かせについてのアドバイスや実技を保護者向けにしていますが、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため育児学級の開催が中止されました。

このため、育児学級に参加した親子に配布していたリーフレット等は、令和 4 年 2 月より各図書館のカウンター等で 0 歳から 2 歳までの乳児の保護者に配布しました。

カ 再利用選定会

資料の有効活用に関する取組の一環として、区立図書館で除籍した児童資料 (図書・絵本・紙芝居等) を区内児童施設、地域文庫等へ提供しているものです。例年八雲中央図書館の会議室を会場とし、来館した各施設の職員が児童資料を直接見繕う形式で開催していましたが、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、再利用選定会を中止しました。代わりとして事前に申し込

みのあった団体（区立施設のみ。）に対して図書館職員が見繕った資料を各施設へ配達する方法で実施しました。

合計で 33 団体から申し込みがあり、約 1,650 点を提供し、児童資料の有効活用を図りました。

キ 読み聞かせボランティアの育成

読み聞かせボランティアの育成・支援を目的として、絵本等の読み聞かせに関する読み聞かせ講座を例年開催しています。令和 4 年度は、読み聞かせ活動を行っているボランティア会員の方々を対象とした「読み聞かせボランティア活動のための活動講座」を 2 回、令和 2 年度に開催した「読み聞かせボランティア活動のための活動講座」に参加された方々を対象とした「読み聞かせボランティア活動のためのフォローアップ研修」を 2 回の計 4 回開催しました。

ク 中高生向け P R

Y A 広報誌「OMAKE no いっぽ」は中高生に向けた本の情報などの内容をボランティアで編集・発行しています。例年は毎月編集会議を開催し、年 3 回発行していましたが、令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を休止しました。

ケ 夏季休暇期間の各小・中学校の調べ学習支援

令和 2 年度から児童・生徒の調べ学習用ワークシートを作成し、図書館ホームページ上でワークシートのファイル、子どもの調べ学習支援用おすすめリスト等を掲載しました。

コ おすすめ絵本リストの作成

おすすめ絵本リスト「0 歳からの絵本」（乳幼児向け絵本 22 冊）、「おとうさん・おかあさんのためのリスト」（親子で一緒に楽しめる絵本 27 冊）2 種類の改定を行いました。

サ 目黒区制施行 90 周年、目黒区立図書館 70 周年、八雲中央図書館開館 20 周年記念事業

令和 4 年は目黒区制施行 90 周年、目黒区立図書館 70 周年及び八雲中央図書館開館 20 周年という節目の年でした。八雲中央図書館及びめぐろ区民キャンパスにて様々な記念事業を開催しました。

日 時	行 事	開催場所	参加者数
令和 4 年 10 月 4 日（火）～ 同年 11 月 6 日（日）	区内図書館の歴史写真展	めぐろ区民キャンパス地下 1 階プラザ	
令和 4 年 10 月 5 日（水） 午後 4 時～午後 5 時 30 分	きむらゆういち氏（児童文学作家・絵本作家）による工作ワークショップ	めぐろパーシモンホール小ホール	23 組 うちこども 31 人
令和 4 年 10 月 6 日（木） 午後 6 時 30 分～ 午後 8 時 30 分	講演会「ぼくが絵本作家になつたわけ」 講師：きむらゆういち氏	めぐろパーシモンホール小ホール	64 人
令和 4 年 10 月 14 日（金）～ 同年 10 月 16 日（日） 午前 10 時～午後 4 時	図書館所蔵貴重資料展示会	八雲中央図書館 会議室	27 人

8 その他の事業

（1）図書館ホームページ及び利用者用検索機（さんまくん）

図書館ホームページでは、図書館からのお知らせや利用案内、目黒区立図書館基本方針や沿革を掲載し、情報提供を行っています。また、図書館資料の検索や貸出等利用状況の確認ができます。

また、区内全 8 館に利用者用検索機（さんまくん）を計 47 台設置し、利用者が図書館資料を検索する際の利便性の向上を図っています。

図書館資料は、著者名や書名だけでなく図書や雑誌の目次等からも検索可能で、様々な項目やキーワードから目的の資料を探すことができます。また、出版情報の提供により、目黒区立図書館に所蔵していない図書も検索することができます。平成 29 年度には、より詳細な検索ができるように目録情報

を更新しました。

(2) レファレンスサービス（参考調査・資料相談等）

レファレンスサービスは、利用者が資料や情報を求める際に、図書館職員が援助するサービスです。

内容は、読みたい資料を探す際の読書支援、資料や情報検索等の調査支援、利用案内や検索方法の案内等の図書館の利用支援があります。

区ではレファレンスサービスを、図書館業務の中で重要なサービスと位置付けていることから、全館に資料相談窓口、八雲中央図書館に資料相談専用電話を設け常時相談に応じています。

また、八雲中央図書館（設置台数3台）、大橋図書館（設置台数1台）及び中目黒駅前図書館（設置台数2台）には、インターネットに接続したパソコンを設置し、利用者自身でインターネット上の情報を調査できるサービスを実施しています。さらに、八雲中央図書館（設置台数1台）では新聞記事及び百科事典等のデータベース、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの閲覧・検索・複写ができます。令和4年度のデータベース閲覧利用は218件、データベース複写利用は98件でした。

(3) 複写サービス

各館では複写機を設置し、所蔵資料の複写サービスを有料で行っています。

複写サービスの実績

(単位：枚)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	合計	平均
年度計	66,851	16,849	11,244	6,585	11,950	12,429	7,810	20,001	153,719	19,215
月平均	5,571	1,404	937	549	996	1,036	651	1,667	12,810	1,601

(4) テーマ展示

季節の行事や最近の話題など、テーマを決めて図書の展示を行うことで、読書の幅を広げるきっかけになることを目的としています。区内の医療機関との連携、区の他所管における自殺予防や人権週間、認知症予防などの啓発事業との連携による展示、友好都市に関連する展示を実施しました。

また、目黒区立図書館70周年事業として、当時の様子を振り返る展示などを実施しました。

開催テーマと開催状況

(令和5年3月31日現在)

図書館名	内 容 等	回数
八雲中央	父の趣味、コーヒー派紅茶派、緩和ケア、Ballet 時間、自殺予防、読書週間、人権週間、温活、文学賞受賞作品、新生活 など	27
大橋	目黒再発見（ゆかりの小説、人物）、日本の祭り、中高生の時に読んだ本、認知症予防、目黒区・図書館と同じ年の著名人、移転10年など	21
中目黒駅前	働く気持ちを応援（職場の人間関係、問題解決、起業家に学ぶ）、住まいと暮らし、20年前(GT移転20年)、乗り物、建造物 など	21
目黒区民センター	いざ鎌倉、快速クッキング、月を見あげて、秋の夜長にクラシック、新年はミステリーから、角田市・金沢市・気仙沼市(区民まつり) など	14
守屋	野菜のチカラ、あなたの庭、お天気のふしげ、海を探検、暑い熱い厚い、70周年あの頃、家族と団欒、歌おう踊ろう弾いてみよう など	22
目黒本町	旅する絵本、本×映画、夏休みのしゅくだい、文房具の世界、なにになりたい?、あつまれ!うさぎ、挑戦、サヨナラまたね など	23
洗足	学校、ともだち、雨、星、海、お片付け日和、セルフ・コンディショニング、えほんのおんがくかい、えほん受賞作品、さよならまたね など	11
緑が丘	美術を楽しむ、今こそ考える終活、世界の旅(一般・児童)、様々なSOS、街に住む生きもの、虫たちのはなし、リフレッシュタイム など	13
計		152

IV めぐろシティカレッジ

1 新しい学習機会の創設

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐろシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐろシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための新しい学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱気にあふれた講座が展開されています。

(開設年度：平成7年度)

2 運営

現在は、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

3 講座内容

令和4年度実施

次のとおり、講座を企画し、開講しました。新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮し、令和3年度より開始した前期・後期の二期制を継続し、会場を目黒区中央町社会教育館にて実施しました。

(単位：人)

講 座	主 な 内 容 等	定 員	応募者数	受講者数
1 目黒学パート28 「食とめぐろ」 その①	目黒という地域から、飢餓、飽食、学校給食、食糧廃棄、飲食店の取り組みなど、食を巡るさまざまな課題を考察する。 令和4年4月～7月（全7回）	40	13	12
2 地球を知る その①	地球の時間と空間をたどりながら、人類が地球をどう捉え、環境を生き抜いてきたか、子孫に残す地球の姿を考える。 令和4年4月～7月（全7回）	40	38	38
3 日本の古層にある 精神世界を探る その①	地方に残る伝承・伝説・神話や、古代人が残したさまざまな形あるものの中から、私たちの心に眠る精神世界を探る。 令和4年4月～7月（全7回）	40	56	31
4 見て回る 江戸・東京 その①	江戸の始まりから今日の東京までの移り変わりを、講義と現地のフィールドワークで理解を深める。 令和4年4月～7月（全7回）	40	65	50
前期合計		160	172	131

講 座		主 な 内 容 等	定 員	応募者数	受講者数
5	目黒学パート 28 「食とめぐろ」 その②	目黒という地域から、飢餓、飽食、学校給食、食糧廃棄、飲食店の取り組みなど、食を巡るさまざまな課題を考察する。 令和4年9月～令和5年1月（全7回）	40	18	14
6	地球を知る その②	地球の時間と空間をたどりながら、人類が地球をどう捉え、環境を生き抜いてきたか、子孫に残す地球の姿を考える。 令和4年9月～令和5年1月（全7回）	40	34	34
7	日本の古層にある 精神世界を探る その②	地方に残る伝承・伝説・神話や、古代人が残したさまざまな形あるものの中から、私たちの心に眠る精神世界を探る。 令和4年9月～令和5年1月（全7回）	40	52	31
8	見て回る 江戸・東京 その②	江戸の始まりから今日の東京までの移り変わりを、講義と現地のフィールドワークで理解を深める。 令和4年9月～令和5年1月（全7回）	40	68	50
後期合計			160	172	129
合 計			320	344	260

I 文化財の保護・保存

文化財は、私たちの祖先が営々と築いてきた文化遺産であり、一旦破損等があれば再現困難なかけがえのないものです。区では、このような文化財の保護・保存を図るとともに、区民が興味や関心を持つことによって、共有の貴重な文化遺産が後の世代に受け継がれていくよう文化財保護意識の高揚を図るため、保護及び活用事業を実施しました。

1 文化財保護の充実

(1) 文化財保護審議会

文化財保護審議会を令和4年12月19日に1回開催し、文化財保護の状況報告等を行いました。委員の任期は2年で、委員は下表のとおりです。

第23期目黒区文化財保護審議会委員 (令和5年3月31日現在)

氏名	職業又は所属(専門)
泉 雅博	跡見学園女子大学名誉教授(日本近世史)
折茂 克哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館助教(郷土史)
小林 謙一	中央大学文学部教授(考古学)
佐々木 昌孝	ものつくり大学技能工芸学部教授(建築史)
山本 勉	鎌倉国宝館長(日本彫刻史)
吉村 稔子	神田外語大学外国語学部教授(日本絵画史)

※任期は、令和3年6月1日から令和5年5月31日まで 計6人

(2) 文化財保護事業

目黒区内文化財めぐりを、下表のとおり実施しました。

区内文化財めぐり (単位:人)

実施日	コース	見学場所	参加者
5月14日	八雲周辺	立源寺、氷川神社、東光寺ほか	20
6月11日	青葉台周辺	旧鎌倉道、猿楽塚、恵比寿ガーデンプレイスほか	26
10月15日	自由が丘周辺	熊野神社、谷畑弁財天、九品仏川緑道ほか	23
11月12日	中目黒周辺	正覚寺、目黒区総合庁舎、祐天寺ほか	27
12月3日	上目黒周辺	氷川神社、壽福寺、烏森稻荷神社ほか	20
2月25日	下目黒周辺	権之助坂、海福寺、瀧泉寺(目黒不動尊)ほか	25
計			141

(3) 区指定文化財

令和4年度に新たに区指定文化財として指定したものはありませんでした。

(4) 埋蔵文化財発掘調査

令和4年度は、立会調査65件、試掘調査8件及び本格調査6件を実施しました。

本格調査の内訳は、油面遺跡4件、東山貝塚遺跡1件及び東京大学駒場構内遺跡1件で、油面遺跡からは縄文時代中期中葉の竪穴住居跡2軒、中期後葉の竪穴住居跡3軒、時期不明の竪穴住居跡1軒の計6軒が検出されました。

なお、竪穴住居跡より中部地方によく見られる「石匂炉」が検出されたことから、当時の人々の往来が考えられます。また、東山貝塚遺跡からは縄文時代中期後葉の竪穴住居跡1軒が検出されました。

II めぐろ歴史資料館

目黒の歴史に関する理解を深め、区民の生涯学習の振興に寄与するとともに、広く教育、学術の向上と地域文化の発展に資するため、平成 20 年 9 月 21 日、第二中学校跡施設を改修した建物の 1 階に開館しました。

めぐろ歴史資料館では、目黒区の歴史と文化に関する資料を収集、整理・保管・調査研究し、常設展示や企画展示で紹介するとともに、画像閲覧や学習相談、講演会・講座など、各種教育普及事業を行っています。企画展や各種事業の開催等については、めぐろ区報やホームページ等でお知らせしています。

1 事業概要

(1) 年間来館者数

開館日数	個人			団体			合計		
	大人	子ども	計	大人	子ども	計	大人	子ども	計
	308 日	3,223	886	4,109	348	1,054	1,402	3,571	1,940

(2) 展示事業

めぐろ歴史資料館ではこれまでに収集した所蔵資料や調査結果を踏まえ、「人、もの（資料）、情報」が結び付いた出会いと発見の展示を目指しています。

常設展示「目黒の歴史」では原始・古代から近・現代までの目黒の歴史や人びとの暮らしを時代順に振り返ることができます。縄文時代のたて穴住居の模式復元や、平成 3 年の調査で発見された新富士遺跡の「胎内洞穴」が発掘当時のまま再生展示されるなど、体感型展示も多く取り入れ、資料の展示入れ換えも随時行っています。また、収蔵資料や調査研究の成果を紹介する企画展及び特別展を 3 回開催しました。

展示会名	会期	開催日数	来館者数(人)
企画展 「目黒区区制施行 90 周年記念展 —目黒 90 年の面影—」	7 月 16 日（土）～ 10 月 10 日（月）	75 日間	1,422 (内子ども 331)
特別展 「目黒の名工 —千代鶴是秀×小宮又兵衛×高山一之一」	11 月 3 日（木）～ 12 月 11 日（日）	34 日間	768 (内子ども 113)
企画展 「昔のくらしと道具展—ひやす・あたためる—」	1 月 7 日（土）～ 3 月 5 日（日）	50 日間	1,475 (内子ども 855)

※「子ども」は中学生以下を指します。

(3) 教育普及事業

ア 講演会・ワークショップ等

企画展及び特別展に合わせて、展示説明会 4 回、講演会 1 回、イベント 6 回を実施しました。その他にワークショップを 18 回実施し、体験や交流を通じた教育普及活動を展開しました。

名 称	内 容	開催日	参加者 (人)
企画展「目黒区区制施行90周年記念展－目黒90年の面影－」展示説明会	企画展「目黒区区制施行90周年記念展－目黒90年の面影－」展示説明会（4回実施）	7月23日（土） 8月27日（土） 9月10日（土） 10月1日（土）	24
特別展「目黒の名工－千代鶴是秀×小宮又兵衛×高山一之一－」関連講演会	①「三代目小宮又兵衛と蒔絵筆製作道具一式について」 講師：めぐろ歴史資料館職員 ②「千代鶴是秀について」 講師：土田 昇 氏 ③「刀装製作について」 講師：高山 一之 氏	11月26日（土）	38
企画展「昔のくらしと道具展－ひやす・あたためる－」関連事業	「昔の冷蔵庫を使ってみよう」 計3回	1月14日（土） 1月28日（土） 2月18日（土）	29
	「いろいろな湯たんぽに触れてみよう」 計3回	1月21日（土） 2月11日（土） 2月25日（土）	22
夏休みワークショップ	「勾玉づくり」 計18回 対象：小学生	7月27日（水）～ 8月21日（日）	211

イ 学校等の授業利用

社会科見学（小学校第3学年）で昔の暮らしの体験や道具調べに、めぐろ歴史資料館が活用されています。令和4年度は13校が見学に訪れました。

(4) 資料の収集・保管

令和4年度受入資料

<寄贈> 17件 627点 <寄託> 1件 8点

2 古民家

歴史資料館の分館として、すずめのお宿緑地公園内（碑文谷三丁目）に江戸時代中頃の「年寄」の家（区指定文化財「旧栗山家主屋」）を復元公開し、節句飾り等の年中行事の再現や体験学習等の事業を行っています。

(1) 年間来館者数

開館日数	個人	団体	計
261日	10,757	785	11,542

(2) 年中行事等

行事名	日 程
五月人形・鯉幟飾り	4月9日（土）～5月8日（日）
七夕飾り	7月1日（金）～7月10日（日）
お月見	10月8日（土）
すす払い	12月10日（土）
正月飾り	12月24日（土）～5年1月9日（月）
雛人形飾り	5年2月1日（水）～3月5日（日）

(3) 体験学習等

行事名	開催日	参加者（人）
七夕飾り製作指導	7月3日（日）	36
七夕のお話会・民話（動画配信）	7月1日（金）～7月10日（日）	アクセス数 184
お月見のお話会・民話（動画配信）	9月24日（土）～10月8日（土）	アクセス数 54

(4) 『東京9区 文化財古民家めぐり』（東京文化財ウィーク 2022 参加事業）

例年、東京文化財ウィーク期間中、都内で文化財古民家を管理する9区(足立・板橋・江戸川・北・江東・杉並・世田谷・練馬・目黒)合同で現地案内等を実施していますが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を中止し、インターネット上で見どころ等を紹介したパンフレットを公開しました。

1 区立学校一覧

(令和5年5月1日現在)

略称説明

教…教員(校長含む。)

児…児童指導

〔〕日本語国際学級(内数)

事…学校事務

用…用務

{ }再任用(内数)

栄…学校栄養士(栄養

()特別支援学級(内数)

教諭含む。)

※特別支援学級には、東根小(難聴、言語障害)の通級学級を含む。

※児童・生徒数は、特別支援学級(固定学級在籍者)を含む。

(1) 小学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	児童数	教職員数						
					教	事	栄	児	用	計	
八雲	八雲2-5-1	3718-6306	18(4)	423	25 {1}	1	1		1 {1}	28	
菅刈	青葉台3-3-26	3461-2569	16(4)	341	23	1	1		1	26	
下目黒	目黒2-7-9	3491-0332	17	501	25 {1}	1	1		1	28	
碑	碑文谷1-18-2	3714-1594	22(3)	622	30 {1}	1	1		1	33	
中目黒	中目黒3-13-32	3711-7628	17	521	30 {1}	1	1		1	33	
油面	中町1-5-4	3719-1694	18(1)	517	26 {1}	1	1	1	1 {1}	30	
大岡山	平町2-3-1	3718-5306	24	737	32	1	1		1	35	
鳥森	上目黒3-37-27	3719-1794	13	378	20 {1}	1	1 {1}		1	23	
向原	目黒本町6-7-15	3714-1795	12	289	19 {2}	1	1			21	
五本木	五本木2-24-3	3711-8494	13(1)	370	24 {2}	1	1		1	27	
鷹番	中央町1-20-26	3714-2594	17(2)	426	25 {1}	1	1		1	28	
田道	目黒1-15-28	3711-8594	14	411	21	1	1		1	24	
月光原	目黒本町4-15-3	3714-2694	12	359	18	1	1		1 {1}	21	
駒場	駒場3-11-13	3467-4461	13	361	19 {1}	1	1		1 {1}	22	
緑ヶ丘	緑が丘2-13-1	3718-5406	8	222	15 {1}	1	1		1	18	
原町	原町2-18-12	3714-2794	12	311	22	1	1			24	
不動	下目黒6-11-35	3714-3594	22	703	35 {1}	1	1		1	38	
上目黒	五本木1-12-13	3719-2594	12	287	17	1	1		1 {1}	20	
東根	東が丘1-20-1	3424-4511	27(3) {2}	711	38	1	1		1	41	
中根	緑が丘1-1-1	3718-4506	12	373	22	1	1		1 {1}	25	
宮前	八雲3-13-21	3718-5506	12	305	21 {1}	1	1		1	24	
東山	東山2-24-25	3719-2694	31	1,013	51 {1}	1	1		1	54	
合 計				362 (18) [2]	10,181	558 {16}	22	22 {1}	1 {6}	20 {6}	623

(2) 中学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	生徒数	教職員数					
					教	事	栄	児	用	計
第一	大橋2-11-1	3466-6158	5	168	14 {2}	1	1			16
第七	碑文谷1-1-33	3714-3794	7	201	24	1	1		1 {1}	27
第八	碑文谷4-19-25	3714-4594	8 (2)	216	19 {4}	1	1			21
第九	洗足1-29-26	3714-4694	6	162	15 {3}	1	1		1 {1}	18
第十	八雲5-2-1	3718-6406	12	414	24 {1}	1	1		1 {1}	27
第十一	緑が丘1-8-1	3718-6506	6	179	16 {2}	1	1			18
東山	東山1-24-31	3711-8794	10	338	21 {1}	1	1			23
目黒中央	中町2-37-38	3711-8394	20 (3)	634	35 {1}	1	1		1 {1}	38
大鳥	下目黒3-23-18	3714-3694	19 (4)	521	32 {1}	1	1		1	35
合 計				93 (9)	2,833	200 {15}	9	9	5 {4}	223

(3) 幼稚園

園名	所在地	電話番号	学級数	園児数	教職員数					
					教	事	栄	児	用	計
ひがしやま	東山3-24-2	3791-4615	2	39	3					3
合 計				2	39	3				3

(4) こども園

園名	所在地	電話番号	区分	3歳	4歳	5歳	計	教職員数					
								教	栄	用	計		
げっこうはら	目黒本町4-15-3	3716-3024	短時間	15	12	16	43	7			7		
			中時間	2	4	5	11						
			長時間	3	3	4	10						
小 計				20	19	25	64	7			7		
みどりがおか	緑が丘2-7-20	3718-6622	短時間	15	16	15	46	7			7		
			中時間	2	4	6	12						
			長時間	3	5	5	13						
小 計				20	25	26	71	7			7		
合 計				40	44	51	135	14			14		

※ 各園の学級数は、3歳、4歳、5歳 各1学級で合計3学級

2 教育関係施設

施設名	所在地	電話番号
めぐろ学校サポートセンター	中目黒 3-6-10	3715-1531
東山社会教育館	東山 3-24-2	3791-4611
目黒区民センター社会教育館	目黒 2-4-36 (目黒区民センター内)	3711-1137
中央町社会教育館	中央町 2-4-18 (中央町さくらプラザ内)	3713-4127
目黒本町社会教育館	目黒本町 2-1-20	3792-6321
緑が丘文化会館	緑が丘 2-14-23 (緑が丘コミュニティセンター内)	3723-8741
青少年プラザ	中目黒 2-10-13 (中目黒スクエア内)	5721-8575
八雲中央図書館	八雲 1-1-1 (めぐろ区民キャンパス内)	5701-2795
大橋図書館	大橋 1-5-1 (クロスエアタワー内)	3770-3101
中目黒駅前図書館	上目黒 2-1-3 (中目黒GTプラザ内)	3710-7253
目黒区民センター図書館	目黒 2-4-36	3711-1138
守屋図書館	五本木 2-20-15	3711-7465
目黒本町図書館	目黒本町 2-1-20	3792-6325
洗足図書館	洗足 2-8-26	3719-7651
緑が丘図書館	緑が丘 2-14-23 (緑が丘コミュニティセンター内)	3723-0661
めぐろ歴史資料館	中目黒 3-6-10	3715-3571
古民家	碑文谷 3-11-22 (すずめのお宿緑地公園内)	3714-8882
八ヶ岳林間学園	山梨県北杜市高根町清里 3545	0551-48-2031
興津自然学園	千葉県勝浦市興津 143	0470-76-3111

目黒区の教育 －令和4年度事業報告書－

令和5年8月発行

編集・発行 目黒区教育委員会（教育政策課）

所 在 地 目黒区上目黒二丁目19番15号

電 話 03-5722-9300

F A X 03-5722-9332

主要印刷物番号 5教-1号

印 刷 三協印刷株式会社

